内容一覧

インクカートリッジの交換方法

お勧めの機能

各画面と項目の説明

プリンタドライバ関連情報

サービス・サポートのご案内

その他の情報

普通紙 / 専用紙に印刷

最適な普通紙 / 専用紙の選択

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう、各種用紙をご用意しております。市販の普通紙にも印刷することはできますが、よりきれいに印刷するためには、エプソン製の専用紙をご使用になることをお勧めします。
以下では、本プリンタで印刷できるエプソン製の用紙と市販の用紙についてご説明いたします。用途に合った用紙を選択してください。

エプソン製の用紙

注 意

一部専用紙に同梱されている「クリーニングシート」は、本プリンタでは紙送りの機構上ご使用になれません。

写真用紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
PM 写真用紙（光沢）	光沢感のある写真用紙です。写真同様の印刷結果を実現できます。	L 判	20	KL20PSK
		2L 判	20	K2L20PSK
		A4	20	KA420PSK
			50	KA450PSK
			250	KA4250PSKN
MC 写真用紙（半光沢）	光沢感をおさえた写真用紙です。写真の風合い（質感）を実現できます。	A4	20	KA420MSH
PM マット紙	厚みのある非光沢の写真用紙です。落ち着いた質感を実現できます。	A4	50	KA450PM
フォト・プリント紙 2	厚口タイプの光沢紙です。 写真並の色鮮やかさをお手ごろな価格で実現できます。	A4	20	PMA4SP1
			50	KA450PP2

光沢フィルム

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
スーパーファイン専用光沢フィルム	光沢感のある写真の印刷に適した、破れにくいフィルムです。	A6	10	MJA6CP1
		A4	20	MJA4SP6

文書などの印刷に適した専用紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
スーパーファイン専用紙 2	写真やイラストなどが入った文書の印刷に最適な用紙です。	B5	100	KB5100SF2
		A4	100	KA4100SF2

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
上質普通紙	ビジネス文書やホームページの印刷に適したインクジェット用の普通紙です。 特に黒インクの発色に優れています。	A4	250	KA4250NP
両面上質普通紙（再生紙）	ビジネス文書やホームページの印刷に適したインクジェット用の両面普通紙です。 ※本プリンタは両面印刷に対応していません。片面印刷後の用紙を使用すると、給紙不良となる場合があります。	A4	250	KA4250NPD

特殊用紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
アイロンプリントペーパー	印刷した写真やイラストを、衣類（綿 100% または綿 50% 以上の混紡）に転写することのできる用紙です。オリジナルの T シャツなどができます。	A4	5	MJTRSP1
ミニフォトシール	小さなシールを作ることができる用紙です。16 分割シールに対応したアプリケーションソフトから印刷してください。	ハガキサイズ（16 分割）	5	MJHSP5
スーパーファイン専用ラベルシート	オリジナルのステッカーを作れる、裏面のり付きのラベルシールです。好きな形に切り取って貼ることができます。	A4	10	MJASP5
専用 OHP シート	写真やグラフなどが入った印刷に最適な OHP シートです。	A4	10	KA410SOHP
			30	MJOHPS1N
フォトカード 2	余白の裁ち落としができるミシン目付きの用紙です。	114 × 175mm（ミシン目切り取り後 102 × 152mm）	20	PMZSP1
フォト光沢名刺カード	写真やイラストが入った名刺を作るのに最適な用紙です。	A4 サイズ（8 分割）	10	KNC10PP

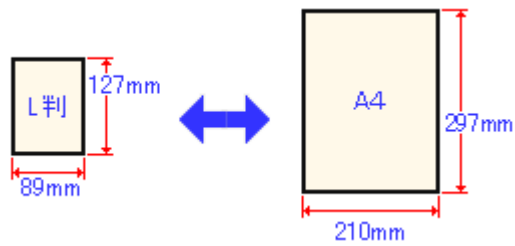
市販の用紙

一般に販売されている事務用普通紙をご利用ください。

注 意

坪量 64 ～ 90g/m^2、厚さ 0.08 ～ 0.11mm の範囲のものを使用してください。

印刷できる用紙のサイズ

本プリンタにセットして印刷することのできる定形の用紙サイズは、最小で 89 × 127mm（L 判）、最大で 210 × 297mm（A4）です。

ポイント

プリンタドライバでは、ユーザー定義サイズとして以下の用紙サイズが設定できます。
Windows 95/98/Me　: **最小** 89 × 89mm、**最大** 241.3 × 1117.6mm
Windows NT4.0/2000　: **最小** 89 × 89mm、**最大** 241.3 × 3276.7mm
Macintosh　: **最小** 88.9 × 88.9mm、**最大** 558.8 × 1117.6mm
ただし、この設定可能範囲には通紙保証外のサイズも含まれますので、上記の定形サイズに拡大 / 縮小して印刷することをお勧めします。

普通紙 / 専用紙のセット方法

ここでは、普通紙 / 専用紙のセット方法についてご説明します。

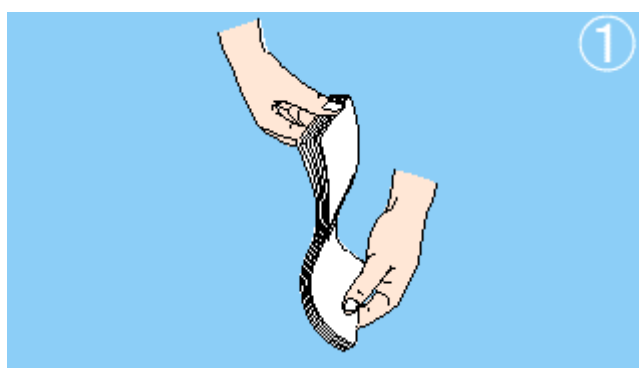
注 意

エプソン製専用紙をセットする前に、必ず用紙に添付の取扱説明書をご覧ください。

ポイント

各種用紙（普通紙を除く）は、一般の室温環境（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。

1. プリンタの電源をオンにして、排紙サポートを引き出します。

2. 用紙を図のようによくさばき、端をそろえます。

注 意

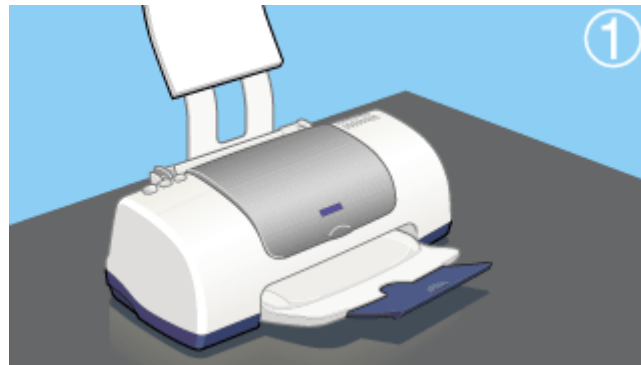
- 用紙が反っている場合は、反りを修正してください。

- フチなし全面印刷や印刷領域を［最大］に設定して印刷するときは、特に用紙の反りを厳密に修正してください。反っている用紙を使用すると、用紙の下端がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。
- PM 写真用紙 /MC 写真用紙を使用する場合は、さばいたり反りの修正をしないでください。

ポイント

用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。用紙を取り扱う場合には用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

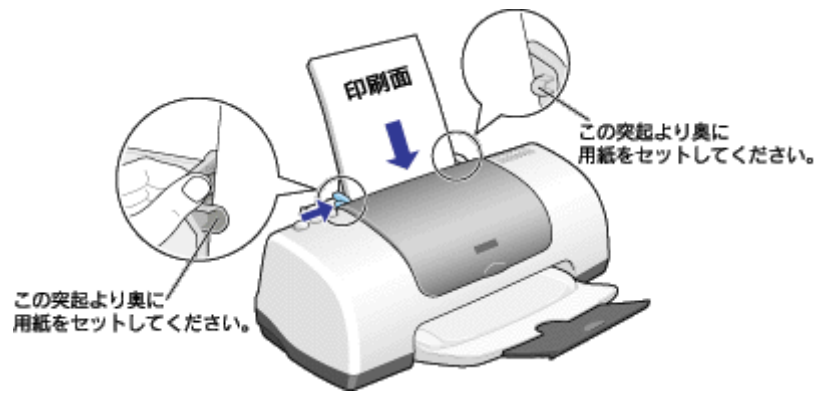
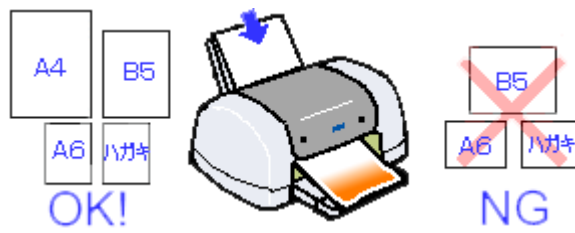
3. 印刷する面を手前側にして、用紙をオートシートフィーダの右側に沿わせながら縦方向にセットします。続いて、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

専用紙によって、印刷面やセット可能枚数が異なります。また、給紙補助のためにシートまたは普通紙を用紙の一番下に敷く必要がありますので、下表を参照してセットしてください。

用紙	セット可能枚数	印刷面	給紙補助
市販の普通紙	▼マークまで	–	必要ありません
上質普通紙	▼マークまで	–	必要ありません
両面上質普通紙＜再生紙＞	▼マークまで	–	必要ありません
スーパーファイン専用紙 2	30 枚	より白い面	必要ありません
PM 写真用紙（光沢）	L 判：20 枚	より光沢のある面	必要ありません
	2L 判：10 枚		
	A4：1 枚		
MC 写真用紙（半光沢）	1 枚	より光沢のある面	必要ありません
PM マット紙	20 枚	より白い面	給紙補助シート
フォト・プリント紙 2	20 枚	より光沢のある面	給紙補助シート
アイロンプリントペーパー	1 枚	白紙の面（印刷がない面） 切り落とされた角がある場合は、その角が右上にくる面	必要ありません
スーパーファイン専用光沢フィルム	A6：1 枚	切り落とされた角が右上にくる面 印刷面	普通紙 （A6 の場合は、給紙補助シート）
	A4：20 枚		
専用 OHP シート	10 枚		普通紙
ミニフォトシール	1 枚		給紙補助シート A/B
フォト光沢名刺カード	1 枚		給紙補助シート
スーパーファイン専用ラベルシート	1 枚	EPSON ロゴの印刷されていない面	必要ありません
フォトカード 2	20 枚	より光沢のある面	給紙補助シート

ポイント

- 給紙補助シートは、ご購入いただいた専用紙パックに同梱されています。
- 給紙補助シートは、セット可能枚数に含まれません。

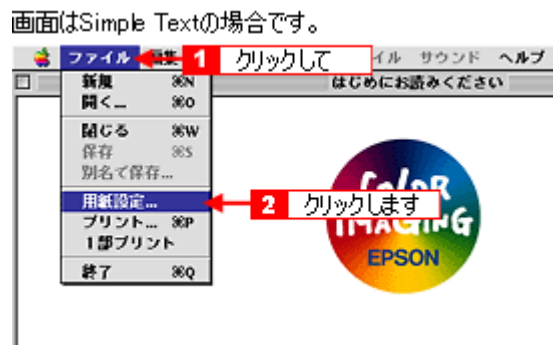
注意

- エッジガイドについて

- **用紙のセット方向について**
  用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると、正常に印刷や排紙ができません。

普通紙 / 専用紙への印刷方法

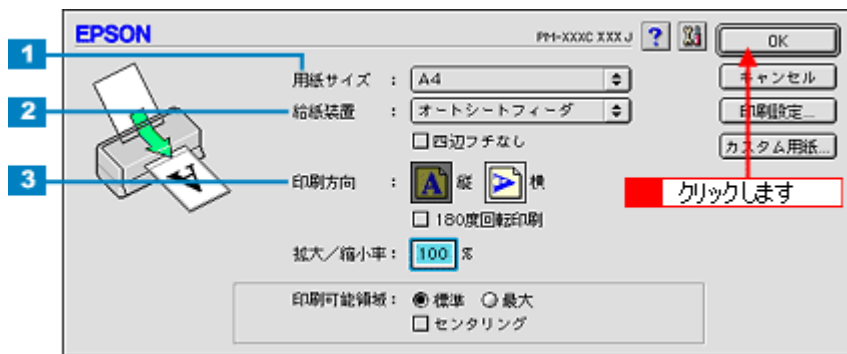
ここでは、普通紙 / 専用紙への基本的な印刷方法をご説明します。

1. プリンタドライバの［用紙設定］画面を開きます。

   多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［プリンタの設定］などの項目をクリックします。

画面はSimple Textの場合です。

ポイント

本プリンタのプリンタドライバが表示されない場合は、セレクタで本プリンタのプリンタドライバが選択されていません。［アップル］メニューから［セレクタ］を開いて、本プリンタのプリンタドライバを選択してください。

2. ［用紙設定］画面の各項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。

1	用紙サイズ	印刷データの用紙サイズを、ポップアップメニューから選択します。
2	給紙装置	［オートシートフィーダ］を選択します。
3	印刷方向	印刷方向を選択します。［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。

ポイント

［用紙設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。

「用紙設定画面」

3. ［印刷］画面を開きます。

   多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［印刷］や［プリント］などの項目をクリックします。

4. ［印刷］画面の各項目を設定します。

1	印刷部数	印刷部数を入力します。	
2	用紙種類	プリンタにセットした用紙の種類を、ポップアップメニューから選択します。	
		セットした用紙	**用紙種類**
		上質普通紙	普通紙
		両面上質普通紙	普通紙
		PM 写真用紙（光沢）	PM 写真用紙
		MC 写真用紙（半光沢）	PM 写真用紙
		PM マット紙	PM マット紙
		フォト・プリント紙 2	フォトプリント紙
		スーパーファイン専用紙 2	スーパーファイン専用紙 2
		スーパーファイン専用光沢フィルム	専用光沢フィルム
		ミニフォトシール	専用光沢フィルム
		アイロンプリントペーパー	アイロンプリントペーパー
		スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン専用紙 2
		専用 OHP シート	専用 OHP シート
		フォトカード 2	フォトプリント紙
		フォト光沢名刺カード	フォトプリント紙
3	インク	［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。	
4	モード	印刷モードを設定します。 ここでは、自動的に最適な設定で印刷する［推奨設定］を選択してみましょう。	

［印刷］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。

「印刷画面」

5. ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

バックグラウンドプリントを［入］に設定している場合は、画面上に EPSON Monitor3 が表示され、印刷が開始されます。

ポイント

印刷後の用紙の取り扱いや保存方法については、以下のページをご覧ください。

「印刷後の用紙の保存方法」

ハガキに印刷

最適なハガキの選択

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう、各種ハガキをご用意しております。官製ハガキにも印刷することはできますが、よりきれいに印刷するためには、エプソン製の専用ハガキをご使用になることをお勧めします。以下では、本プリンタで印刷できるエプソン製のハガキと官製ハガキについてご説明いたします。用途にあったハガキを選択してください。

エプソン製のハガキ

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
PM マットハガキ	厚みのある非光沢のハガキです。落ち着いた質感を実現できます。写真を使っての年賀状やバースデイカード作りに最適です。	ハガキ	50	KH50PM
フォト・クォリティ・カード 2	光沢感のあるハガキです。写真を使っての年賀状やバースデイカード作りに最適です。	ハガキ	20	PMAHSP1
スーパーファイン専用ハガキ	お手ごろな価格で、写真を使っての年賀状やバースディカードを作ることができるハガキです。	ハガキ	50	MJSP5

注意

一部のエプソン製ハガキに同梱されている「クリーニングシート」は、本プリンタでは紙送りの機構上ご使用になれません。

官製ハガキ

一般の官製ハガキをご利用ください。インクジェット対応の官製ハガキもご利用いただけます。

注意

- 往復ハガキの場合は、中央に折り目のないものをお使いください。
- 市販の再生紙ハガキなどは、正常に給紙できないおそれがあります。

ハガキのセット方法

ここでは、ハガキのセット方法をご説明します。

注意

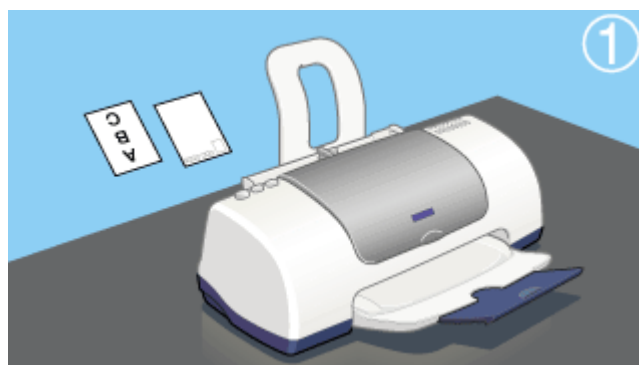
エプソン製のハガキをセットする前に、必ずハガキに添付の取扱説明書をご覧ください。

1. プリンタの電源をオンにして、排紙サポートを引き出します。
2. ハガキを図のようによくさばき、端をそろえます。

ポイント

用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。用紙を取り扱う場合は用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

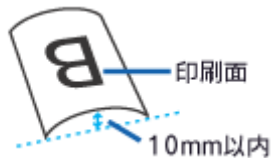
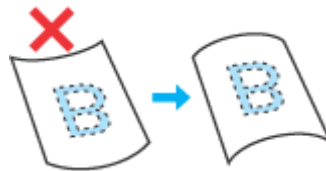
3. 印刷する面を手前側にして、ハガキをオートシートフィーダの右側に沿わせて縦方向にセットします。続いてエッジガイドをハガキの側面に合わせます。

   宛先用の郵便番号枠を下側にしてセットしてください。
   用紙によって、セット可能枚数が異なります。またエプソン製専用ハガキをセットする場合は、給紙補助のためにシートを用紙の一番下に敷く必要がありますので、下表を参照してセットしてください。

用紙	セット可能枚数	給紙補助
官製ハガキ	30 枚	必要ありません
官製ハガキ（インクジェット紙）	30 枚	必要ありません

PM マットハガキ	30 枚	給紙補助シート
フォト・クォリティ・カード 2	20 枚	給紙補助シート<タイプ C >
スーパーファイン専用ハガキ	30 枚	給紙補助シート

※ 給紙補助シートは、ご購入いただいた専用紙パックに同梱されているものをお使いください。

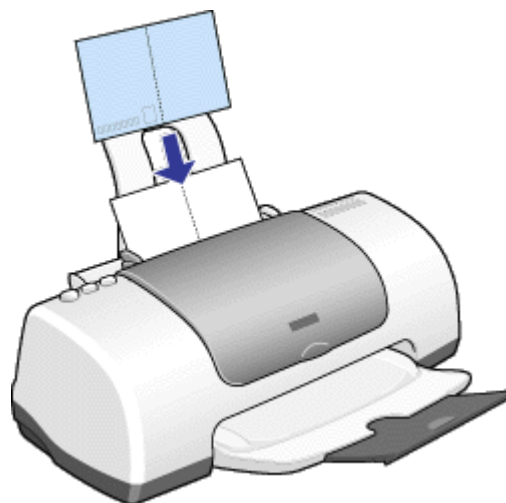
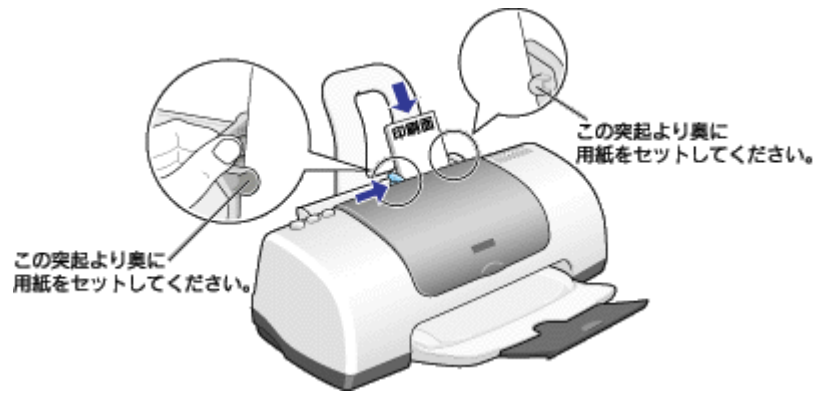
注 意

ハガキは、図のように多少反りを付けてからセットしてください。

また、片面に印刷後、その裏面に印刷するときは、しばらく乾かした後、反りを付け直してください。

逆に反った状態（上記の×のイラスト）で印刷すると、印刷面が汚れるおそれがあります。

ポイント

- 往復ハガキは、横方向にセットしてください。また折り目を付けずにセットしてください。

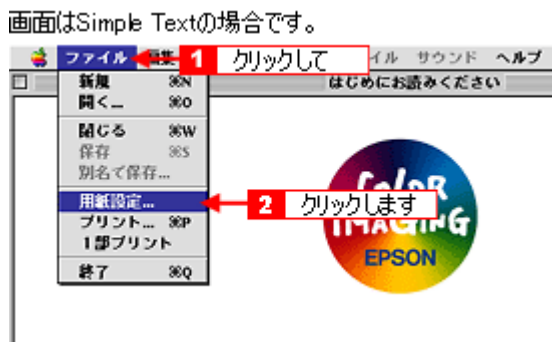
- エッジガイドについて

印刷面
この突起より奥に
用紙をセットしてください。
この突起より奥に
用紙をセットしてください。

ハガキへの印刷方法

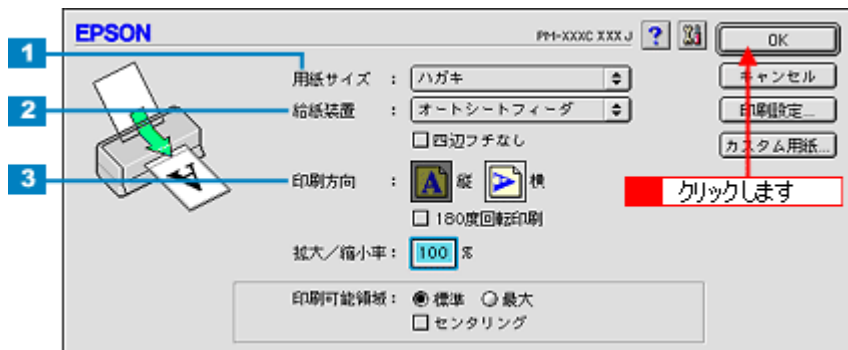
ここでは、ハガキへの基本的な印刷方法をご説明します。

1. プリンタドライバの［用紙設定］画面を開きます。

多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［プリンタの設定］などの項目をクリックします。

画面はSimple Textの場合です。

ポイント

本プリンタのプリンタドライバが表示されない場合は、セレクタで本プリンタのプリンタドライバが選択されていません。［アップル］メニューから［セレクタ］を開いて、本プリンタのプリンタドライバを選択してください。

2. ［用紙設定］画面の各項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。

1	用紙サイズ	［ハガキ］を選択します。 往復ハガキに印刷する場合は、［往復ハガキ］を選択します。
2	給紙装置	［オートシートフィーダ］を選択します。
3	印刷方向	印刷方向を選択します。 ［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。

ポイント

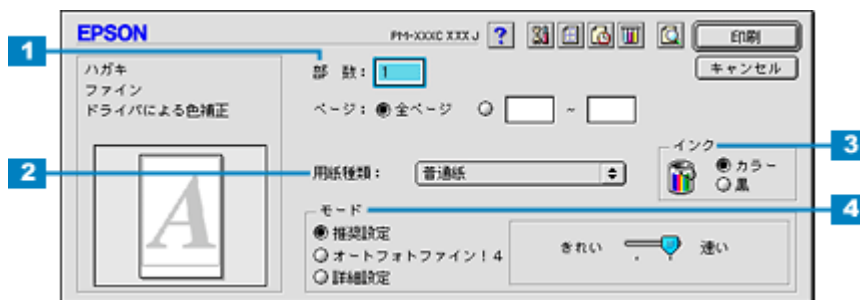
- 印刷する画像によっては、ハガキの先端が傷付く場合があります。
  先端の傷が気になる場合は、プリンタドライバで印刷可能領域を［最大］または［標準］に設定して印刷することをお勧めします。
- ［用紙設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
  「用紙設定画面」

注 意

フチなし全面印刷をする場合の注意
フチなし全面印刷機能では、作成したハガキサイズよりわずかに拡大して印刷することによって、フチのない印刷を実現しています。そのため、拡大されて用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。文章を用紙の端ぎりぎりに配置すると、切れてしまう可能性がありますのでご注意ください。また、宛名面に印刷する場合は、郵便番号がずれてしまうため、フチなし全面印刷機能を使わないことをお勧めします。

3. ［印刷］画面を開きます。

多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［印刷］や［プリント］などの項目をクリックします。

4. ［印刷］画面の各項目を設定します。

1	印刷部数	印刷部数を入力します。		
2	用紙種類	プリンタにセットしたハガキの種類を、ポップアップメニューから選択します。		
		セットした用紙	**用紙種類**	
		官製ハガキ	普通紙	
		官製ハガキ（インクジェット紙）	宛名面	普通紙
			通信面	PM マット紙
		PM マットハガキ	宛名面	普通紙
			通信面	PM マット紙
		フォト・クオリティ・カード 2	宛名面	普通紙
			通信面	フォトプリント紙
		スーパーファイン専用ハガキ	宛名面	普通紙
			通信面	スーパーファイン専用紙 2
3	インク	［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。		
4	モード	印刷モードを設定します。ここでは、自動的に最適な設定で印刷する［推奨設定］を選択してみましょう。		

［印刷］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
「印刷画面」

5. ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

バックグラウンドプリントを［入］に設定している場合は、画面上に EPSON Monitor3 が表示され、印刷が開始されます。

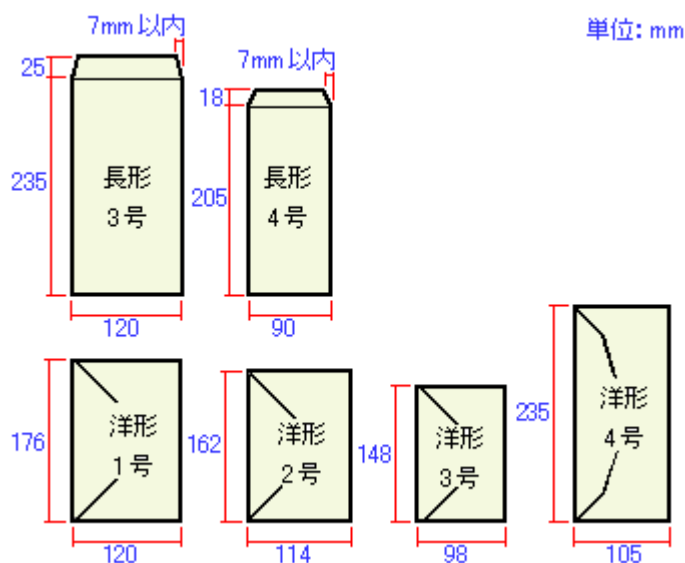
ポイント

印刷後の用紙の取り扱いや保存方法については、以下のページをご覧ください。
「印刷後の用紙の保存方法」

封筒に印刷

使用できる封筒について

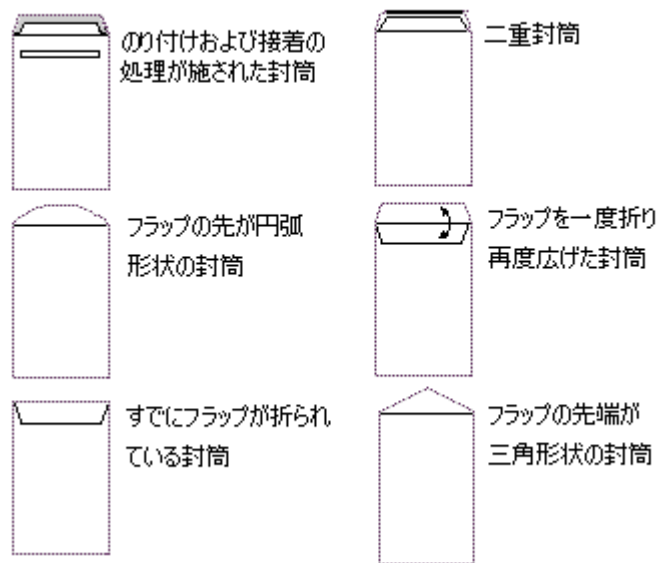
本プリンタで印刷できる封筒のサイズと印刷領域についてご説明します。

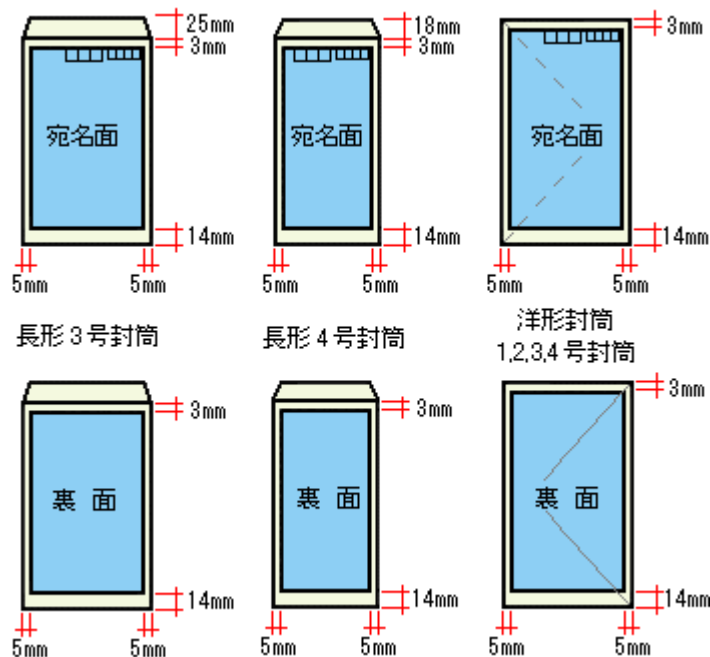
印刷可能な封筒のサイズ

ポイント

上記の封筒であってもフラップの長さが異なる封筒をご利用いただく場合は、ユーザー定義サイズで封筒のサイズを設定してから印刷してください。ユーザー定義サイズで封筒のサイズを設定する場合、用紙の長さはフラップを含めた長さに設定してください。

「定形外の用紙サイズに印刷」

注 意

- ご利用の封筒によっては、上記の定形サイズの封筒またはユーザー定義サイズで設定した封筒で印刷したにもかかわらず、印刷開始位置がずれることがあります。印刷前には必ず試し印刷することをお勧めします。試し印刷をして印刷開始位置がずれる場合は、アプリケーションソフトで余白の設定を調整してください。
- 印刷可能なサイズの封筒であっても、以下の封筒はご使用になれません。無理にご使用になると、給紙機構に悪影響を及ぼすおそれがありますので、絶対にご使用にならないでください。

封筒の印刷領域

封筒へ印刷する場合は、以下の領域に印刷してください。プリンタドライバで印刷領域を［最大］に設定して印刷すると用紙の下端において印刷品質が低下するおそれがあります。

封筒のセット方法

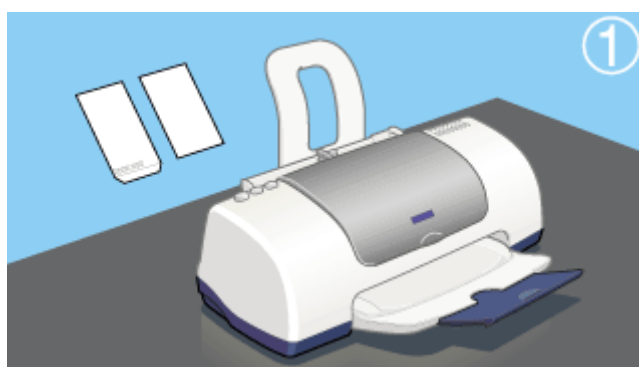
ここでは、封筒のセット方法をご説明します。

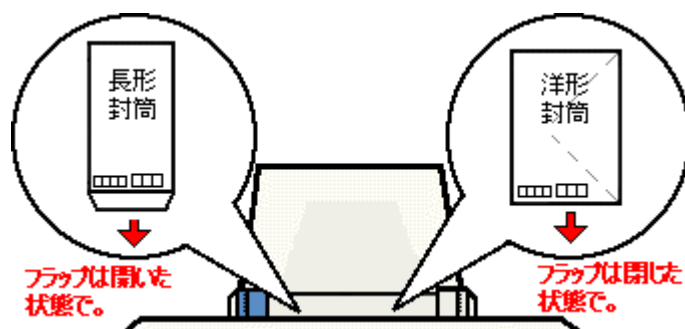
1. プリンタの電源をオンにして、排紙サポートを引き出します。

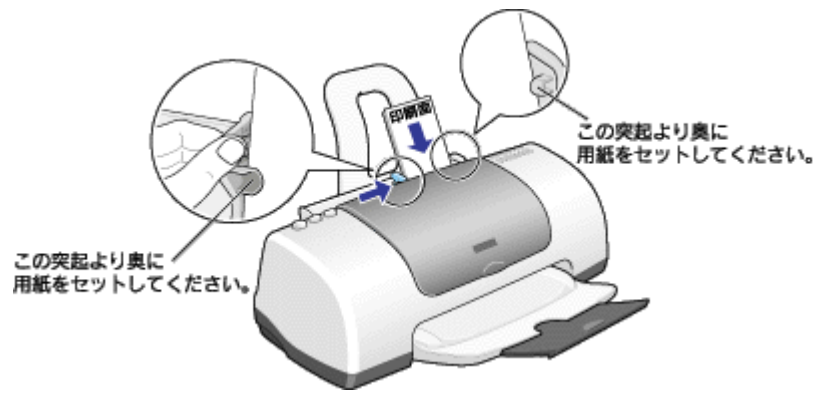
2. 封筒をよくさばき、端をそろえます。

ポイント

用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。用紙を取り扱う場合は、用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

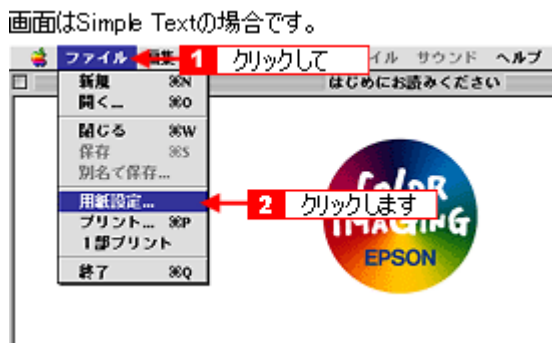
3. 印刷する面を手前側にして、封筒をオートシートフィーダの右側に沿わせてセットします。続いて、エッジガイドを封筒の側面に合わせます。

ポイント

- 封筒は、下図の向きでプリンタへセットしてください。

- 封筒のセット可能枚数は 10 枚です。
- エッジガイドについて

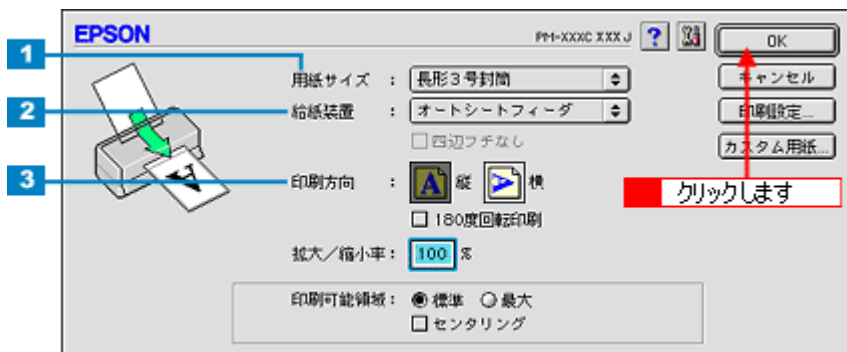
この突起より奥に
用紙をセットしてください。
この突起より奥に
用紙をセットしてください。

封筒への印刷方法

ここでは、封筒への基本的な印刷方法をご説明します。

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を開きます。**

   多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［プリンタの設定］などの項目をクリックします。

ポイント

本プリンタのプリンタドライバが表示されない場合は、セレクタで本プリンタのプリンタドライバが選択されていません。［アップル］メニューから［セレクタ］を開いて、本プリンタのプリンタドライバを選択してください。

2. **［用紙設定］画面の各項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。**

1	用紙サイズ	印刷データの封筒サイズをポップアップメニューから選択します。
2	給紙装置	［オートシートフィーダ］を選択します。
3	印刷方向	印刷方向を選択します。 ［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。

［用紙設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。

「用紙設定画面」

3. **［印刷］画面を開きます。**

   多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［印刷］や［プリント］などの項目をクリックします。

4. ［印刷］画面の各項目を設定します。

1	印刷部数	印刷部数を入力します。
2	用紙種類	［普通紙］を選択します。
3	インク	［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。
4	モード	印刷モードを設定します。ここでは、自動的に最適な設定で印刷する［推奨設定］を選択してみましょう。

［印刷］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
「印刷画面」

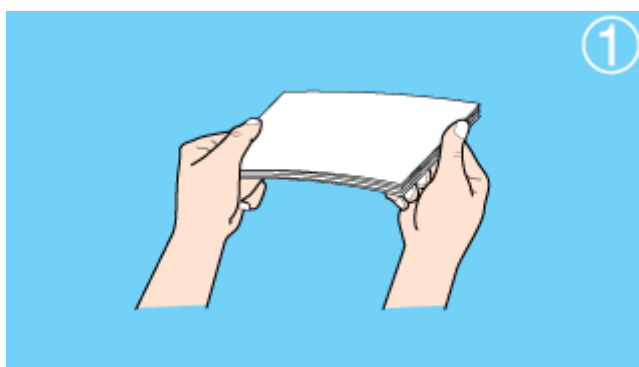
5. ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

バックグラウンドプリントを［入］に設定している場合は、画面上に EPSON Monitor3 が表示され、印刷が開始されます。

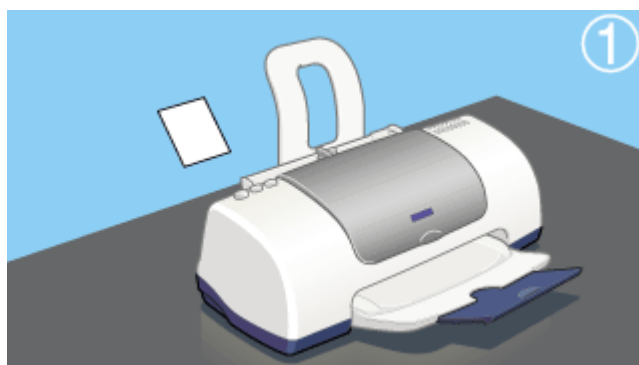
L 判 /2L 判に印刷

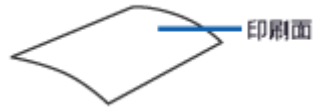
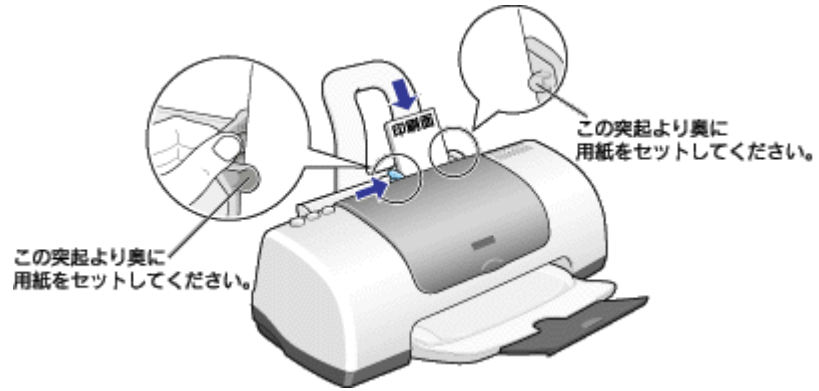
L 判 /2L 判の用紙のセット方法

ここでは、L 判 /2L 判の用紙のセット方法をご説明します。

1. プリンタの電源をオンにして、排紙サポートを引き出します。
2. 用紙を図のようによくさばき、端をそろえます。

ポイント

用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与えることがあります。用紙を取り扱う場合は用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

3. 印刷する面を手前側にして、用紙をオートシートフィーダの右側に沿わせて縦方向にセットします。続いてエッジガイドを用紙の側面に合わせます。

ポイント

- PM 写真用紙 L 判のセット可能枚数は 20 枚です。
- PM 写真用紙 2L 判のセット可能枚数は 10 枚です。
- プリンタドライバで［四辺フチなし］、または印刷領域を［最大］に設定して印刷する場合は、下図のように多少、反りを付けてください。

- **エッジガイドについて**

L 判 /2L 判への印刷方法

写真を L 判 /2L 判に印刷する場合は、本プリンタに添付のアプリケーションソフト EPSON　PhotoQuicker を使用することをお勧めします。
EPSON PhotoQuicker を使用すれば、写真データを L 判 /2L 判に簡単操作で印刷することができます。
EPSON PhotoQuicker からの印刷方法は、以下の取扱説明書をご覧ください。
別冊「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」

ポイント

- 写真以外の文書などを印刷する場合は、以下のページをご覧ください。
  「普通紙 / 専用紙への印刷方法」
- 印刷後の用紙の取り扱いや保存方法については、以下のページをご覧ください。
  「印刷後の用紙の保存方法」

注 意

- 印刷後の用紙は、速やかに排紙トレイから取り除いて、１枚ずつ広げて乾燥（※）させてください。
  ※１枚ずつ広げておよそ一昼夜（24 時間）程度乾燥させるか、15 分程度放置した後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねて乾燥させてください。
- 印刷後の用紙が排紙トレイで重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。この跡は、１枚ずつ広げて乾燥（※）させれば、なくなります。重なっている状態で放置すると、１枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなりますのでご注意ください。

印刷の中止方法

印刷の中止方法

印刷を中止したいと思ったときは、以下の手順で印刷を中止してください。

ポイント

何らかの理由により印刷を強制終了させたい場合は、まず始めにプリンタの電源をオフにしてください。印刷中の用紙は排紙されます。その後、以下の手順で印刷文書を削除してください。

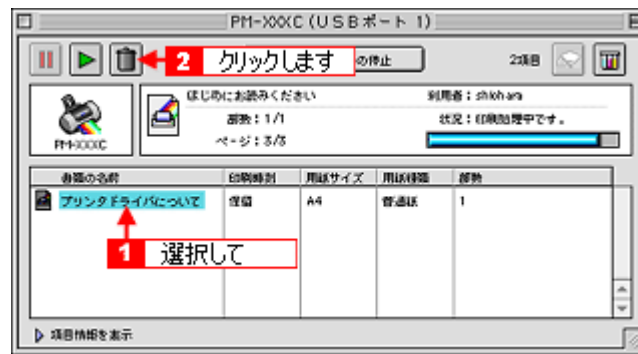
バックグラウンドプリント使用時の場合

バックグラウンドプリントを［入］に設定している場合は、画面上に表示される EPSON Monitor3 を使用して印刷を中止します。

1. **アプリケーションメニューから［EPSON Monitor3］を選択します。**

   EPSON Monitor3 の画面が表示されます。

2. **印刷文書をクリックして、 ボタンをクリックします。**

   画面上に印刷キャンセルに関するダイアログが表示された場合は、画面の表示に従ってください。これで印刷が正常に止まります。

バックグラウンドプリント未使用の場合

バックグラウンドプリントを使用していない場合は、Macintosh の機能を使用して印刷を中止します。

1. **コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（.）キーを押します。**

   画面上に印刷キャンセルに関するダイアログが表示された場合は、画面の表示に従ってください。これで印刷が正常に止まります。

目的別の印刷方法

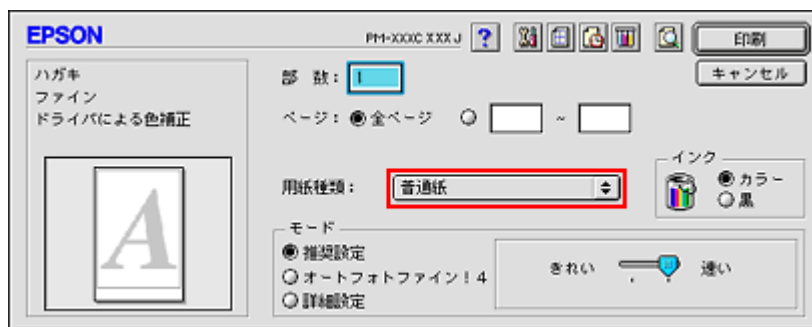
年賀状の印刷方法

ここでは、官製のお年玉付き年賀ハガキへ印刷する際のポイント（プリンタドライバの設定）についてご説明します。

ポイント

- エプソン製の専用ハガキをお使いになれば、さらにきれいに印刷することができます。
  「最適なハガキの選択」
- ハガキのセット方法は以下のページをご覧ください。
  「ハガキのセット方法」

お年玉付き年賀ハガキに印刷する際のプリンタドライバの設定

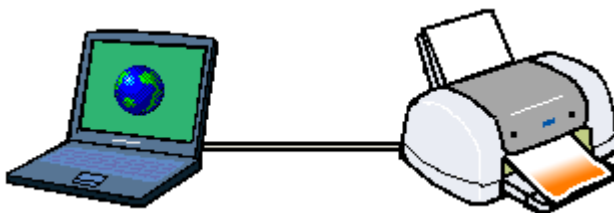
印刷時に設定するプリンタドライバの用紙種類の項目は、以下の表を参照して設定してください。

セットしたハガキ	プリンタドライバの用紙種類	
お年玉付き年賀ハガキ	普通紙	
お年玉付き年賀ハガキ（インクジェット紙）	宛名面	普通紙
	通信面	PM マット紙

上の画面の開き方やそのほかの設定など、ハガキへの印刷方法は以下をご覧ください。
「ハガキへの印刷方法」

注 意

フチなし全面印刷をする場合の注意
フチなし全面印刷機能では、作成したハガキサイズよりわずかに拡大して印刷することによって、フチのない印刷を実現しています。そのため、拡大されて用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。文章を用紙の端ぎりぎりに配置すると、切れてしまう可能性がありますのでご注意ください。また、宛名面に印刷する場合は、郵便番号がずれてしまうため、フチなし全面印刷機能を使わないことをお勧めします。

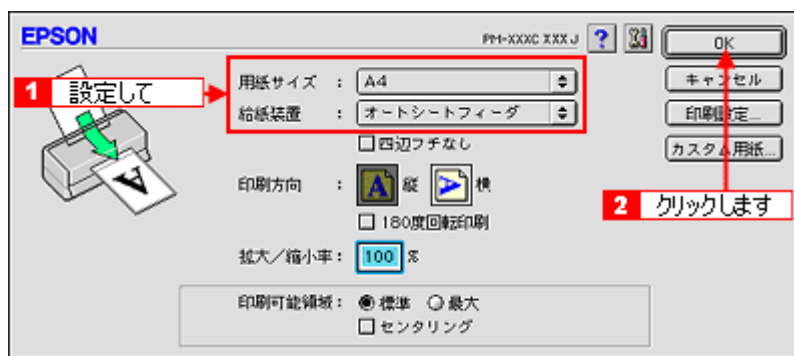
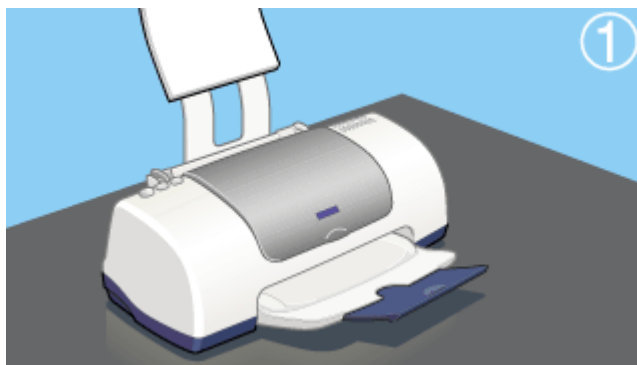
ホームページの印刷方法

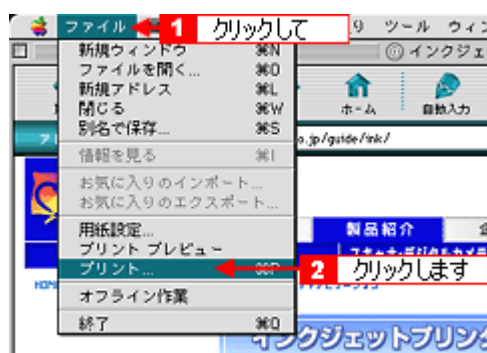
ここでは、Internet Explorer を使用してホームページを印刷する際の手順についてご説明します。

ポイント

インターネット上で表現される画像や音などは、ほとんどの場合、制作者が著作権を有しています。個人で使用する以外の無断複製や無断転用などは著作権法の罰則の対象となります。

1. Internet Explorer を起動して、印刷したいページを開いてください。
2. ［ファイル］メニューの［用紙設定］をクリックします。

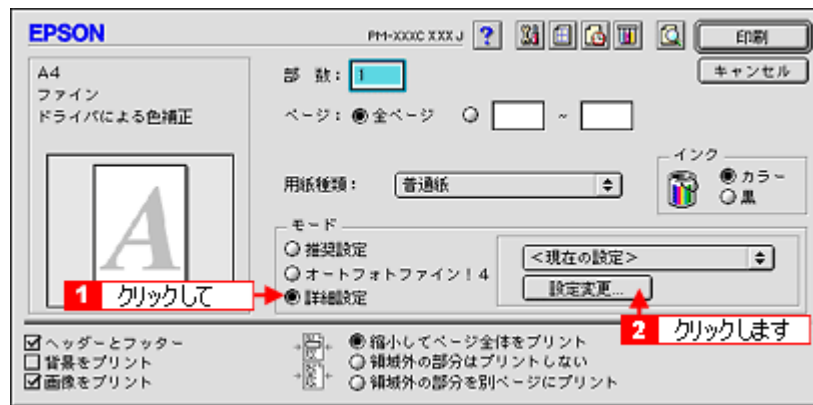
   ［用紙設定］画面が開きます。

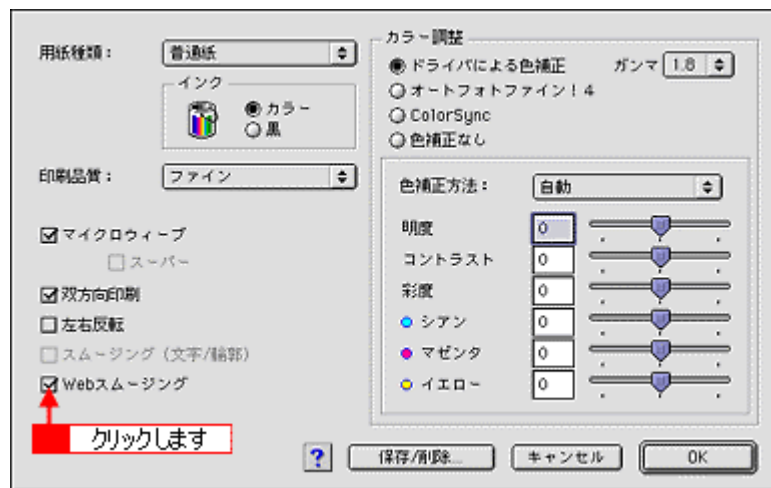
3. ［用紙サイズ］と［給紙装置］を設定します。設定したら［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。

4. 本プリンタの電源をオンにして、用紙をセットします。

5. ［ファイル］メニュー内の［プリント］をクリックします。

［印刷］画面が開きます。

6. プリンタにセットした用紙の種類を、［用紙種類］のポップアップメニューから選択します。

ポイント

インターネット上の画像は、データ通信を優先するため、基本的に低解像度に設定されています。そのため、専用紙を使用して［フォト］印刷など高解像度で印刷しても印刷の品質は向上しない場合があります。

7. モードから［詳細設定］を選択して、［設定変更］ボタンをクリックします。

8. ［Web スムージング］にチェックを付けます。

［Web スムージング］は、Web 上の低解像度のロゴ・イラスト・画像の輪郭をなめらかにして印刷します。

9. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

ポイント

- **印刷時、ページの左右が切れてしまう場合**
  手順 3 の［用紙サイズ］で設定したサイズ（＝印刷データのサイズ）が、ホームページのページサイズより小さいことが考えられます。先に設定した用紙サイズより大きいサイズ（［A4］で切れてしまった場合は、［B4］など）を設定して、印刷してみてください。
  なお、ここで設定したサイズとプリンタにセットした用紙サイズが異なる場合は、縮小して印刷する必要があります。［レイアウト］画面で［フィットページ］を選択し、［出力用紙］のポップアップメニューからプリンタにセットした用紙サイズを選択してください。
- **ホームページ上のデータが複数ページに渡っている場合**
  ページのつなぎ目で、画像や文章が印刷されない個所が発生することがあります。
- **ページ上の背景色などが印刷できない場合**
  ［印刷］画面で［背景をプリント］にチェックを付けてください。

写真の印刷方法

デジタルカメラで撮影した画像データを写真のように印刷したい !!　そんなときは以下の説明をご覧ください。

最適な用紙の選択

エプソンでは、写真プリントに最適な用紙を各種用意しております。以下のページを参照して、用途に合った用紙を選択してください。

「最適な普通紙 / 専用紙の選択」

フチなし全面印刷をする場合

用紙の種類やサイズによっては、フチなし全面印刷ができません。詳細は以下のページでご確認ください。

「フチなし全面印刷（定形紙）」

用紙のセット方法

各用紙のセット方法については、以下のページをご覧ください。

「普通紙 / 専用紙のセット方法」

写真の印刷方法

デジタルカメラで撮影した画像データを印刷する場合は、本プリンタに添付のアプリケーションソフト EPSON PhotoQuicker を使用することをお勧めします。
EPSON PhotoQuicker を使用すれば、写真データを簡単操作で印刷することができます。
EPSON PhotoQuicker からの印刷方法は、以下の取扱説明書をご覧ください。

別冊「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」

印刷後の用紙の取り扱いや保存方法について、以下のページをご覧ください。

「印刷後の用紙の保存方法」

きれいに印刷したい

写真データをよりきれいに印刷するためには、以下の４つのポイントを押さえておきましょう。

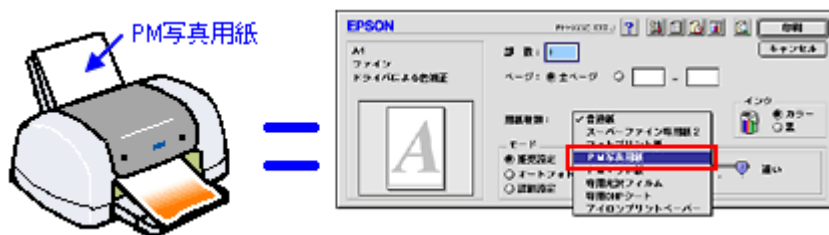
ポイント１　印刷しようとする画像データが、どのくらいの大きさで印刷可能か確認しましょう。

一般的に画像データは、細かい点（画素またはピクセル）の集まりで構成されています。同じサイズの印刷を行う場合には、この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷を行うことができます。また、印刷サイズが大きくなればなるほど、画素数の多い画像データが必要になります。
デジタルカメラの画像データを例にした場合、画像データのサイズと印刷サイズの関係は以下の通りです。
以下の表を参考にして、印刷サイズに適した画素数の画像データを用意してください。

デジタルカメラ	一般的な記録画素数（ピクセル）	印刷サイズ			
		A6	A5	B5	A4
35 万画素	640 × 480	○	△	△	△
130 万画素	1290 × 960	◎	◎	○	○
211 万画素	1600 × 1200	◎	◎	○	○
300 万画素	2048 × 1536	※	◎	◎	◎

※ オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。
◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高品質な印刷結果を出力できます。
○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。
△推奨外：用紙サイズに対し画素数が少なすぎます。印刷結果の品質は期待できません。

ポイント２　専用紙に印刷しましょう。

せっかく完璧な印刷データを作っても、印刷する用紙が普通紙では、高い解像度で印刷することはできません。
PM 写真用紙などの専用紙に印刷すれば、高品位の印刷結果が得られます。
その際、プリンタドライバの［用紙種類］の設定で、使用する専用紙に対応した用紙種類を選択してください。

ポイント

専用紙には、目的に応じてさまざまな種類があります。写真の印刷が目的の場合には、「PM 写真用紙」や「PM マット紙」などの使用をお勧めします。

「印刷サイズに適した画像データを用意する」、「専用紙に印刷する」の 2 点に注意すれば、高品質な印刷を行うことができます。PM 写真用紙に印刷された画像はまさに写真といえます。
通常は、これだけのことで高品質な印刷を行うことができます。
しかし、このように印刷しても、印刷する画像の内容によっては印刷結果に印刷ムラやスジが目立つことがあります。このような場合は、ポイント 3・ポイント 4 をご覧ください。

ポイント 3　プリンタドライバの詳細設定を変更してみましょう。

印刷結果を良く見ると印刷ムラやスジが目立つ場合には、プリンタドライバの［詳細設定］画面を開き、画面内の設定を変更すれば、印刷ムラなどを目立たなくすることができます。

ポイント

画像データや専用紙の組み合わせによっては、設定を変更しても印刷時間が長くなるだけで、見た目上の印刷品質は変わらない場合もあります。

1. **［双方向印刷］がチェックされている場合は、チェックを外してください。印刷速度は遅くなりますが、印刷品質は向上します。**

   双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときでも印刷するので、より高速に印刷できます。ただし、印刷品質が多少低下する場合があります。

2. **［双方向印刷］のチェックを外して印刷しても、印刷ムラが目立つ場合には、［マイクロウィーブ］にチェックを付けます。**

   印刷時の紙送りピッチが少なくなり、印刷ムラが目立たなくなります。さらに［スーパー］にチェックを付けると、より改善されます。ただし、これらの設定を行っても、画像データや専用紙によっては、印刷時間が長くなるだけで見た目上の印刷品質は変わらない場合もあります。

ポイント 4　プリンタの状態を確認しましょう。

プリントヘッドの目詰まりなどで、正常な印刷が行われていない可能性もあります。
ノズルチェックパターンの印刷やヘッドクリーニングを行ってみてください。

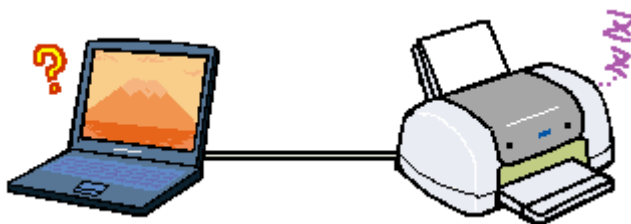
「ノズルチェック」
「ヘッドクリーニング」

ポイント

- このほかに、初心者の方でも簡単に画像データを高画質化できる「オートフォトファイン !4」があります。オートフォトファイン !4 は自動的に画像を高画質化して印刷する EPSON 独自の画像補正機能です。印刷する際にプリンタドライバで設定すれば、元データに手を加えることなく画像を高画質化して印刷します。
  「写真をきれいに印刷（オートフォトファイン !4）」
- 写真などの画像データは、基本的に細かい点（画素）の集まりで構成されています。この点（ドット）の細かさを表すのが解像度で、解像度の高さがきれいに印刷するポイントになります。デジタルカメラの画像データを印刷する場合には、印刷サイズを大きくすれば解像度は低くなり、小さくすれば解像度は高くなります。
  「解像度とは？」
- ディスプレイに表示された画像と、プリンタで印刷した画像の色合いは完全には一致しません。できるだけ一致させるためには、ディスプレイの調整も必要です。
  「ディスプレイについて」

トラブル対処方法

プリンタの電源がオンにならない

プリンタの電源スイッチを押してもプリンタのランプが一つも点灯しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？

差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。また、壁に固定されたコンセントに電源プラグを差し込んでいるか再度確認してください。

チェック

コンセントに電源はきていますか？

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。ほかの電気製品が正常に動作するときは、プリンタの故障が考えられます。

ポイント

以上の２点を確認の上で電源スイッチを押しても電源がオンにならない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

電源ランプは点灯しているのに、印刷が始まらない・プリンタが動かない

プリンタの電源は入っているけれど、コンピュータから印刷を実行しても印刷が始まらない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

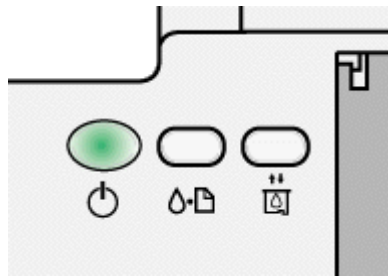
チェック

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません。」「用紙がありません。」などのメッセージが表示されていませんか？

画面上に何らかのメッセージ（エラーの内容と対処方法）が表示されている場合は、メッセージに従って原因を解決してください。
何もメッセージが表示されていない場合、またはメッセージが表示されていても原因や対処方法がよくわからない場合は、この項目以降に記載されている各項目を確認して、エラー解除などを行ってください。

チェック

プリンタのランプで、赤いランプが点灯または点滅していませんか？

赤いランプが点灯または点滅している（エラーが発生している）と、プリンタは給紙動作を行わない場合があります。（発生しているエラーの内容によって、給紙できる場合とできない場合があります。）
電源ランプが点灯しているにもかかわらずプリンタがまったく給紙動作をしないといった場合のほとんどは、エラーが発生しているケースのため、まずはランプの状態を確認してください。

赤いランプが点灯 / 点滅している場合のエラーの内容については、以下のページをご参照ください。
「ランプのエラー表示一覧」

チェック

プリンタとコンピュータはしっかりと接続されていますか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されていますか？ケーブルが断線していませんか？変に曲がっていませんか？しっかり接続されていないと印刷されない場合がありますので、よく確認してください。

チェック

プリンタとコンピュータの間に、プリンタ切替機やバッファなどを使用していませんか？

一台のプリンタを複数のコンピュータで共有する場合などに使われるプリンタ切替機や、プリンタバッファなどを使用していると、プリンタとコンピュータの情報データのやり取りがうまくいかず、印刷できない場合があります。プリンタとコンピュータを直接接続して、正常に印刷できるかご確認ください。

チェック

本プリンタ用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

セレクタに本プリンタのアイコンが表示されていますか？
本プリンタのアイコンがない場合は、プリンタドライバがインストールされていませんので、「スタートアップガイド」の手順説明に従って、インストールをしてください。

上記画面は、［アップル］メニューの［セレクタ］をクリックして開きます。

チェック

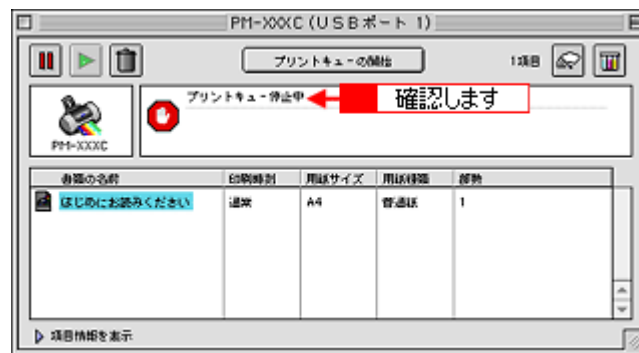
「印刷先」の設定は正しいですか？

ネットワーク環境で Macintosh をご利用の場合は、セレクタ上に USB ポートとネットワークプリンタの両方が表示される場合があります。印刷したいプリンタ（USB ポートに直接接続されているプリンタか、ネットワーク上のプリンタか）を選択してください。

上記画面は、［アップル］メニューの［セレクタ］をクリックして開きます。

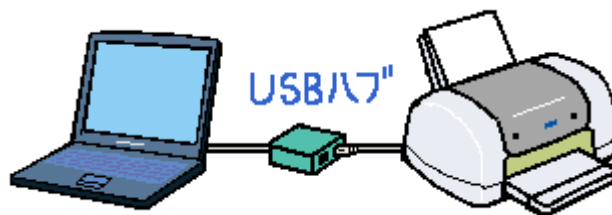
チェック

EPSON Monitor3 のステータスが「一時停止」になっていませんか？

印刷の途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷を停止したりした場合、「一時停止」状態のままになります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。
［プリントキューの開始］ボタンまたは ボタンをクリックして印刷を再開します。

「印刷状況確認画面（EPSON Monitor3）**」**

チェック

USB ハブをご利用の場合に、コンピュータに直接接続されているハブにプリンタを接続していますか？

USB **は仕様上、**USB **ハブを** 5 **段まで縦列接続できますが、本プリンタを接続する場合は、コンピュータに直接接続された** 1 **段目のハブに接続するか、コンピュータ本体に直接接続してください。**

チェック

ノズルチェックパターンを印刷してプリンタが故障していないか確認しましょう。

プリンタが内部に持っているノズルチェックパターンを印刷できるかどうかで、故障の有無がわかります。
「ノズルチェック」

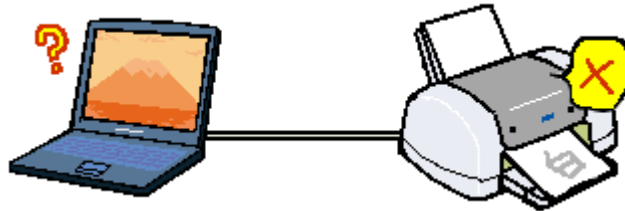
ポイント

以上のチェック項目を確認の上で、再度印刷を実行しても印刷が始まらないときは、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。
ご使用のプリンタのプリンタドライバを一旦アンインストール（削除）してから、再度インストールしてみてください。
「プリンタドライバの削除方法」

ポイント

それでも、印刷できない場合はお買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

動作はするが何も印刷しない

印刷を実行すると用紙を給紙してプリンタは正常に動作しているようなのに、何も印刷しない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
プリンタの電源をオンにして、普通紙を複数枚セットしたら、ノズルチェックを実行してください。
「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ヘッドクリーニング」

チェック

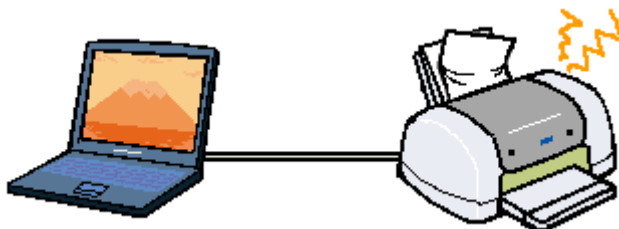
プリンタを長期間使用しないでいませんでしたか？

プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。
この場合は、ヘッドクリーニングとノズルチェックを繰り返し実行してください。
5 回繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上経過した後、再度印刷を実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。なお、ヘッドの目詰まりを防ぐためには、定期的に印刷していただくことをお勧めします。
「ヘッドクリーニング」
「ノズルチェック」

ポイント

それでも印刷できない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

紙送りが正しくできない（定形紙・ハガキ・封筒）

用紙をオートシートフィーダにセットして印刷を実行すると、給紙されない、複数枚重なって給紙される、斜めに給紙される。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

用紙はオートシートフィーダに正しくセットされていますか？

用紙が正しくセットされていないと給紙不良の原因になります。以下の項目をチェックしてください。

- 用紙をオートシートフィーダの右側に沿わせていますか？
- エッジガイドを用紙の側面に合わせていますか？
- 用紙をプリンタ内部へ無理に押し込んでいませんか？
- 用紙は縦方向にセットされていますか？（往復ハガキは横方向）
- プリンタにセットしてある用紙の量が多すぎませんか？
- 用紙をよくさばきましたか？

以下のページを参照して、正しい用紙のセット方法や用紙ごとの取り扱い注意事項をご確認ください。
「普通紙 / 専用紙のセット方法」
「ハガキのセット方法」
「封筒のセット方法」

チェック

ご使用の専用紙には給紙補助が必要ではないですか？

お買い求めいただいた EPSON 純正の専用紙によっては、用紙をセットする前に、専用紙に同梱されている給紙補助シート、もしくは同じサイズの普通紙をセットしないと、最後の 1 枚を正常に給紙できない場合があります。
以下のページを参照して、給紙補助の必要 / 不要をご確認ください。
「普通紙 / 専用紙のセット方法」
「ハガキのセット方法」

チェック

本プリンタで使用できない用紙をお使いではありませんか？

お使いの用紙によっては、給紙できなかったり、正常に印刷できない場合もあります。以下の項目をチェックしてください。

- 用紙にシワや折り目はないですか？
- 厚すぎたり、薄すぎる用紙をお使いではありませんか？

- 用紙が湿気を含んでいませんか？
- 用紙が反っていませんか？
- ルーズリーフ用紙やバインダ用紙などの、穴の空いている用紙ではありませんか？

使用できる用紙の種類については、以下のページをご参照ください。
「最適な普通紙 / 専用紙の選択」
「最適なハガキの選択」
「使用できる封筒について」

チェック

プリンタは水平な場所に設置されていますか？また、一般の室温環境下に設置されていますか？

設置場所が水平でなかったり、設置場所とプリンタの間に何か物が挟まれていたり、プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていたりすると、内部機構に無理な力がかかってプリンタが歪み、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。また、一般の室温環境下（室温：15 〜 25 度、湿度：40 〜 60%）以外で使用した場合にも、専用紙や専用ハガキを正常に紙送りできない場合があります。

チェック

プリンタ内部に用紙が詰まっていませんか？

プリンタカバーを開き、プリンタ内部に異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。
もし紙詰まりが発生している場合は、無理に引っ張らずに、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

1. 電源をオフにして、プリンタカバーを開けます。
2. 用紙を静かに引き抜きます。このとき、途中から破れてしまった場合は、プリンタ内に用紙が残らないように完全に取り除いてください。
3. プリンタカバーを閉じ、電源をオンにして、用紙をセットし直します。

用紙が切れてプリンタ内部に残り、取れなくなってしまった場合は、無理に取ろうとしたりプリンタを分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。

ポイント

それでもトラブルが解決しない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

印刷面がこすれる、汚れる

印刷を実行すると印刷面がこすれて汚れている。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリンタ内部が汚れていませんか？

プリンタの内部がインクで汚れていたりすると、用紙に汚れが付着し、印刷結果を汚すおそれがあります。
定期的にプリンタのお手入れをしてください。
「プリンタが汚れているときは」

チェック

印刷領域を［最大］に設定して印刷していませんか？

プリンタドライバで印刷領域を［最大］に設定して印刷すると、紙送りの機構上、用紙の下端 3mm ～ 14mm の範囲で印刷品質の低下が生じることがあります。また、プリントヘッドが用紙下端とこすれることにより、まれに用紙の最下端部分が汚れることがあります。この場合は、用紙の反りを修正してからプリンタにセットしてください。

チェック

［四辺フチなし］の設定をして印刷していませんか？

フチなし全面印刷（四辺フチなし印刷）を行う場合は、下記の用紙をお使いになることをお勧めします。

- フォト・プリント紙 2/PM マット紙
- L 判 /2L 判の PM 写真用紙
- ハガキサイズの専用紙 / 官製ハガキ

上記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。

チェック

用紙を横方向にセットしていませんか？

用紙は、往復ハガキを使用する場合を除いて、すべて縦方向にセットしてください。
横方向にセットした場合、プリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。

チェック

反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の裁断のときにでる「かえり」）のある用紙を使用していませんか？

反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の裁断のときに出る「かえり」）のある用紙に印刷すると、用紙の端がプリントヘッドをこすってしまうことがあります。用紙の反りやバリを取ってから、プリンタにセットしてください。

チェック

エプソン製の専用紙に印刷後、すぐに重ねていませんか？

上記の特殊用紙は普通紙などと比較してインクの乾きが遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れることがあります。
印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから 1 枚ずつ取り去って十分に乾かしてください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

印刷がぼやける、にじむ、濃い

印刷を実行すると印刷結果がぼやけたり、インクがにじんできれいに印刷できない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

普通紙に写真などを印刷していませんか？

カラー画像やグラフィックスなど、文字などに比べ印刷面積の大きい原稿を普通紙に印刷すると、インクがにじむことがあります。カラー画像などを印刷するときや、より良い品質の印刷をするためには、専用紙のご使用をお勧めします。

チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後 6ヵ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品に添付の Windows/Macintosh 用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
また、純正品以外のカートリッジをお使いになると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。
インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
なお、必ず本プリンタに合った型番のものを使用してください。
本プリンタで使用できるインクカートリッジの当社純正品については、以下のページをご参照ください。
「インクカートリッジ交換時の注意事項」

チェック

プリンタドライバでカラー調整の設定をしていませんか？

プリンタドライバの［詳細設定］画面の「カラー調整」にて「明度」や「コントラスト」を調整したままだと、印刷結果の濃さが変化します。
プリンタドライバの［詳細設定］画面の設定を確認してください。

「詳細設定画面」

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに、印刷結果がぼやける場合は、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。
（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。縦罫線の場合は、線がガタガタにズレます。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）
このようなときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面内の［ギャップ調整］ボタンをクリックして、ギャップのズレを調整してください。
（なお、双方向印刷は［詳細設定］画面で、する / しないを選択できます。）
「ギャップ調整」

チェック

プリンタドライバで設定した用紙種類と、実際に使用している用紙の種類は同じですか？

実際に使用する用紙の種類と、プリンタドライバで設定する「用紙種類」の設定が合っていないと、印刷品質に影響を及ぼします。
実際に使用する用紙の種類とプリンタドライバの設定は、必ず合わせてください。

「印刷画面」

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
「インターネット FAQ のご案内」

- **インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。**

印刷がかすれる、薄い 、印刷した文字や罫線に白スジが入る

印刷を実行すると印刷結果がぼやけたり、インクがにじんできれいに印刷できない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
プリンタの電源をオンにして、普通紙を複数枚セットしたら、ノズルチェックを実行してください。
「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ヘッドクリーニング」

チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後 6ヵ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品に添付の Windows/Macintosh 用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
また、純正品以外のカートリッジをお使いになると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。
インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
なお、必ず本プリンタに合った型番のものを使用してください。
本プリンタで使用できるインクカートリッジの当社純正品については、以下のページをご参照ください。
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

プリンタドライバでカラー調整の設定をしていませんか？

プリンタドライバの［詳細設定］画面の「カラー調整」にて「明度」や「コントラスト」を調整したままだと、印刷結果の濃さが変化します。
プリンタドライバの［詳細設定］画面の設定を確認してください。

「詳細設定画面」

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに、印刷結果がぼやける場合は、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。
（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。縦罫線の場合は、線がガタガタにズレます。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）
このようなときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面内の［ギャップ調整］ボタンをクリックして、ギャップのズレを調整してください。
（なお、双方向印刷は［詳細設定］画面で、する / しないを選択できます。）
「ギャップ調整」

チェック

プリンタドライバで設定した用紙種類と実際に使用している用紙の種類は同じですか？

実際に使用する用紙の種類と、プリンタドライバで設定する「用紙種類」の設定が合っていないと、印刷品質に影響を及ぼします。
実際に使用する用紙の種類とプリンタドライバの設定は、必ず合わせてください。

「印刷画面」

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

印刷にムラがある、色スジがある

印刷を実行すると色ムラや、色スジが発生してきれいに印刷できない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
プリンタの電源をオンにして、普通紙を複数枚セットしたら、ノズルチェックを実行してください。
「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ヘッドクリーニング」

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに、印刷結果がぼやける場合は、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。
（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。縦罫線の場合は、線がガタガタにズレます。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）
このようなときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面内の［ギャップ調整］ボタンをクリックして、ギャップのズレを調整してください。
（なお、双方向印刷は［手動設定］画面で、する / しないを選択できます。）
「ギャップ調整」

チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後6ヶ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品に添付の Windows/Macintosh 用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
また、純正品以外のカートリッジをお使いになると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。
インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
なお、必ず本プリンタに合った型番のものを使用してください。
「インクカートリッジ交換時の注意事項」

チェック

プリンタは水平で安定した場所に設置されていますか？

設置場所が水平でなかったり、設置場所とプリンタの間に何か物がはさまれていたり、プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていたりすると、内部機構に無理な力がかかってプリンタが歪み、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。

チェック

印刷後の用紙（PM 写真用紙／ MC 写真用紙）を重なった状態で放置していませんか？

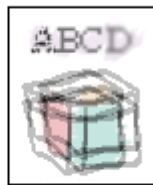
印刷後の用紙が重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。印刷後の用紙は、速やかに１枚ずつ広げて乾燥（※）させてください。そうすれば、跡はなくなります。重なっている状態で放置すると、１枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなりますのでご注意ください。
※１枚ずつ広げておよそ一昼夜（24 時間）程度乾燥させるか、15 分程度放置した後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねて乾燥させてください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- **インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。**
  「インターネット FAQ のご案内」
- **インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。**

縦の罫線が左右にガタガタになったり、文字がぼやける

印刷を実行すると縦の罫線が左右にガタガタになったり、文字がぼやけるときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに縦の罫線が左右にガタガタになったり文字がぼやけるときは、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。
（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。ギャップがズレていると、縦罫線の場合は線がガタガタになります。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）
このようなときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面内の［ギャップ調整］ボタンをクリックして、ギャップのズレを調整してください。
（なお、双方向印刷は［手動設定］画面で、する / しないを選択できます。）
「ギャップ調整」

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

色合いがおかしい、印刷されない色がある、インクが出ない

印刷を実行すると、思った色合いで印刷されない、また特定の色が印刷されない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

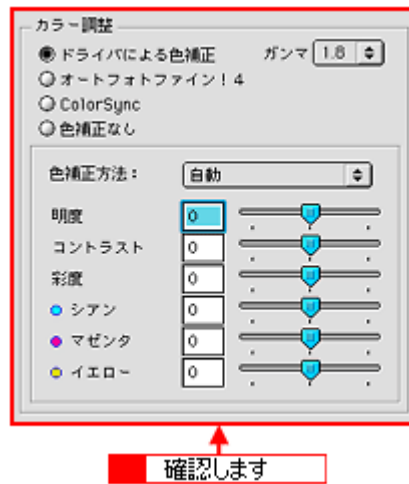
プリントヘッドのノズルが目詰まりしていて特定のインクの出が悪いと、色合いがおかしくなります。
ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
プリンタの電源をオンにして、普通紙を複数枚セットしたら、ノズルチェックを実行してください。
「ノズルチェック」

正常　ノズルは目詰まりしていません。印刷できます。

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ヘッドクリーニング」

チェック

プリンタドライバでカラー調整の設定をしていませんか？

プリンタドライバの［詳細設定］画面の「カラー調整」で「明度」や「コントラスト」などの項目を調整したままだと、印刷結果の色合いが変化します。
プリンタドライバの［詳細設定］画面の設定を確認してください。

「詳細設定画面」

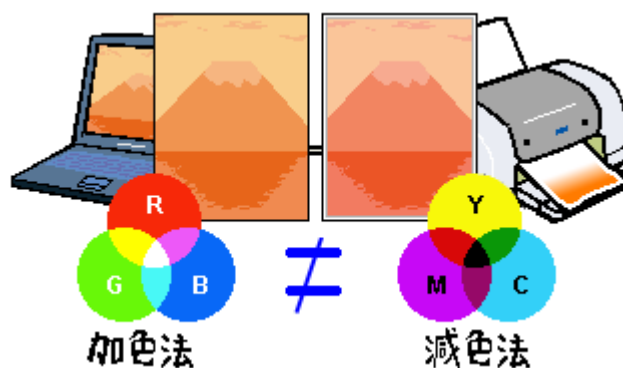
チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後6ヵ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

出力装置（ディスプレイ、プリンタ）の発色方法の違いによる差です。

ディスプレイ表示とプリンタで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

「色について」

これらの差異を抑え、各機器間の色合いを合わせる機能として、ColorSync という機能があります。これらの機能を使用して印刷してみてください。
「画面表示と色合いを合わせて印刷」

チェック

プリンタドライバで設定した用紙種類と実際に使用している用紙の種類は同じですか？

実際に使用する用紙の種類と、プリンタドライバで設定する「用紙種類」の設定が合っていないと、印刷品質に影響を及ぼします。
実際に使用する用紙の種類とプリンタドライバの設定は、必ず合わせてください。

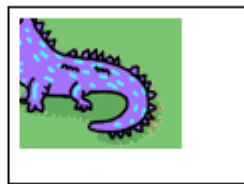
「印刷画面」

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- **インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。**
  「インターネット FAQ のご案内」
- **インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。**

位置がずれる

印刷を実行すると、用紙の思ったところに印刷してくれない場合は、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリンタドライバで設定した用紙サイズと、実際に印刷している用紙サイズは同じですか？

プリンタドライバの用紙サイズの設定を、実際に使用する用紙サイズと合わせてください。

「用紙設定画面」

また、印刷データのサイズが実際に使用する用紙サイズよりも大きい（または小さい）場合は、プリンタドライバの「フィットページ」の機能を使用して、実際に使用する用紙サイズに合わせた印刷を行ってください。
「セットした用紙サイズに拡大 / 縮小印刷」

チェック

用紙とエッジガイドの間に、すき間はありませんか？また、用紙が曲がってセットされていませんか？

一旦用紙を取り出して、用紙をよく整えてください。
オートシートフィーダの右側に沿って用紙をセットし、エッジガイドを用紙の側面に正しく合わせてください。

チェック

ポスター印刷や拡大 / 縮小印刷などのプリンタの機能を使用して印刷していませんか？

本プリンタのプリンタドライバは、印刷結果をさまざまな用途でお使いいただくための機能をご用意しています。これらの機能が有効になっていると、画面上での表示と異なる印刷結果を出力することがあります。プリンタドライバの設定を確認してください。
「レイアウト画面」

チェック

ホームページを印刷していませんか？

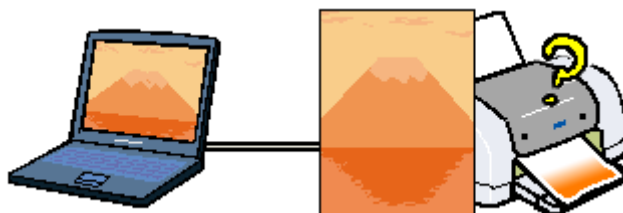
プリンタドライバで設定した［用紙サイズ］（＝印刷データのサイズ）が、ホームページのページサイズより小さいことが考えられます。
先に設定した用紙サイズより大きいサイズを設定して、印刷してみてください。例えば、[A4] で位置がずれて（ページが切れて）しまった場合は［B4］などを設定してください。
なお、ここで設定したサイズとプリンタにセットした用紙サイズが異なる場合は、縮小して印刷する必要があります。プリンタドライバの［レイアウト］画面で［フィットページ］を選択し、［出力用紙］のリストボックスからプリンタにセットした用紙サイズを選択してください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

フチなし全面印刷ができない

フチなし全面印刷を実行したつもりなのに、フチなしにならない場合は、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

印刷時の設定で、フチなし全面印刷をするように設定しましたか？

EPSON PhotoQuicker またはプリンタドライバで、フチなし全面印刷をするように設定したか確認して、再度印刷してください。

別冊「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」
「フチなし全面印刷（定形紙）」

チェック

フチなし全面印刷（定形紙）をするデータのサイズは、用紙サイズいっぱいに作成されていますか？

EPSON PhotoQuicker 以外のアプリケーションソフトから印刷する場合、フチなし全面印刷（定形紙）をするデータのサイズは、用紙サイズいっぱいに作成しておく必要があります。

「フチなし全面印刷（定形紙）」

チェック

定形紙にフチなし全面印刷を行う場合、フチなし全面印刷の推奨用紙を使用していますか？

定形紙でフチなし全面印刷を行う場合は、以下の用紙をお使いになることをお勧めします。

- フォト・プリント紙 2/PM マット紙
- L 判 /2L 判の PM 写真用紙
- ハガキサイズの専用紙 / 官製ハガキ

なお、上記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。また、スーパーファイン専用光沢フィルム・専用 OHP シート・アイロンプリントペーパーには、フチなし全面印刷はできません。

チェック

規格サイズ(*) よりも長さが短い用紙を使っていませんか？

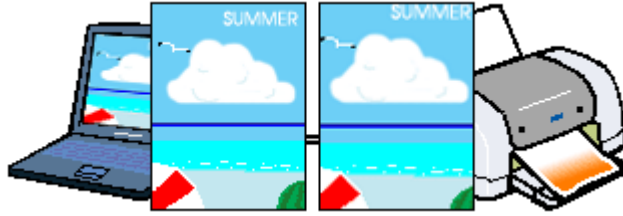
規格サイズよりも長さが約 3mm 以上短い用紙をお使いになると、プリンタは用紙下端に 3mm 程度の余白を残して印刷を終了します。
規格サイズの用紙をお使いください。
* A4:210 × 297mm / ハガキ：100 × 148mm / L 判：89 × 127mm / 2L 判：127 × 178mm

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

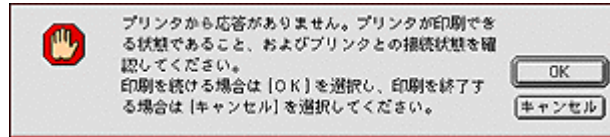
- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

画像の上下左右が切れる

フチなし全面印刷をしたときに、画像の上下左右が切れる場合は、以下を確認してください。

フチなし全面印刷（四辺フチなし印刷）時は、裁ち落とし印刷（用紙より少しはみ出した印刷）をするために、写真を用紙サイズよりも少し拡大処理します。（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）
拡大処理されて用紙からはみ出した部分は印刷されませんので、ディスプレイ上に表示されている内容と印刷結果でわずかに違いが生じます。

その他のトラブル

チェック

「書き込みエラー」や「通信エラー」などのメッセージがコンピュータの画面に表示されて、印刷できない

これらのメッセージは、いくつかの要因によって表示されます。

- プリンタドライバが正しくインストールされていない場合
- コンピュータとプリンタが正しく接続されていない場合

以下のページを参照して、原因の確認とエラー解除を行ってください。
「電源ランプは点灯しているのに、印刷が始まらない・プリンタが動かない」

チェック

クリーニングが動作しない

プリントヘッドのクリーニングを実行してもプリンタがまったく動作しない場合は、操作パネル上の赤いランプが点灯・点滅していないか確認してください。
インク残量が少なくなっているとき、およびインクがなくなっているときは、クリーニングを実行してもプリンタはクリーニングを行いません。
インク残量が少なくなっているとき、またはインクがなくなっているとき新しいインクカートリッジに交換してからクリーニングを実行してください。
「ランプのエラー表示一覧」
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

インクカートリッジの取り付け時、誤って黄色いテープと一緒に青いラベルをはがしてしまった

誤って青いラベルをはがしてしまったインクカートリッジは、使用しないでください。
必ず新しいインクカートリッジを使用し、黄色いテープのみをはがした状態で取り付けてください。青いラベルまではがした場合には、黄色いテープをはがしたとき以上にカートリッジ内に空気が入ってしまうことになります。その場合、インクカートリッジ装着直後はインクが出ますが、時間が経つにつれてインクカートリッジ内のインクの粘度が増し、印刷時に目詰まりを起こす原因となります。
この状態に陥ってからインクカートリッジを交換してクリーニングを行っても目詰まりを解消することができなくなりますので、ご注意ください。

チェック

黒印刷しかしていないのに、いつの間にかカラーインクが減っている

黒印刷しかしない場合でも、以下の動作時にカラーインクが消費されます。
また、カラーインクしか使用しない場合でも、同様の理由で黒インクが消費されます。

- **ヘッドクリーニングをするとき**
  黒インクのみ使用していても、ヘッドクリーニング時は黒・カラーのインクを同時に使用するため、カラーインクも消費されます。

- **セルフクリーニング時**
  セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能です。印刷を開始するときなどに定期的に行われます（すべてのインクを微量吐出して、ノズルの乾燥を防ぎます）。

クリーニング時に黒とカラーインクを同時に使用する理由
プリントヘッドのノズルにインクが詰まると、インクが出なくなったりかすれたり、正常に印刷できなくなります。黒のみの印刷をしていても、ある日突然カラー印刷をしたくなった際に、正常にインクが出ないということでは、プリンタの性能を発揮できない結果になります。
そのため、目詰まり防止策として、どちらか一方のノズルだけをクリーニングするのではなく、黒・カラー両方のノズルをクリーニングして、双方のノズルを常に良好な状態にしておく仕組みになっています。

チェック

意味不明の文字や記号が印刷される（文字化けする）

印刷を実行すると意味不明な文字や記号が印刷される。また、意味不明な文字や記号を少しずつ印刷しながら、大量の用紙を排紙する。
こういった現象は、コンピュータからプリンタに送られてくるデータが初めから壊れていたり、送られてくる途中で壊れてしまうことが原因として考えられます。
以下のチェック項目を確認してください。

プリンタケーブルが外れかかっていませんか？

コンピュータとプリンタに、プリンタケーブルがしっかり差し込まれていることを確認してください。外れかかっていると、印刷や動作がおかしくなる場合があります。

プリンタとコンピュータの間に、プリンタ切替機やバッファなどを使用していませんか？

一台のプリンタを複数のコンピュータで共有する場合などに使われるプリンタ切替機や、プリンタバッファなどを使用していると、プリンタとコンピュータの情報データのやり取りがうまくいかず、文字化けなどが発生する場合があります。
プリンタとコンピュータを直接接続して、正常に印刷できるかご確認ください。

チェック

印刷後の用紙（PM 写真用紙／ MC 写真用紙）に、重なった際の跡が残る

印刷後の用紙を重なった状態で放置していませんか？
印刷後の用紙が重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。印刷後の用紙は、速やかに 1 枚ずつ広げて乾燥（※）させてください。そうすれば、跡はなくなります。重なっている状態で放置すると、１枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなりますのでご注意ください。
※１枚ずつ広げておよそ一昼夜（24 時間）程度乾燥させるか、15 分程度放置した後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねて乾燥させてください。

チェック

印刷に時間がかかる、印刷が始まらない

Macintosh 本体のシステムの空きメモリ容量が少ないと、印刷に時間がかかる（または印刷がなかなか始まらない）場合があります。
この場合は、使用していないアプリケーションソフトを終了するなどメモリの空き容量を増やして Macintosh が使用できるメモリ領域を確保してください。
システムの空きメモリ容量とは、［このコンピュータについて ...］を選択したときのウィンドウに表示される「最大未使用ブロック：」の値です。
必要な空きメモリ容量が得られない場合は、暫定的に Macintosh の仮想メモリを使用してください。（［システムが使用するメモリ］＋［印刷に必要な空きメモリ容量］以上の値を割り当ててください。）ご使用の環境にもよりますが、より快適にご使用になれる場合があります。

チェック

セレクタ画面にプリンタドライバが表示されない

本製品に同梱のプリンタドライバは漢字 Talk7.5 以降に添付されている Quick Draw　GX には対応しておりませんので、Quick Draw GX がインストールされている Macintosh のセレクタ画面には、本製品のプリンタドライバは表示されません。この場合、Quick Draw GX を使用停止にしてから、セレクタ画面を開いてください。
以下の手順で Quick Draw GX を使用停止にしてください。

1. 「caps lock」キーを解除しておきます。
2. スペースバーを押したままにして Macintosh を起動します。（機能拡張マネージャが開きます。）
3. Quick Draw GX 拡張機能をクリックして［使用停止］にします。
（チェック印のない状態になります。）
4. 機能拡張マネージャを閉じます。

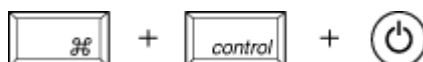
チェック

最新のプリンタドライバを入手したい

通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要な場合があります。
そのような場合は、以下のページを参照して、プリンタドライバを入手してください。
「最新プリンタドライバ類の入手方法」

チェック

コンピュータ、マウスがまったく動かなくなってしまったら？

以下の方法でコンピュータを再起動してください。ただし、保存していないデータは失われます。
通常、プリンタドライバが原因でコンピュータやマウスが動かなくなってしまうことはありません。このようなことが頻繁に起こる場合には、原因の 1 つとして、コンピュータのシステムや OS の環境によることが考えられます。OS やコンピュータにインストールされているユーティリティなどの取扱説明書を参照して確認を行ってください。
「Command」キー、「control」キー、「Power On」キーの 3 つのキーを同時に押してください。

※ USB 接続のキーボードを使用している Macintosh の場合、上記の方法でコンピュータを再起動することができない場合があります。
この場合、コンピュータのリセットボタンを押し、Macintosh を再起動してください。

チェック

漏洩電流について

本プリンタは、社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。
しかし、多数の周辺機器を接続している環境下では、本プリンタに触れた際に電気を感じることがあります。
このようなときには、本プリンタまたは本プリンタを接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めいたします。
本プリンタからアースを取る場合には、カラリオインフォメーションセンターまたはエプソンの修理窓口までお問い合わせください。

お問い合わせの多い Q&A

お問い合わせの多い項目をピックアップしました。

チェック

最新のドライバを入手するにはどうしたら良いですか？

機能改善のために、プリンタドライバがバージョンアップすることがあります。通常は、プリンタに同梱されているドライバで問題なくご使用いただけますが、より快適に印刷を行っていただくため、最新のプリンタドライバをご使用いただくことをお勧めします。

「最新プリンタドライバ類の入手方法」

チェック

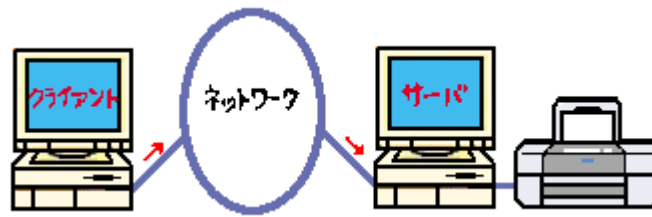
プリンタドライバの削除・再インストール方法

通常は、本書に記載されている削除方法に従って、プリンタドライバを削除してください。

「プリンタドライバの削除方法」

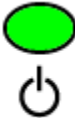
削除を実行したら、「スタートアップガイド」の手順に従ってプリンタドライバなどのインストールを実行してください。

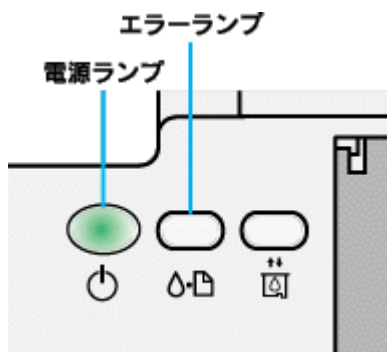
チェック

本プリンタをネットワーク上で使用するための方法

ネットワーク環境下において、本プリンタをネットワークプリンタ（共有プリンタ）としてお使いいただくことができます。イラストで示したように、インターフェイスカードやネットワークサーバを使用することなくプリンタをネットワーク上で共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。プリンタを直接接続し、ほかのユーザーに共有させるコンピュータをプリントサーバと呼び、そのプリンタを利用するユーザーをクライアントと呼びます。
詳しくは以下のページをご覧ください。
「ネットワークでプリンタを共有する方法」

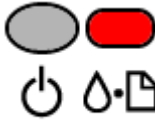
チェック

印刷時に複数の用紙やハガキが重なったまま給紙されてしまうのですが、どうすれば良いのでしょうか？
プリンタの給紙がうまくいかない場合の対処方法は？

用紙がうまく給紙できない場合には、用紙が正しくセットされているか、セットした用紙の枚数が多すぎないかなど、いくつかのチェック項目があります。以下のページを参照して、チェック項目をご確認ください。
「紙送りが正しくできない（定形紙・ハガキ・封筒）」

ランプのエラー表示一覧

プリンタにエラー（正常でない状態）が発生したときは、プリンタのランプが点滅／点灯してお知らせします。

電源ランプ

ランプの状態	点灯	点滅
内容	印刷データ待ちの状態です。	印刷中／インクカートリッジの交換中／インクの確認中のいずれかの状態です。
対処方法	正常な状態です。	正常な状態です。

エラーランプ

ランプの状態	点灯		
内容	以下の 3 つのエラー内容が考えられます。		
	内容 1 用紙がセットされていません。（印刷実行時のみのエラーです。）	**内容 2** 印刷中に紙詰まりが発生しました。	**内容 3** 黒、カラーどちらかのインクがなくなりました。※

<table>
<tr><td rowspan="5">対処方法</td><td>用紙をセットして、[メンテナンス] スイッチを押してください。</td><td>[メンテナンス] スイッチを押して詰まっている用紙を排紙してください。
排紙されずにプリンタ内部に残っている場合は、電源をオフにしてから用紙を取り除きます。</td><td rowspan="2">[インクカートリッジ交換] スイッチを押してください。
プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動して、エラーランプの状態が変わり、どちらのインクがなくなったかを知ることができます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">[メンテナンス] スイッチを押したときにプリントヘッドが移動した場合は、先にインクエラーを解決ください。</td></tr>
<tr><td>点滅1</td><td>点滅2</td><td>点灯</td></tr>
<tr><td>黒インクがなくなりました。</td><td>カラーインクがなくなりました。</td><td>両方のインクがなくなったか、またはインクカートリッジがセットされていません。</td></tr>
<tr><td colspan="3">新しいインクカートリッジをセットしてください。
「インクカートリッジの交換方法」</td></tr>
</table>

※ インクカートリッジを交換した後に点灯した場合は、正しくインクカートリッジが認識されていません。
もう一度インクカートリッジをセットし直してみてください。

<table>
<tr><td>ランプの状態</td><td colspan="3">点滅</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="3">黒、カラーどちらかのインクが残り少なくなりました。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">対処方法</td><td colspan="3">[インクカートリッジ交換] スイッチを押してください。
プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動して、エラーランプの状態が変わり、どちらのインクが残り少なくなったかを知ることができます。</td></tr>
<tr><td>点滅1</td><td>点滅2</td><td>点灯</td></tr>
<tr><td>黒インク</td><td>カラーインク</td><td>両方のインク</td></tr>
<tr><td colspan="3">新しいインクカートリッジを準備してください。</td></tr>
</table>

ランプの組み合わせによるエラー表示

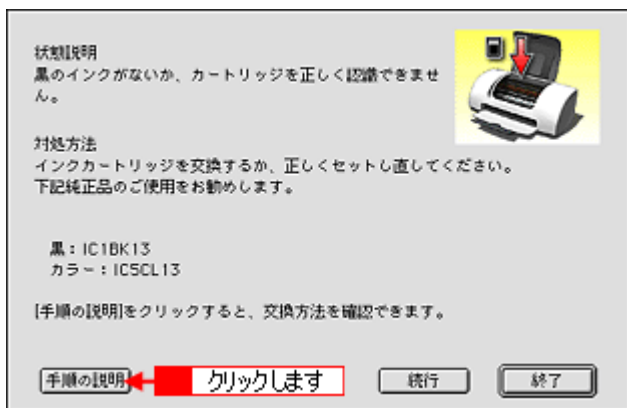
ランプの状態	同時点滅	交互点滅
内容	キャリッジ（インクカートリッジをセットしている部分）が正常に動作していない、またはその他のエラーが発生しました。	プリンタ内部の部品調整が必要です。
対処方法	一旦電源をオフにして、再度オンにしてください。それでもエラーが解除されない場合は、電源をオフにして、プリンタ内部に異物（輸送用の保護具、用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。	一旦電源をオフにして、再度電源をオンにしてください。それでもエラーが解除されない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプ ソンの修理相談窓口へご相談ください。

ポイント

処置した後もエラー表示が続く場合はお買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

インクカートリッジの交換方法

インクカートリッジの交換方法

黒 / カラーどちらか片方のインクがなくなると、エラーランプが点灯し、印刷ができなくなります。
黒 1 色のモノクロ印刷を行う場合でも、カラーインクがなくなっているとプリンタが動作しません。
通常は、コンピュータの画面上に「黒（またはカラー）インクがなくなりました。」というメッセージが表示されますので、［手順の説明］ボタンをクリックしてインクカートリッジを交換するか、下記の手順で交換してください。

注 意

インクカートリッジ取り扱い上の注意事項をご確認ください。
「インクカートリッジ交換時の注意事項」

ポイント

コンピュータの画面上にメッセージが表示されない場合
黒 / カラーどちらのインクがなくなっているかをランプで確認してから、下記の手順でインクカートリッジを交換してください。
「ランプのエラー表示一覧」

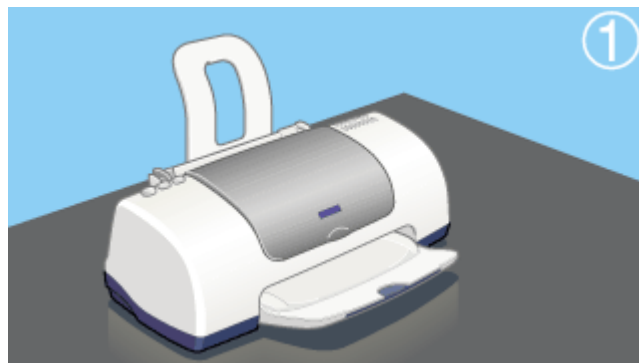
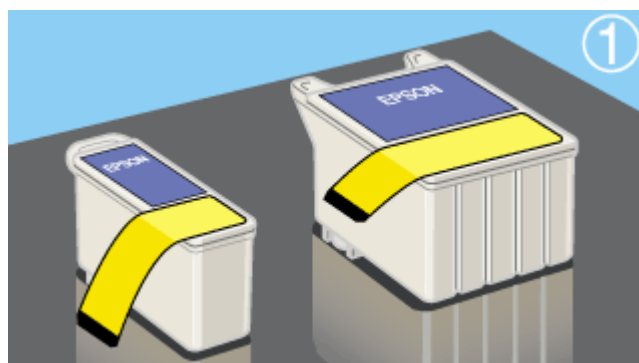
1. **新しいインクカートリッジを用意します。**

   インクカートリッジの当社純正品は、下記の通りです。

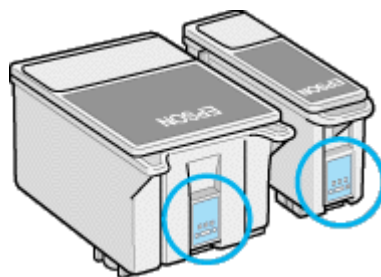
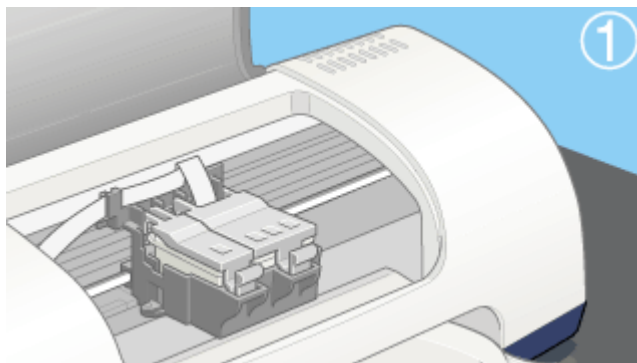
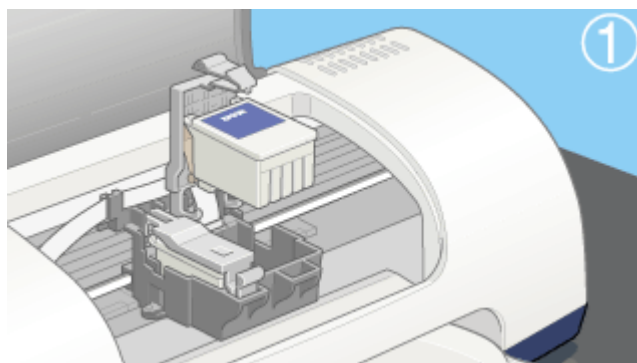
インクカートリッジの種類	型番
黒インクカートリッジ	IC1BK13
カラーインクカートリッジ	IC5CL13

2. **［インクカートリッジ変換］スイッチを押します。**

   プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置まで移動し、電源ランプが点滅します。

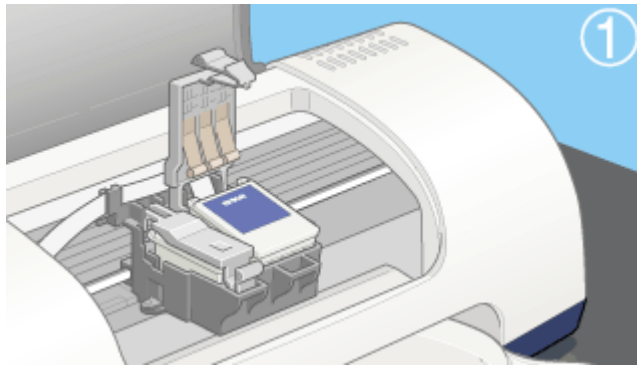
3. **プリンタカバーを開けます。**

4. **新しいインクカートリッジを袋から取り出し、EPSON マークの印刷されたラベルをはがさないようにして、黄色いテープのみをはがします。**

（以降、カラーインクカートリッジを交換する例です。黒インクカートリッジもほぼ同じ手順で交換できます。）

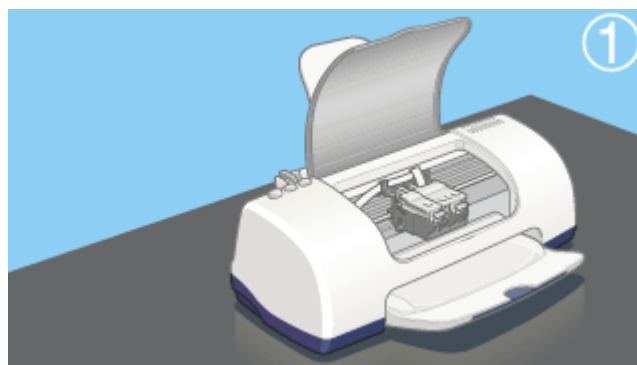
! 注 意

- 黄色いテープは必ずはがしてください。はがさないままセットすると印刷できません。また、そのインクカートリッジは使用できなくなります。
- EPSON マークの印刷されたラベルは、絶対にはがさないでください。EPSON マークの印刷されたラベルをはがしたインクカートリッジを使用すると、インクの粘度が増し、プリントヘッドのノズルが目詰まりして印刷できなくなる場合があります。
- インクカートリッジ底面の透明フィルムは、はがさないでください。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。

5. **固定カバーを引き上げ、古いインクカートリッジを取り出します。**

6. **インクカートリッジの EPSON マークを固定カバー側に向け、固定カバーのツメの上にインクカートリッジのツメを載せるようにして置きます。**

注 意

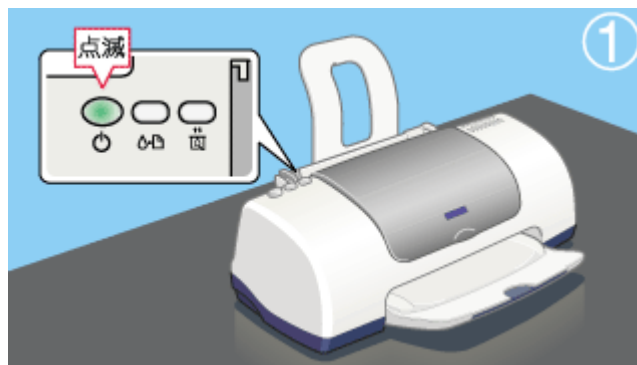
- インクカートリッジのツメを固定カバーの下にもぐらせないでください。固定カバーを破損するおそれがあります。
- インクカートリッジは、無理に押し込まないようにしてください。

7. **インクカートリッジが確実にセットされるように、固定カバーを手前に倒し、しっかりと固定します。**

   セットには多少力が必要です。固定カバーの上面をしっかり押し込んでください。

8.　プリンタカバーを閉じ、［インクカートリッジ交換］スイッチを押します。

プリントヘッドが右に移動し、インクの充てんが始まります。

9.　電源ランプの点滅が点灯に変わったら充てんは終了です。（インクの充てんには約 30 秒かかります。）

以上でインクカートリッジの交換は終了です。

注 意

- 充てん中（電源ランプの点滅中）は、電源をオフにしないでください。充てんが完全に行われず、印刷ができなくなるおそれがあります。
- 取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付着している場合がありますので、周囲を汚さないように注意してください。

ポイント

使用済みのインクカートリッジは、ポリ袋などに入れて、リサイクルに出すか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
また弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」を全国の一部パソコンショップに設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、ぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。

インクカートリッジ交換時の注意事項

インクカートリッジを交換する前に、以下の注意事項をお読みください。

インクカートリッジの種類

使用できるインクカートリッジの当社純正品は、下記の通りです。

インクカートリッジの種類	型番
黒インクカートリッジ	IC1BK13
カラーインクカートリッジ	IC5CL13

注意

- 本プリンタに添付の Windows/Macintosh 用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
- 純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。

インクカートリッジ取り扱い上の注意事項

インクカートリッジを交換する前に以下の注意事項をご確認ください。

使用上のご注意

- インクカートリッジは、取り付ける直前に開封してください。開封した状態で長時間放置すると、正常に印刷できなくなる場合があります。また、開封後は 6ヶ月以内に使い切ってください。古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります）。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは分解しないでください。
- 本プリンタで使用するインクカートリッジは IC チップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、途中で抜いても再使用が可能です。ただし、再装着の際にはプリンタの信頼性を確保するため、インクが消費されます。
- 使用途中で取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にほこりが付かないように注意して、プリンタと同じ環境下で保管してください。なお、インク供給孔内部には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部で周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジのインク供給孔部には触らないでください。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温で放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。期限を過ぎたものをご使用になると、印刷品質に影響を与える場合があります。
- インクカートリッジは強く振らないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。

- EPSON マークの印刷されたラベルは、絶対にはがさないでください。EPSON マークの印刷されたラベルをはがしたインクカートリッジを使用すると、インクの粘度が増し、プリントヘッドが目詰まりして印刷できなくなる場合があります。

注意

- インクカートリッジを取り扱うときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに石けんで洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一、異常がある場合は、すぐに医師にご相談ください。
- インクは飲まないでください。また、インクが手などに付いてしまった場合は、時間がたつと落ちにくくなるので、すぐに石けんや水で洗い流してください。インクが目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

保管上のご注意

- インクカートリッジは、冷暗所で保管してください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かない所に保管してください。また、インクは飲まないでください。

交換時のご注意

- インクカートリッジへのインクの補充はしないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれがあります。インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶しています。このため、インクを補充しても IC チップ内の残量値が書き換わることはなく、使用できるインク量は変わりません。
- プリンタの電源が入っていない状態で無理にインクカートリッジを交換しないでください。インク残量の検出が正しく行われず正常な印刷ができなくなります。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インクカートリッジを取り外したまま、プリンタを放置しないでください。プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなる場合があります。
- 交換作業中はプリンタの電源をオフにしたり、電源コードをコンセントから抜いたりしないでください。プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなる場合があります。
- インクカートリッジは、黒・カラー両方ともセットしてください。どちらか片方だけセットされた状態では、プリンタは動作しません。
- 充てん中（電源ランプが点滅中）は、電源をオフにしないでください。充てんが完全に行われずに、印刷ができなくなる場合があります。
- 使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付着している場合がありますので注意してください。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはポリ袋などに入れて、リサイクルに出すか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

インク消費について

各インクカートリッジは、印刷時以外にも次の場合に消費されます。

- 印刷を開始するときなどに定期的に実施されるセルフクリーニング時
- プリントヘッドのクリーニング時
- インクカートリッジ装着時

インクカートリッジのリサイクルについて

弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」を全国の一部パソコンショップに設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、ぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。

EPSON

お勧めの機能

フチなし全面印刷（定形紙）

通常の印刷では、プリンタの構造上どうしても上下左右に余白ができてしまい、用紙いっぱいに印刷することができませんが、フチなし全面印刷機能を使用すると、フチ（余白）のない印刷が可能になります。

ポイント

- 用紙の上下端では、印刷品質を保持するために、印刷速度が極端に遅くなります。
- 四辺フチなし印刷を行う場合、プリンタドライバの［レイアウト］画面の機能は使用できません。

フチなし全面印刷の推奨用紙

フチなし全面印刷を行う場合は、以下の用紙をお使いになることをお勧めします。

- フォト・プリント紙２ /PM マット紙
- L 判 /2L 判の PM 写真用紙
- ハガキサイズの専用紙 / 官製ハガキ

注 意

- 上記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。
- スーパーファイン専用光沢フィルム・専用 OHP シート・アイロンプリントペーパーには、フチなし全面印刷はできません。

EPSON PhotoQuicker を使ってフチなし全面印刷

フチなし全面印刷をする場合は、本プリンタに添付のアプリケーションソフト EPSON PhotoQuicker を使用することをお勧めします。
EPSON PhotoQuicker を使用すれば、フチなし全面印刷が簡単にできます。
EPSON PhotoQuicker を使っての印刷方法は、以下の取扱説明書をご覧ください。
別冊「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」

EPSON PhotoQuicker 以外のアプリケーションソフトを使ってフチなし全面印刷

印刷データの作成

フチなし全面印刷をするデータは、用紙いっぱいに作成してください。余白設定のできるアプリケーションソフトをご使用の場合は、余白を「0mm」にしてください。
データサイズの変更については、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

用紙サイズ	印刷データのサイズ
A4（210 × 297mm）	210 × 297mm
ハガキ（100 × 148mm）	100 × 148mm
L 判（89 × 127mm）	89 × 127mm
2L 判（127 × 178mm）	127 × 178mm

フチなし全面印刷は、印刷データを用紙サイズよりわずかに拡大して印刷します。そのため、用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。本番の印刷前に、試し印刷することをお勧めします。

印刷時の設定

1. プリンタドライバの［用紙設定］画面を開きます。

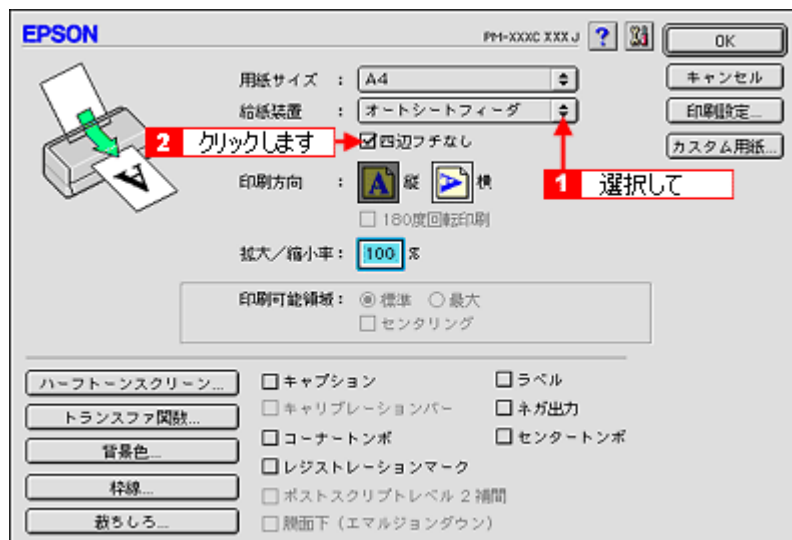
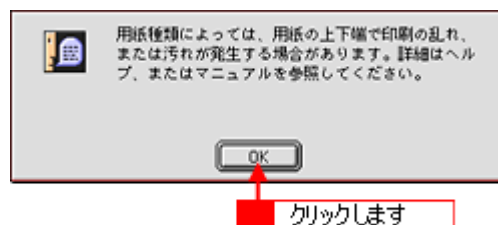
   多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［プリンタの設定］などの項目をクリックします。

画面はAdobe Photoshopの場合です。

ポイント

本プリンタのプリンタドライバが表示されない場合は、セレクタで本プリンタのプリンタドライバが選択されていません。［アップル］メニューから［セレクタ］を開いて、本プリンタのプリンタドライバを選択してください。

2. ［用紙サイズ］のポップアップメニューから、「A4」/「ハガキ」/「L 判」/「2L 判」のいずれかを選択します。

3. ［給紙装置］のポップアップメニューから［オートシートフィーダ］を選択して、［四辺フチなし］をチェックします。

4. 画面の内容を確認して、［OK］ボタンをクリックします。

5. ［印刷］画面を開き、各項目を設定して印刷を実行します。

PRINT Image Matching 機能

PRINT Image Matching とは？

PRINT Image Matching とは、この機能を搭載したデジタルカメラと対応プリンタを組み合わせて使用することで、きれいな印刷を簡単に実現することのできるシステムです。
PRINT Image Matching 機能対応のデジタルカメラで撮影すると、プリンタはこのコマンドに従って印刷します。これにより、撮影時にデジタルカメラが意図した通りの最適な色合いで印刷できます。

どんな効果があるの？

「デジタルカメラの画像を印刷してみたら、思っていたイメージとちょっと違う」というケースがありませんか？それはデジタルカメラとプリンタのマッチングがうまく取れていないからです。そこで効果を発揮するのが PRINT Image Matching です。

効果 1

「色」や「明るさ」の情報をプリントコマンドにしてプリンタに伝えることにより、印刷時の「色」や「明るさ」が最適になります。
色の表現力の豊かさを決める「色空間」、色の明るさを決める「プリントガンマ」という画像の品質を決める項目をプリントコマンドで伝達して印刷します。

ガンマ値の違いによる明るさの比較

γ=1.4

γ=1.8

γ=2.2

効果 2

撮影時の意図が印刷結果に反映されます。
例えば、マクロ写真なら「狙った通りの色鮮やかでくっきりとした画質」で印刷、ポートレート写真なら「やわらかなトーンで美しい肌色」で印刷など、撮影時にデジタルカメラでプリントコマンドが設定されていれば、デジタルカメラの意図したイメージそのままに印刷できます。

シャープでコントラストの高いプリント

軟調で肌色部分を記憶色に補正したプリント

効果 3

デジタルカメラの個性をプリンタで表現できます。
PRINT Image Matching 機能搭載デジタルカメラと PRINT Image Matching 対応プリンタを組み合わせれば、デジタルカメラが持っている個性を印刷画像に反映できます。これにより、PRINT Image Matching 機能搭載のデジタルカメラの機種によって、あるいはそのカメラの設定によって、プリント画像の色合いに違いが現れます。

ポイント

デジタルカメラ以外には利用できないの？
PRINT Image Matching は、デジタルカメラ画像だけでの利用に限りません。画像を取り扱う入力機器やアプリケーションソフトなどへの対応が計画されていますので、今後多くの PRINT Image Matching 対応製品から、より効果的な印刷ができるようになります。

どうやって使うの？

PRINT Image Matching 機能搭載のデジタルカメラで撮影し、本プリンタで EPSON PhotoQuicker を使って印刷してください。

ポイント

- ご利用のデジタルカメラに PRINT Image Matching 機能が搭載されているかどうか、またデジタルカメラの使用方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- PRINT Image Matching 機能を使って印刷するには、PRINT Image Matching に対応したプリンタドライバと EPSON PhotoQuicker3.0 以降を組み合わせて印刷する必要があります。（本製品に添付のプリンタドライバは、PRINT Image Matching に対応しています。）

PRINT Image Matching 機能が有効になる用紙について

以下の用紙において、PRINT Image Matching 機能が有効になります。

- PM 写真用紙
- MC 写真用紙
- PM マット紙
- フォト・プリント紙 2
- スーパーファイン専用光沢フィルム
- フォト・クォリティ・カード 2
- PM マットハガキ

ポイント

- 上記以外の用紙では、PRINT Image Matching 機能は無効になります。
- 印刷時、上記の用紙に対応した［用紙種類］を選択してください。

印刷手順

EPSON PhotoQuicker で写真データ（プリントコマンドが付加された画像ファイル）を読み込みます。後は、印刷したい画像を指定するだけで簡単に印刷できます。

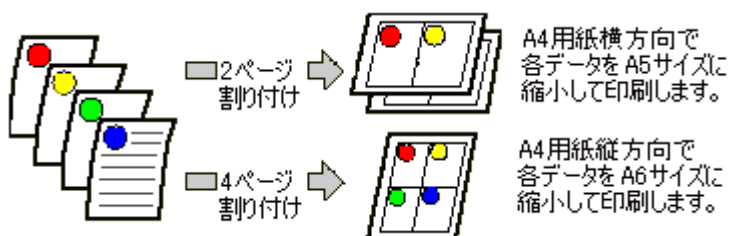
ポイント

- 「写真編集」画面で PRINT Image Matching 機能の有効／無効を選択できます。
- EPSON PhotoQuicker を使用せず、PRINT Image Matching 未対応の一般のレタッチソフトから印刷する場合には、PRINT Image Matching 機能はご利用になれません。
  また、PRINT Image Matching 未対応の一般のレタッチソフトで保存したものを EPSON PhotoQuicker で読み込んで印刷する場合も、PRINT Image Matching 機能はご利用になれません。
- EPSON PhotoQuicker の使用方法については、「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」をご参照ください。

複数ページを 1 枚に割付印刷

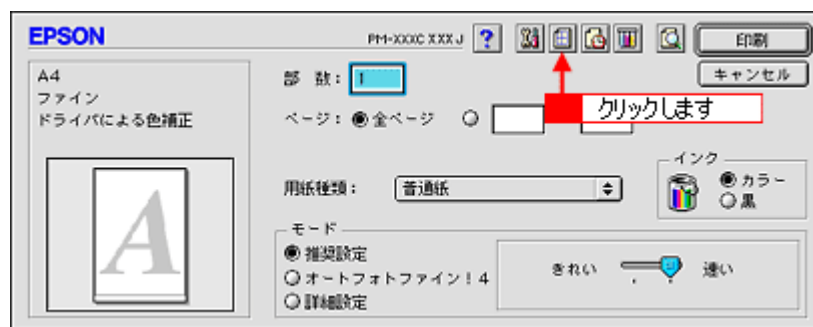
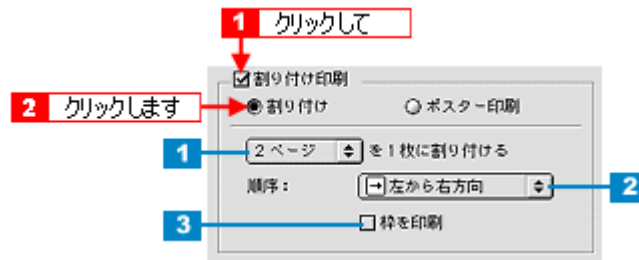
1 枚の用紙に 2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを割り付けて印刷することができます。

ポイント

- A4 サイズで作成した連続データを割り付け印刷すると以下のように印刷されます。

- 拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用することで、印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。

- この機能は、［用紙設定］画面の［給紙装置］で、［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」）］を選択した場合のみに有効です。

1. 印刷の実行前に［印刷］画面の ボタンをクリックします。

   ［レイアウト］画面が表示されます。

2. ［割り付け印刷］をチェックし、割り付けのラジオボタンをクリックします。その後、各項目を設定します。

1	ページ数	1 枚に割り付けるページを選択します。
2	順序	割り付ける順番を選択します。
3	枠を印刷	割り付けたページに枠線を印刷する場合に選択します。

3. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

ポイント

印刷可能領域いっぱいに印刷データを作成すると、レイアウトが変わる場合があります。

セットした用紙サイズに拡大 / 縮小印刷

「A4 サイズで作った印刷データを、別のサイズの用紙に印刷したい」、そんなときはフィットページ機能を使用して印刷してください。拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷することができます。

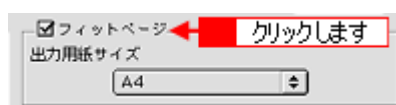
ポイント

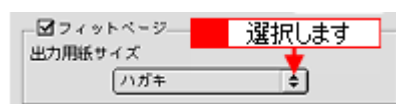
この機能は、[用紙設定] 画面の [給紙装置] で、[オートシートフィーダー（四辺フチなし「チェック無」)] を選択した場合のみ有効です。

1. **印刷の実行前に [印刷] 画面の ボタンをクリックします。**

[レイアウト] 画面が表示されます。

2. **[フィットページ] をチェックします。**

[出力用紙サイズ] のポップアップメニューが有効になります。

3. **[出力用紙サイズ] のポップアップメニューから、プリンタにセットした用紙のサイズを選択します。**

[用紙設定] 画面で設定してある用紙サイズ（＝印刷データのサイズ）に対して、拡大 / 縮小率が自動的に設定されます。

ポイント

[用紙設定] 画面では、拡大 / 縮小率を自分で設定できます。

4. ［OK］ボタンをクリックして［印刷］画面に戻り、印刷を実行します。

プリンタの状態を画面で確認

プリンタが印刷できる状態か、インク残量はどのくらいか、プリンタがエラー状態になっていないかなどを、コンピュータの画面で確認することができます。
以下の手順で、確認画面を表示させてください。

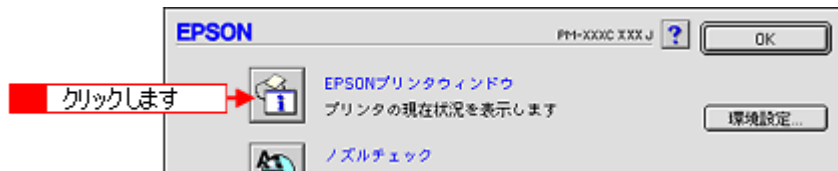
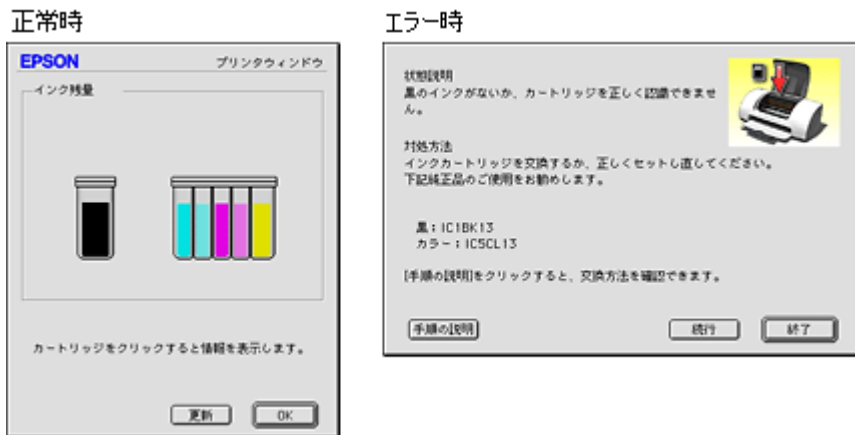
1. ［ファイル］メニューの［印刷］または［プリント］をクリックします。

［印刷］画面が表示されます。

2. ボタンをクリックします。

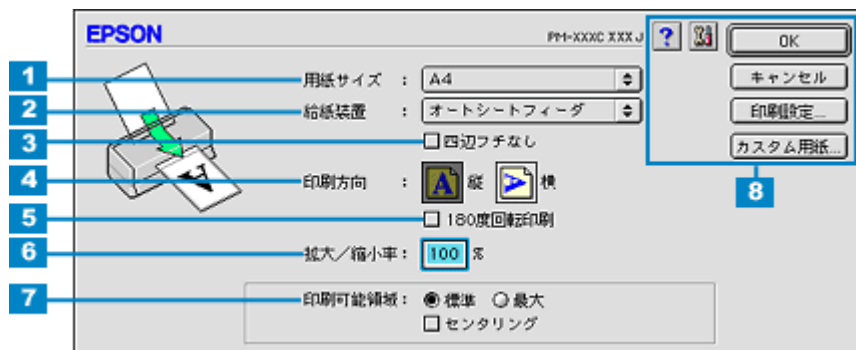
［ユーティリティ］画面が表示されます。

3. ［EPSON プリンタウィンドウ］をクリックします。

EPSON プリンタウィンドウが表示されます。

4.　プリンタの状態を確認します。

ポイント

エラー状態になっている場合は、表示されているメッセージに従ってエラーを解除してください。

用紙設定画面

［用紙設定］画面では、印刷する用紙のサイズを設定します。また、印刷の方向や印刷の部数などを設定することもできます。

1	用紙サイズ	印刷データの用紙サイズをポップアップメニューの中から選択します。

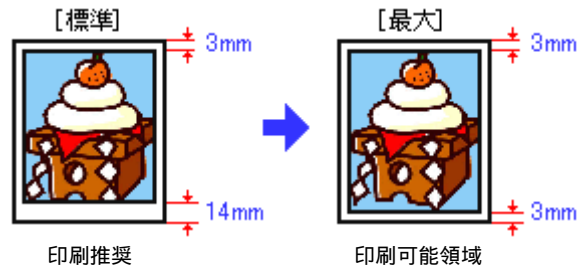
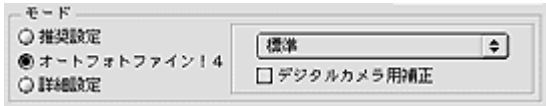
ポイント

印刷データの用紙サイズが、プリンタにセットした用紙サイズよりも大きい場合は、必ずプリンタにセットした用紙に合うように縮小して印刷してください。縮小せずに印刷するとプリンタの内部がインクで汚れるおそれがあります。

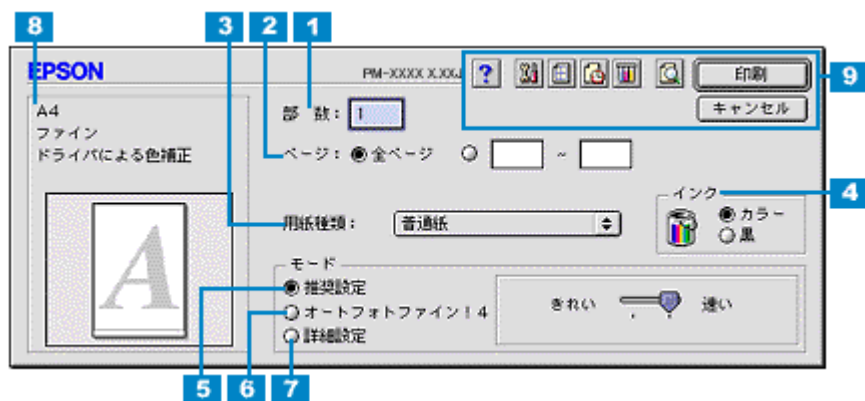
「セットした用紙サイズに拡大 / 縮小印刷」

2	給紙装置	給紙装置を選択します。（本プリンタの選択肢は、［オートシートフィーダ］のみですので、選択する必要はありません。）	
3	四辺フチなし	フチなし全面印刷をする場合に選択します。 用紙の種類やサイズによっては、フチなし全面印刷ができません。詳細は以下のページでご確認ください。 「フチなし全面印刷（定形紙）」	
4	印刷方向	印刷方向を選択します。［横］ボタンをクリックすると印刷データが 90 度回転されます。	
5	180 度回転印刷	印刷イメージを 180 度回転させて印刷する場合に選択します。［給紙装置］で［四辺フチなし］を選択した場合は設定できません。	
6	拡大 / 縮小率	任意の倍率を指定して印刷する場合に選択します。25% ～ 400% の間で倍率を指定できます。チェックを付けてから、任意の倍率を指定してください。 特定のアプリケーションソフトと用紙サイズの組み合わせによっては、拡大 / 縮小の設定範囲が変わることがあります。	
7	印刷可能領域	印刷する領域（位置）を選択します。	
		標準	印刷推奨領域に印刷する場合に選択します。
		最大	印刷可能領域に印刷する場合に選択します。
		センタリング	用紙上下の余白が均等になるように印刷する場合に選択します。

ポイント

本プリンタの印刷推奨領域は、用紙の上左右 3mm、下 14mm を除いた部分です。しかし、［最大］を選択することで 14mm の余白を 3mm にして印刷することができます。ただし、広がった印刷領域（用紙下端 3 ～ 14mm）では、印刷品質が低下する場合があります。また PM 写真用紙（A4）・MC 写真用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。

8	各種ボタン	[OK]	変更した設定を有効にして設定を終了するボタンです。
		[キャンセル]	変更した設定を無効にして設定を終了するボタンです。
		[印刷設定]	[印刷] 画面と同様の画面を開くボタンです。印刷実行時にも設定できますので、ここで設定する必要はありません。
		[カスタム用紙]	このボタンをクリックすると、[用紙サイズ登録] 画面が表示され、用紙サイズを登録できます。 「定形外の用紙サイズに印刷」
			ヘルプ情報を表示するボタンです。
			[ユーティリティ] 画面を表示するボタンです。

各画面と項目の説明

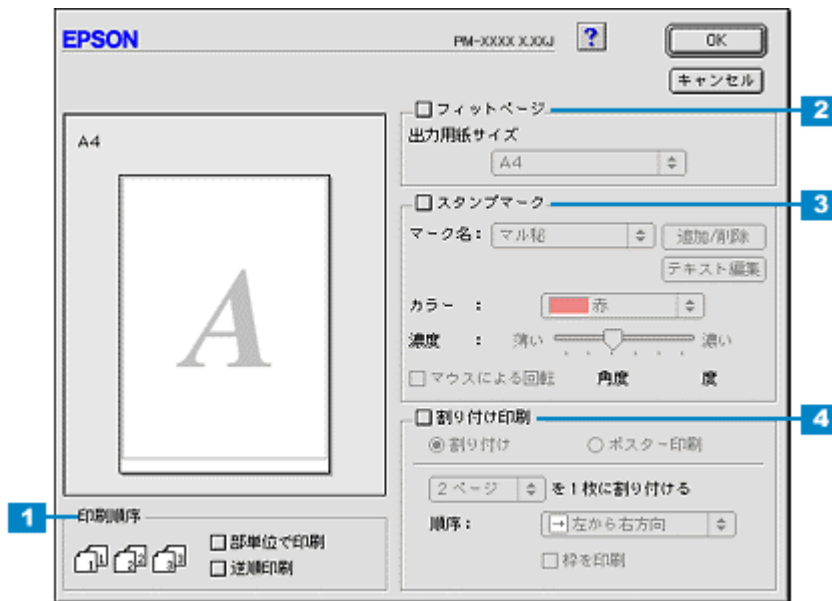
印刷画面

［印刷］画面では、印刷の品質にかかわる設定をします。また、レイアウトやユーティリティ、バックグラウンドプリントに関する設定画面を開くこともできます。

<table>
<tr><td>1</td><td>部数</td><td colspan="2">複数部印刷する場合に、印刷の部数（コピー数）を入力します。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>ページ</td><td colspan="2">印刷ページを指定します。［全ページ］を選択すると、文書の全ページが印刷されます。印刷するページを指定するときは、右側のラジオボタンをクリックしてページ指定ボックスに指定ページを入力します。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>用紙種類</td><td colspan="2">印刷する用紙の種類をポップアップメニューから選択します。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>インク</td><td colspan="2">インクの種類を［カラー］と［黒］から選択します。［黒］を選択するとモノクロ印刷になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">5</td><td rowspan="5">推奨設定</td><td colspan="2">モード
推奨設定
オートフォトファイン！4
詳細設定
きれい　速い</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動的に最適な設定で印刷したい場合に選択します。用紙種類によっては［きれい / 速い］、または［高精細 / きれい］を選択できます。</td></tr>
<tr><td>高精細</td><td>［きれい］より印刷品質を重視して印刷する場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>きれい</td><td>印刷品質を重視して印刷する場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>速い</td><td>印刷速度を重視して印刷する場合に選択します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="9">6</td><td rowspan="9">オートフォトファイン !4</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3">ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や PhotoCD データなどを、自動的に補正して印刷する場合に選択します。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータにも最適な補正を加え、高画質化して印刷することができます。また、［詳細設定］画面ではさらに詳細な設定をすることができます。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ポップアップメニュー</td><td colspan="2">印刷する際の画像の色調を［標準］［人物］［風景］［ソフトフォーカス］［セピア］の中から選択することができます。</td></tr>
<tr><td>標準</td><td>EPSON 標準の色調で印刷するモードです。</td></tr>
<tr><td>人物</td><td>人物が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。</td></tr>
<tr><td>風景</td><td>風景が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。</td></tr>
<tr><td>ソフトフォーカス</td><td>画像が柔らかいタッチになるように補正を加えて印刷するモードです。</td></tr>
<tr><td>セピア</td><td>セピア調で印刷するモードです。</td></tr>
<tr><td>デジタルカメラ用補正</td><td colspan="2">デジタルカメラで撮影した画像を印刷する場合に選択します。デジタルカメラのデータに対して最適な補正を加えて印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">7</td><td rowspan="7">詳細設定</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3">［詳細設定］を選択すると［設定変更］ボタンとポップアップメニューが有効になります。ポップアップメニューからは用途に合わせたプリセットメニューを選択することができます。［設定変更］ボタンをクリックすると［詳細設定］画面が表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">プリセットメニュー</td><td colspan="2">次のリストの中から、用途に合わせたプリセットメニューを選択することができます。
［用紙種類］により、選択できるメニューが異なります。</td></tr>
<tr><td>高精細</td><td>最高の印刷品質が得られる設定で印刷するモードです。</td></tr>
<tr><td>エコノミー</td><td>試し印刷に向いた印刷モードです。印刷速度が速くなります。</td></tr>
<tr><td>ColorSync</td><td>ColorSync を使用して画面上の表示にもっとも近い色で印刷するモードです。</td></tr>
<tr><td>［設定変更］ボタン</td><td colspan="2">クリックすると、［詳細設定］が表示されます。
「詳細設定画面」</td></tr>
<tr><td>8</td><td>現在の設定値</td><td colspan="3">プリンタドライバで現在設定されている値や効果が表示されます。</td></tr>
</table>

9	各種ボタン	[印刷]	設定した内容で印刷を開始するボタンです。
		[キャンセル]	設定した内容を無効にして、印刷を中止するボタンです。
			[印刷] ボタンの表示を [プレビュー] ボタンに切り替えます。[プレビュー] ボタンをクリックすると印刷イメージを表示するプレビュー画面を開きます。 「プレビュー画面」
			クリックすると、[プレビュー] ボタンが [ファイル保存] ボタンに切り替わります。[ファイル保存] ボタンをクリックすると印刷データをファイルとして保存することができます。保存したファイルは、ダブルクリックするだけでアプリケーションソフトを起動することなく印刷することができます。
			クリックすると、[印刷] ボタンに戻ります。
			クリックすると、EPSON プリンタウィンドウが表示されます。インクの残量を確認することができます。 「インク残量モニタ画面」
			クリックすると、バックグラウンドプリントなどを設定する画面が表示されます。 「印刷中に別の作業をする方法（バックグラウンドプリント）」
			スタンプマーク印刷や割り付け印刷を設定するための [レイアウト] 画面を開くボタンです。 「レイアウト画面」
			「EPSON プリンタウィンドウ」や「ヘッドクリーニング」などの各種ユーティリティを実行するための画面を表示するボタンです。 「ユーティリティ画面」
			ヘルプ情報を表示するボタンです。

レイアウト画面

［レイアウト］画面では、印刷データを拡大 / 縮小したり、スタンプマークを印刷したりすることができます。

ポイント

［レイアウト］画面での設定は、［用紙設定］画面の［給紙装置］で、［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」）］を選択した場合のみ有効です。

1	印刷順序	同じ印刷データを複数枚印刷する際の印刷順序を設定します。	
		部単位で印刷	1 部ずつ印刷する場合に選択します。
		逆順印刷	最終ページから印刷する場合に選択します。
2	フィットページ	プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷する場合に選択します。チェックを付けてから、出力用紙のポップアップメニューでプリンタにセットした用紙サイズを選択してください。	

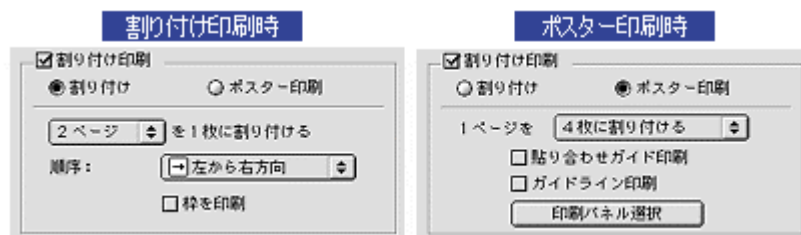
ポイント

- 印刷倍率を手動で設定するときは、［用紙設定］画面で設定してください。
- 印刷データの印刷領域がプリンタの印刷可能領域を超える、または同等の場合、レイアウトが変わることがあります。

3	スタンプマーク	チェックすると、印刷データに「 重要 」などのイメージを重ね合せて印刷することができます。	
		マーク名	印刷したいマークをポップアップメニューから選択します。
		カラー	選択したマークの印刷色をポップアップメニューから選択します。ただし、新規に登録したマークの色は設定できません。
		濃度	印刷する際の、マークの濃さを調整できます。
		マウスによる回転	[追加 / 削除] ボタンをクリックして任意の単語（[テキスト]）を登録した後、マーク名に登録した文章を選択すると有効になります。入力欄に数値を入力するとマークの角度を調整することができます。また、[マウスによる回転] にチェックを付けると、プレビュー部のスタンプマークをドラックすることで回転させることができます。
		[追加 / 削除]	クリックすると、新規に画像や任意の単語をスタンプマークとして登録することができます。 「オリジナルスタンプマークを重ねて印刷」
		[テキスト編集]	[追加 / 削除] ボタンをクリックして任意の単語を登録した後、マーク名に登録した単語を選択すると有効になります。クリックすると、登録した単語の編集ができます。

ポイント

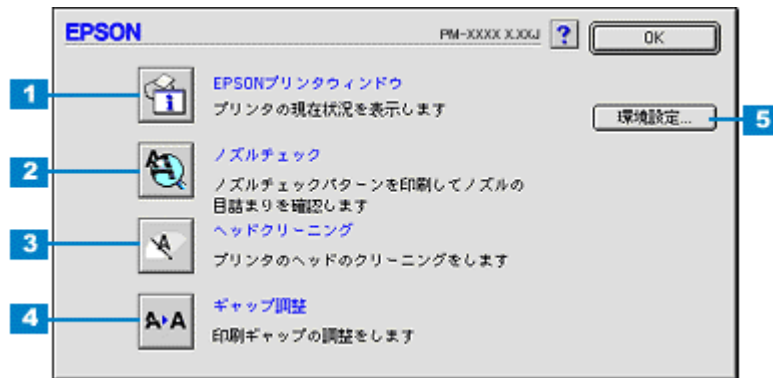
画面上に表示されているスタンプマークにカーソルを移動し、カーソルが マークに変わる所でドラッグするとスタンプマークの移動と拡大 / 縮小ができます。

- ：スタンプマークを移動できます。
- ：スタンプマークを拡大 / 縮小できます。

4	割り付け	チェックすると、2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを縮小して、1 枚にまとめて印刷できます。	
		ページ数	1 枚に割り付けるページ数を選択します。
		順序	割り付ける順序を設定します。
		枠を印刷	割り付けたページに枠線を印刷する場合に選択します。
	ポスター印刷	チェックすると、大きなポスターを作ることができます。1 ページ分のデータが分割されて自動的に拡大印刷されます。4 分割したデータを A4 用紙 4 枚に印刷してつなぎ合わせると、およそ A2 サイズの印刷結果を作ることができます。	
		ページ数	1 ページのデータを何枚の用紙に分割するか設定します。
		貼り合わせガイド印刷	チェックすると、印刷結果をつなげやすくするために部分的に重複して印刷されます。また貼り合わせる際に便利なガイド線も印刷されます。
		ガイドライン印刷	つなぎ合わせるためには、印刷結果の余白部分は不要です。チェックすると不要な余白部分を切り取るための線が印刷されます。
		印刷パネル選択	分割したページの内の一部分だけを印刷したい場合に印刷する個所を選択することができます。

ポイント

- フィットページ機能と同時に使用することで印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。
- 印刷可能領域いっぱいに印刷データを作成すると、レイアウトが変わる場合があります。

ユーティリティ画面

［ユーティリティ］画面では、プリンタをメンテナンスするための各種機能を実行することができます。各機能を使用する前にプリンタの電源をオンにしてください。

1	EPSON プリンタウィンドウ	インク残量などをモニタする「EPSON プリンタウィンドウ」が起動する場合にクリックします。 「インク残量モニタ画面」
2	ノズルチェック	プリントヘッドのノズルの目詰まりを確認する場合にクリックします。 「ノズルチェック」
3	ヘッドクリーニング	プリントヘッドのノズルをクリーニングする場合にクリックします。 「ヘッドクリーニング」
4	ギャップ調整	双方向印刷時に縦の罫線がずれたり、ピントがぼけたような印刷結果になる場合にクリックします。 「ギャップ調整」
5	環境設定	エラー表示などに関する設定を行う場合や、印刷データを一時的に保存しておくフォルダを選択する場合にクリックします。 「環境設定画面」

詳細設定画面

［詳細設定］画面では、印刷の品質にかかわる詳細な設定をすることができます。

ポイント

「用紙種類」「印刷品質」などの設定の組み合わせで、選択できる項目が変わります。

1	用紙種類	印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。	
2	インク	インクの種類を［カラー］と［黒］から選択します。［黒］を選択するとモノクロ印刷になります。	
3	印刷品質	印刷の品質を、ポップアップメニューの中から選択します。	
		ドラフト	試し印刷に向いているモードです。インク消費量をセーブしながら高速に印刷します。
		ファイン	日常使用に最適なモードです。
		スーパーファイン	高品質な印刷結果が得られるモードです。印刷時間は多少かかります。
		フォト	スーパーファインより美しい写真品質が得られるモードです。ただし、印刷時間が多少かかります。
4	マイクロウィーブ	チェックすると、行ごとのムラを少なくして印刷することができます。	
		スーパー	チェックすると、行ごとのムラを少なくして印刷することができます。ただし、印刷時間が長くなります。 ［印刷品質］で［フォト］を選択した場合のみ設定できます。
5	双方向印刷	チェックすると、プリントヘッドが左から右に戻るときにも印刷します。 印刷速度を重視したい場合はチェックしてください。 印刷品質を重視したい場合はチェックしないでください。	
6	左右反転	チェックすると、左右を反転させて印刷することができます。 アイロンプリントペーパーに印刷する場合は、チェックしてください。	
7	スムージング（文字 / 輪郭）	チェックすると、テキストや線画の輪郭を、滑らかにして印刷することができます。ただし印刷時間は多少長くなります。	
8	Web スムージング	チェックすると、Web 上の低解像度のロゴ、イラスト、画像の輪郭を、滑らかにして印刷することができます。	

9	ドライバによる色補正		
	色補正方法	次の「色補正方法」の設定に従い、印刷するデータの色バランスを整えることができます。	
		自動	文書内のオブジェクトに対して最適な色処理をして印刷するモードです。通常はこの設定でご使用ください。
		自然な色あい	より自然な発色状態になるように色処理して印刷するモードです。
		あざやかな色あい	彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くして印刷するモードです。
	各スライドバーについて	明度	画像全体の明るさをバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で、マイナス（－）方向には暗くプラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。
		コントラスト	画像の明暗比をバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整できます。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。
		彩度	画像の彩度（色のあざやかさ）をバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整できます。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。「インク」で［黒］を選択した場合は調整できません。
		シアン / マゼンタ / イエロー	それぞれの強さだけをバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整できます。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。
10	ガンマ	ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。	
		1.5	ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像が印刷されます。
		1.8	ガンマ値 1.5 に比べ立体感がありメリハリのある画像が印刷されます。通常はこの設定で印刷してください。
		2.2	sRGB 対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。

	＜－＞	0	＜＋＞
シアン	赤みを強くします		青紫（シアン）を強くします
マゼンタ	緑色を強くします		赤紫（マゼンタ）を強くします
イエロー	青色を強くします		黄色（イエロー）を強くします

11	オートフォトファイン !4（カラー印刷の場合のみ）		
		ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や PhotoCD のデータなどを印刷する場合に選択すると、自動的に補正されて印刷されます。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータにも最適な補正が加えられ、高画質で印刷されます。	
		色調	印刷する際の色調の補正方法を［標準］［硬調］［鮮やか］［セピア］［モノクロ］の項目から選択することができます。チェックを付けるとポップアップメニューが有効になります。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
		効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えます。チェックを付けるとポップアップメニューが有効になり、［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］の中から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。スライドバーでは、加える効果の強弱を調整することができます。
		デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像を印刷する場合に選択すると、最適な補正が加えられて印刷されます。

ポイント

- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !4 は 1677 万色（32bit）の色情報を持った画像データに対して、もっとも有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには、有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてください。
- エプソン製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

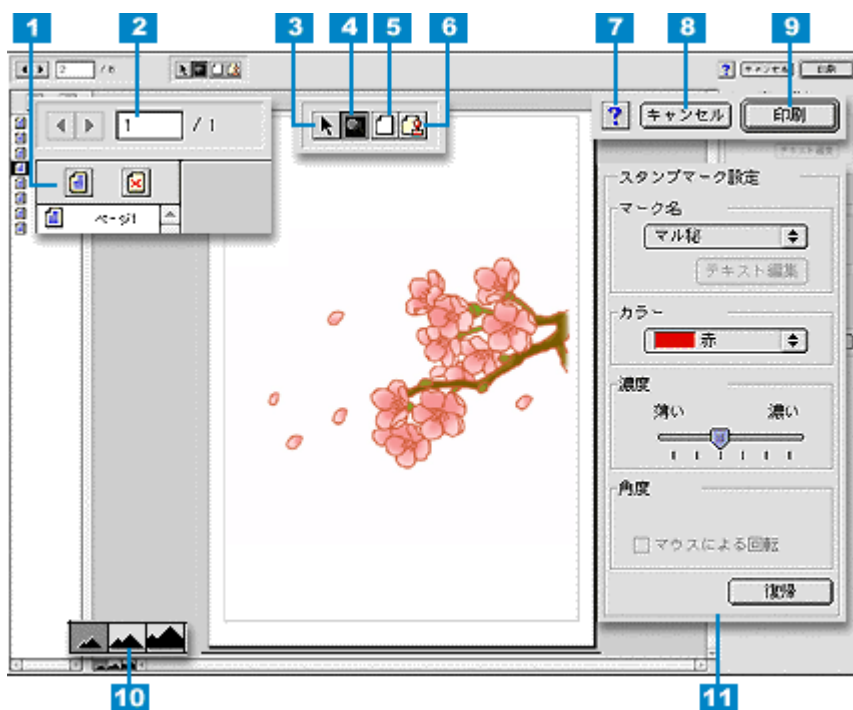
12	ColorSync		
		プロファイル： EPSON 標準 マッチング方法： 自然な色あい	
		ColorSync によるカラーマッチングを行う場合に選択します。 「画面表示と色合いを合わせて印刷」 ［プロファイル］のポップアップメニューからは、次の項目が選択できます。通常は、［EPSON 標準］を選択してください。	
		EPSON 標準	本プリンタからの印刷用に最適化されたプロファイルです。
		その他	通常は選択することができません。アプリケーションソフトなどによってはプロファイルが添付されているものがあり、それらをインストールした場合にのみ、選択可能となります。
		［マッチング方法］のポップアップメニューからは、次の項目が選択できます。	
		自然な色あい	より自然な発色状態になるように処理をして印刷します。写真などの印刷に適しています。
		あざやかな色あい	画面の彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理をして印刷します。グラフや図表などの印刷に適しています。
		特定色マッチ	特定色（例えばコーポレートカラーなど）を印刷する際に選択します。それぞれの特定色が、正しく印刷されるような色処理を行います。

13	色補正なし	ドライバでは色補正を行いません。Color Sync 用のプロファイルを作成する際の基準色を印刷する場合や、アプリケーションソフト上で色合わせの設定をして印刷する場合に選択します。通常は選択しないでください。	
14	各種ボタン	［ヘルプ］ボタン	クリックすると、［詳細設定］画面の項目を説明したファイルが表示されます。
		［保存 / 削除］ボタン	クリックすると、［詳細設定］画面で設定した値を保存しておくことができます。保存した設定値は［印刷］画面のポップアップメニューから呼び出すことができます。 最大 10 件登録できます。
		［OK］ボタン	クリックすると、変更した値を有効にして［印刷］画面に戻ります。
		［キャンセル］ボタン	クリックすると、変更した値を無効にして［印刷］画面に戻ります。

ポイント

［ColorSync］の設定は、カラー印刷の場合のみ選択できます。

プレビュー画面

印刷の実行前に印刷イメージを確認することができます。［印刷］画面の をクリックしてから［プレビュー］ボタンをクリックしてください。

1		印刷するページ、しないページを切り替えるボタンです。対象のページをクリックして選択してから　ボタンをクリックして印刷する・しないを設定します。
2		表示するページを切り替えるボタンです。三角のボタンをクリックするか、入力欄に直接入力します。
3		スタンプマークを移動したり回転したりするボタンです。
4		表示している画像を拡大 / 縮小するボタンです。 拡大する場合は、ボタンをクリックしてから拡大したいところへカーソルを移動させマウスをクリックします。縮小したい場合は、［option］キーを押しながらクリックします。
5		印刷データの余白境界線をグレーのラインで示すようにするボタンです。実際の印刷結果には印刷されません。クリックすると表示は消えます。
6		スタンプマークを印刷データに印刷するためのメニューを開くボタンです。
7		ヘルプ情報を表示するボタンです。
8	［キャンセル］	印刷を中止して、［プレビュー］画面と［印刷］画面を閉じるボタンです。
9	［印刷］	印刷を実行するボタンです。

<table>
<tr><td rowspan="4">10</td><td rowspan="4"></td><td colspan="2">表示サイズを切り替えるボタンです。</td></tr>
<tr><td></td><td>クリックすると、印刷データ 1 ページ単位の全体が表示されます。</td></tr>
<tr><td></td><td>クリックすると、印刷結果と同等のサイズが表示されます。</td></tr>
<tr><td></td><td>クリックすると、印刷データが拡大されて表示されます。</td></tr>
<tr><td>11</td><td>スタンプマーク印刷メニュー</td><td colspan="2">スタンプマークを印刷するためのメニューです。各設定項目については、以下のページを参照してください。［復帰］ボタンをクリックするとスタンプマークの設定が解除されます。
「レイアウト画面」</td></tr>
</table>

印刷状況確認画面（EPSON Monitor3）

EPSON Monitor3 は、バックグラウンドプリントのほかに、現在印刷している書類やこれから印刷する書類を確認したり、印刷を中止することができます。EPSON Monitor3 は、印刷中に画面右上のアプリケーションメニューから［EPSON Monitor3］を選択すると、表示されます。印刷していないときは、機能拡張フォルダにある［EPSON Monitor3］アイコンをダブルクリックすることで開くことができます。

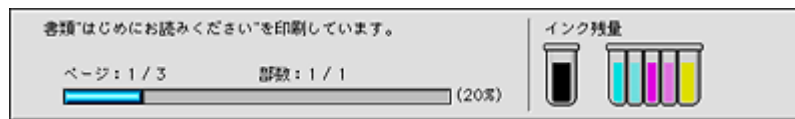
バックグラウンドプリントの設定方法は、以下のページを参照してください。

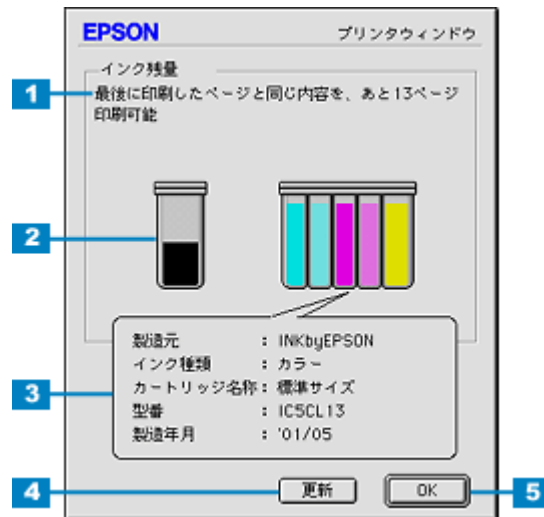
「印刷中に別の作業をする方法（バックグラウンドプリント）」

1	ボタン	印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを一時保留状態にするボタンです。
2	ボタン	保留状態を解除するボタンです。印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から保留状態になっているデータを選択してボタンをクリックしてください。
3	ボタン	印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを削除するボタンです。
4	［プリントキューの停止］	印刷の停止と解除（開始）を選択します。［プリンタキューの停止］を選択すると、すべての印刷を停止します。（印刷データは、Macintosh を終了してもすべて保持されます。）この場合、［プリントキューの開始］を選択することで、印刷が開始されます。
5	ボタン	プリントヘッドのノズルをクリーニングするボタンです。印刷中は実行できません。
6	ボタン	インク残量モニタを表示するボタンです。
7	状態表示部	印刷中の書類の名称や進行状況などが表示されます。
8	スプールファイルリスト	印刷待ちの書類が表示されます。
9	項目情報を隠す/表示	チェックすると、項目情報（画面下部の表示）の表示 / 非表示を切り替えることができます。

10	項目情報	状態表示部またはスプールファイルリストから選択した書類の名称やプリンタドライバの設定状況などが表示されます。「印刷時刻指定」では、［至急］［通常］［保留］［印刷時刻指定］を選択でき、印刷の順番を指定することができます。	
		至急	プリントキュー内のほかの印刷データより優先して印刷する場合に選択します。
		通常	プリントキューに記憶された順番で印刷する場合に選択します。
		印刷時刻指定	印刷を実行する日時を指定することができます。
		保留	印刷データをプリントキューに記憶した状態のままにする場合に選択します。

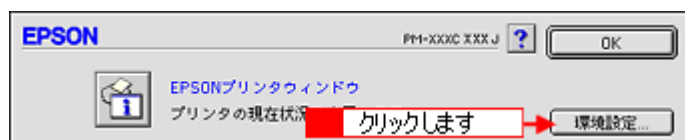
ポイント

バックグラウンドプリントを［切］に設定してある場合は、以下の画面が表示されます。印刷の進行状況とインクの残量のみ表示されます。

インク残量モニタ画面

インク残量モニタは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面や［印刷］画面、または［EPSON Monitor3］の各画面から表示させることができます。

1	印刷可能枚数の表示	インク残量が 50%以下になった場合に、最後に印刷したページの印刷可能枚数の目安が表示されます。
2	インク残量	インクカートリッジ（カラー・黒）内のインク残量の目安が表示されます。カラーインク残量は、一番少ないインクに合わせて全色同じレベルで表示されます。
3	インクカートリッジ情報	画面上のカラー・黒どちらかのインクカートリッジをクリックすると、セットされているインクカートリッジの型番や製造年月日などの情報が表示されます。印刷実行時などには表示されません。
4	［更新］	プリンタの最新の情報を取得する場合に、クリックします。
5	［OK］	EPSON プリンタウィンドウを終了する場合に、クリックします。

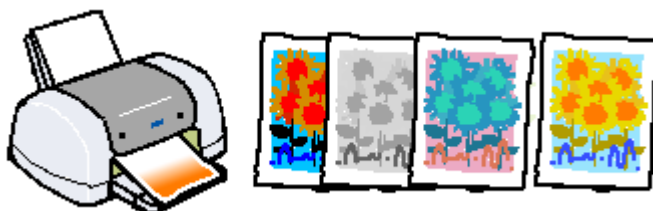
環境設定画面

［環境設定］画面では、エラー通知の方法や印刷データを一時的に保存しておくフォルダなどの設定が行えます。

［環境設定］画面の開き方
［ユーティリティ］画面にある［環境設定］ボタンをクリックします。

1	エラー通知	プリンタで発生したエラーの通知方法を選択します。
2	警告通知	警告の通知方法を選択します。
3	スプールファイル保存フォルダ	印刷データを一時的に保存しておくためのフォルダを変更する場合は［選択］ボタンをクリックします。
4	コピー印刷ファイル保存フォルダ	同じ印刷データを複数枚印刷する際に、一時的に印刷データを保存しておくためのフォルダを変更する場合は、［選択］ボタンをクリックしてください。
5	印刷データをハードディスクに保存した後、プリンタに送信する	チェックすると、印刷データをハードディスクに一旦保存してから、プリンタに送信します。同じデータを複数部印刷する場合に印刷速度が向上することがあります。また、動作の遅い Macintosh でご使用いただくと、印字中に一時的にプリントヘッドが停止するようなことが回避され、印字品質の低下を防ぐことができます。
6	印刷前にエラーを確認する	印刷を実行する前に、プリンタでエラーが発生していないかどうかを確認する場合は、チェックします。
7	印刷前にインクニアエンドを確認する	印刷を実行する前に、インク残量が少ないかどうか確認する場合は、チェックします。
8	初期状態に戻す	設定値を初期の状態に戻す場合にチェックします。
	[OK]	環境設定を保存して終了する場合にチェックします。

プリンタドライバ関連情報

写真をきれいに印刷（オートフォトファイン !4）

写真をきれいに印刷したい場合は、オートフォトファイン !4 機能を使って印刷してみましょう。
オートフォトファイン !4 は、元のデータに手を加えることなく、自動的に高画質化して印刷できる機能です。

1. ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

   ［印刷］画面が表示されます。

2. モード設定から［オートフォトファイン !4］を選択して、ポップアップメニューから印刷データにかける効果を選択します。

   ［デジタルカメラ用補正］のチェックボックスは、デジタルカメラで撮影した画像を印刷する際に選択してください。ただし、エプソン製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

標準	EPSON 標準の色調にして印刷するモードです。

人物	人物が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。
風景	風景が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。
ソフトフォーカス	画像が柔らかいタッチになるような補正を加えて印刷するモードです。
セピア	セピア調にして印刷するモードです。

デジタルカメラ	デジタルカメラで撮影した画像を印刷する場合に選択します。デジタルカメラのデータに対して最高な補正が加えられて印刷されます。

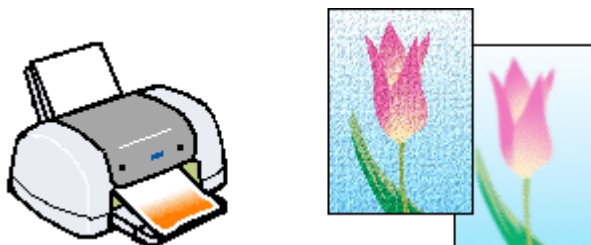
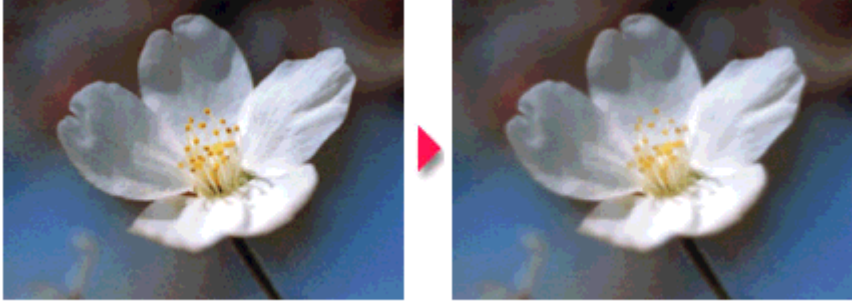
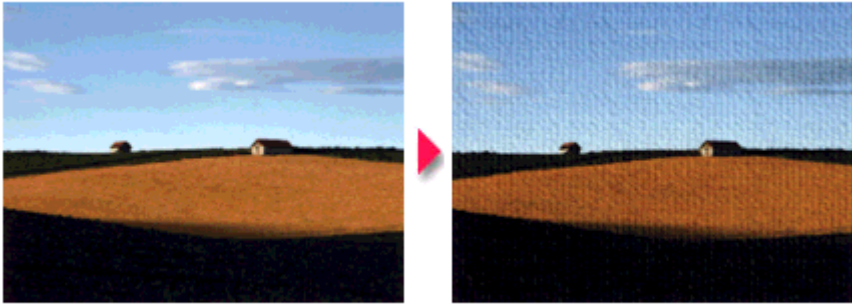
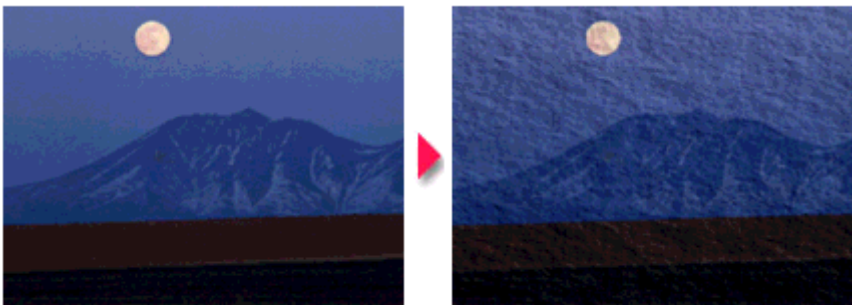
ポイント

［詳細設定］画面ではオートフォトファイン !4 の効果をさらに詳細に設定することができます。

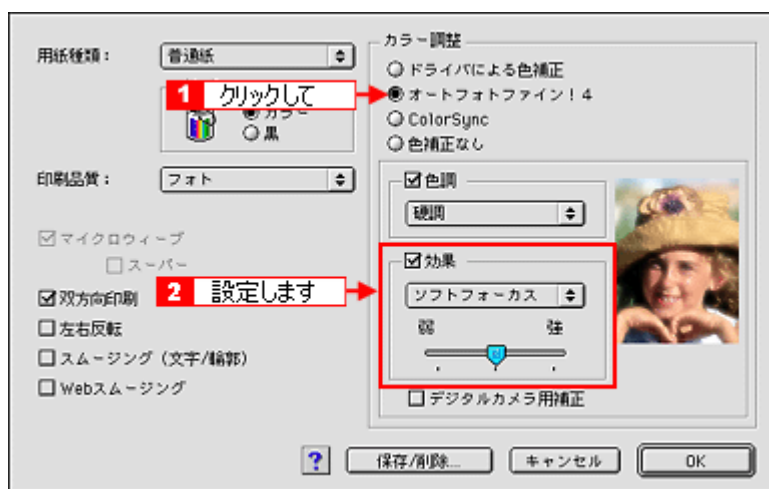
「詳細設定画面」

3. ［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

写真に特殊効果を加えて印刷（オートフォトファイン !4）

写真に特殊効果を加えて印刷したい場合は、オートフォトファイン !4 機能を使って印刷してみましょう！
オートフォトファイン !4 では、元のデータに手を加えることなく、「ソフトフォーカス」や「和紙」などの特殊効果を加えて印刷することができます。

1. ［ファイル］メニューから［プリント］（または「印刷」）を選択します。

   ［印刷］画面が表示されます。

2. モードから［詳細設定］を選択して、［設定変更］ボタンをクリックします。

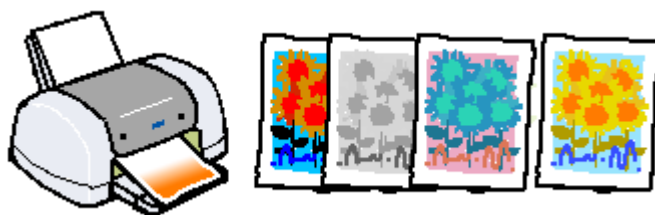
3. ［オートフォトファイン！ 4］のラジオボタンをクリックして選択し、効果のリストボックスから、印刷データにかける効果を選択します。

シャープネス	画像の輪郭を強調して印刷するモードです。
ソフトフォーカス	ソフトフォーカスレンズを使って撮影した写真のように印刷するモードです。
キャンバス	キャンバス地に描いたイメージになるように印刷するモードです。
和紙	和紙に描いたイメージになるように印刷するモードです。

ポイント

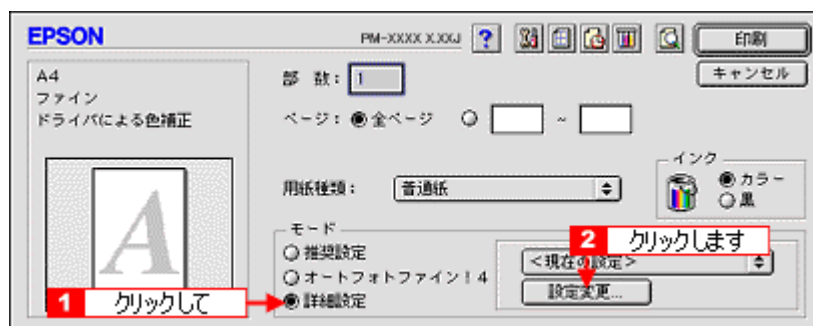
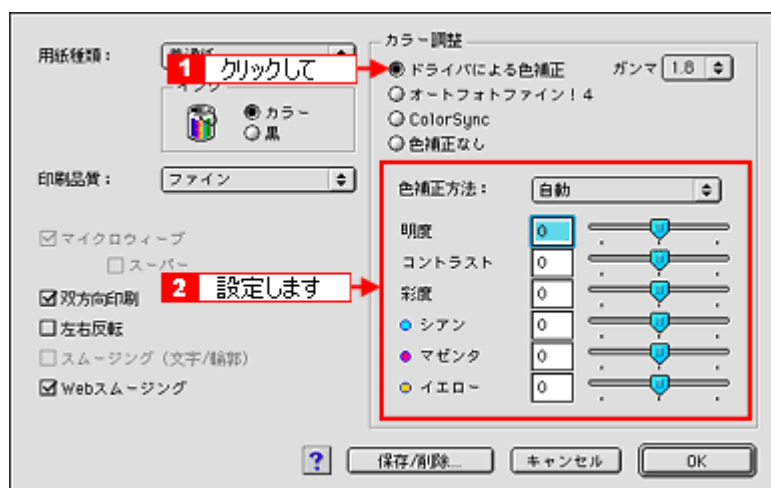
効果の強さを調節するには、リストボックス下のスライドバーを使用してください。

4. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

色を微調整して印刷

印刷物の色合いや明度などを微調整して印刷することができます。

1. ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

   ［印刷］画面が表示されます。

2. ［詳細設定］をクリックして、［設定変更］ボタンをクリックします。

3. ［ドライバによる色補正］のラジオボタンをクリックして、1 から 5 の各項目を調整します。

1	色補正方法	次の「色補正方法」の設定に従い、印刷するデータの色バランスを整えます。		
		自動	文書内のオブジェクトに対して最適な色処理をします。通常は、この設定でご使用ください。	
		自然な色あい	より自然な発色状態になるように色処理します。	
		あざやかな色あい	彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする処理をします。	
2	明度	画像全体の明るさをバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。		
		設定－	設定 0	設定＋
3	コントラスト	画像の明暗比をバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整できます。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。		
		設定－	設定 0	設定＋

4	彩度	画像の彩度（色のあざやかさ）をバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 〜＋ 25% の間で調整できます。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。「インク」で［黒］を選択した場合は調整できません。		
		設定－	設定 0	設定＋
5		それぞれの強さだけをバーで調整できます。標準を 0 として－ 25 〜＋ 25% の間で調整できます。［インク］で［黒］を選択した場合は、調整できません。		
	シアン	設定－	設定 0	設定＋
	マゼンタ	設定－	設定 0	設定＋
	イエロー	設定－	設定 0	設定＋

4. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

ポイント

［詳細設定］画面の［保存 / 削除］ボタンをクリックすることにより、ここでの設定は、保存しておくことができます。保存した設定値は、［印刷］画面のポップアップメニューから呼び出すことができます。

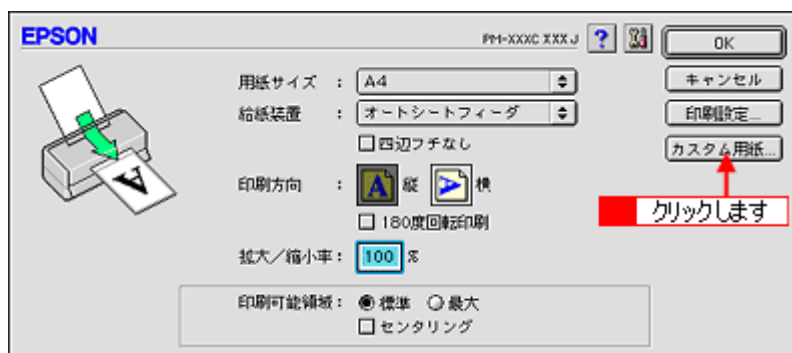
定形外の用紙サイズに印刷

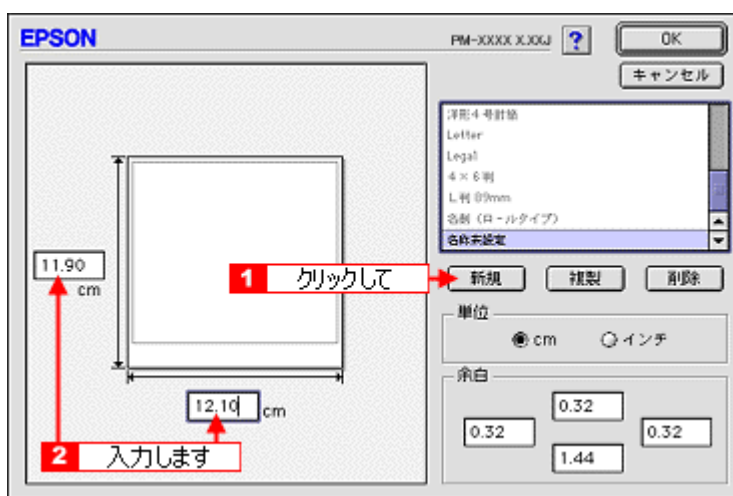
例えば CD-ROM のブックレットサイズの用紙に印刷しようと思ったことはありませんか？このように、プリンタドライバにあらかじめ用意されていないサイズの用紙に印刷する場合は、まず以下の手順で用紙サイズを登録する必要があります。

1. ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタ設定］など）を選択します。

   ［用紙設定］画面が表示されます。

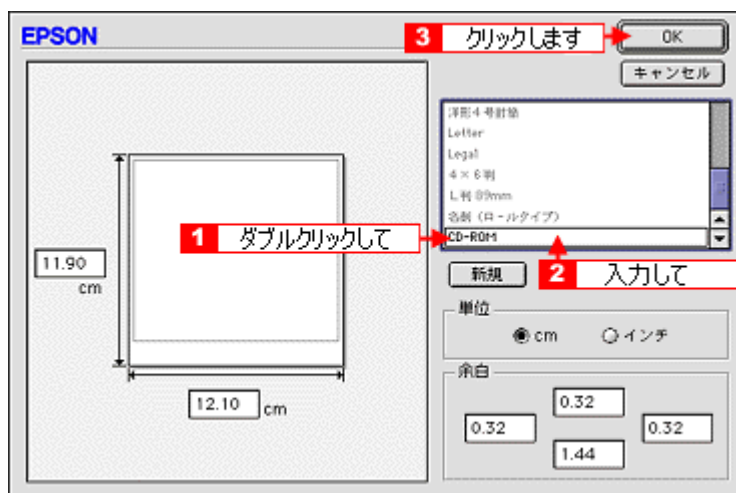
2. ［カスタム用紙］ボタンをクリックします。

   用紙サイズを指定するボックスが表示されます。

3. ［新規］ボタンをクリックしてから用紙のサイズを入力します。

   以前に登録した内容を変更するときは、右のリストの用紙サイズ名をクリックします。

ポイント

- すでに登録されている用紙サイズを複製したい場合は、右側のリストから用紙サイズを選択して［複製］ボタンをクリックしてください。
- 用紙サイズ名を指定してから［削除］ボタンをクリックすると、その用紙サイズを削除することができます。
- ここでは､余白の設定もできます。余白の入力欄に直接入力するか左側のプレビュー部でグレーのラインをドラッグしたまま移動して設定します。

4. **リスト内の［名称未設定］と表示されている部分をダブルクリックして、登録したい名称を入力します。**

［OK］ボタンをクリックして画面を閉じると登録は終了です。登録した用紙サイズは、［用紙サイズ］のポップアップメニューから選択することができます。

ポイント

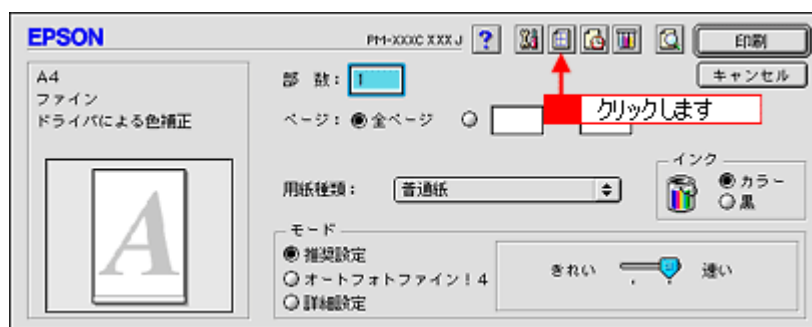
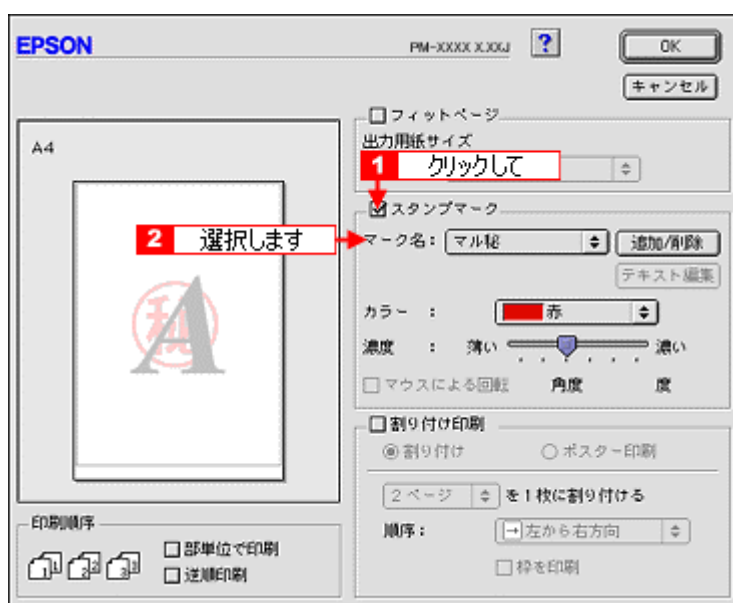
- 本プリンタで印刷できないサイズの用紙を登録して印刷を実行すると、自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）されます。［出力用紙］のサイズを変更したい場合には、印刷の実行時に［レイアウト］画面の［フィットページ］のポップアップメニューから選択してください。
- 指定できるサイズの範囲は、次の通りです。
  用紙幅 : 8.89 〜 55.88cm（3.5 〜 22.00 インチ）
  用紙長 : 8.89 〜 111.76cm（3.5 〜 44.00 インチ）
- 登録できる用紙サイズは 100 種類までです。
- 用紙サイズ名の入力可能文字数は、全角 15 文字、半角 31 文字です。

マル秘などのスタンプマークを重ねて印刷

印刷データに「秘」などのマークや単語を重ね合わせて印刷することができます。

ポイント
この機能は、［用紙設定］画面の［給紙装置］で［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」）］を選択した場合のみ有効です。

1. 印刷の実行前に［印刷］画面の ボタンをクリックします。

［レイアウト］画面が表示されます。

2. ［スタンプマーク］にチェックを付けて、ポップアップメニューから重ね合わせるマークを選択します。

ポイント

画面上に表示されているスタンプマークにカーソルを移動し、カーソルが マークに変わる所でドラッグするとスタンプマークの移動と拡大 / 縮小が実行できます。
：スタンプマークを移動できます。
：スタンプマークを拡大 / 縮小できます。

3. ポップアップメニューからスタンプマークを選択すると、色や濃度などの設定をすることができます。

1	マーク名	印刷するスタンプマークをポップアップメニューから選択します。
2	カラー	マークの印刷カラーをポップアップメニューから選択します。ただし、新規に登録したオリジナルマークの色指定はできません。
3	濃度	印刷する際のマークの濃さを調整できます。
4	マウスによる回転	［追加 / 削除］ボタンをクリックして任意の単語（［テキスト］）を登録した後、マーク名に登録した文章を選択すると有効になります。［マウスによる回転］にチェックを付けると、プレビュー部のスタンプマークをドラックすることで回転させることができます。
5	［追加 / 削除］	クリックすると、新規にスタンプマークとして画像や任意の単語を登録することができます。 「オリジナルスタンプマークを重ねて印刷」
6	［テキスト編集］	［追加 / 削除］ボタンをクリックして任意の単語（［テキスト］）を登録した後、マーク名に登録した単語を選択すると有効になります。クリックすると、登録した任意の単語を編集することができます。

4. ［OK］ボタンをクリックして［印刷］画面に戻り、印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークを重ねて印刷

プリセットマークのほかにお好みの画像や任意の単語を登録して（それぞれ 10 個まで）、そのオリジナルマークを重ね合わせて印刷することができます。

ポイント

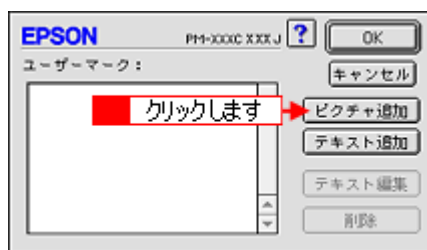
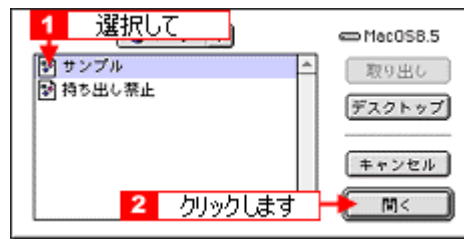
この機能は［用紙設定］画面の［給紙装置］で［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」)］を選択した場合のみ有効です。

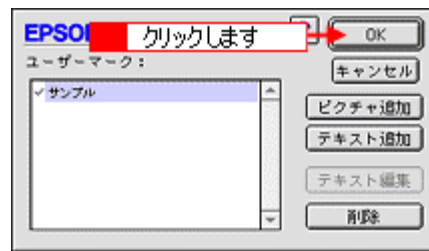
画像の登録方法

1. **アプリケーションソフトでオリジナルデータを作成し、PICT 形式で保存します。**

   ファイル形式には BMP、PICT、TIFF、JPG など多くのファイル形式があります。保存の際に PICT を選択して保存してください。

2. **［レイアウト］画面を開き、［スタンプマーク］にチェックを付けてから、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。**

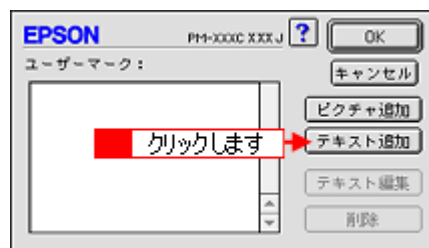
3. **［ピクチャ追加］ボタンをクリックします**

4. **マークを保存したフォルダを選択し、登録するマークをクリックして、［開く］ボタンをクリックします。**

5. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］画面に戻ります。

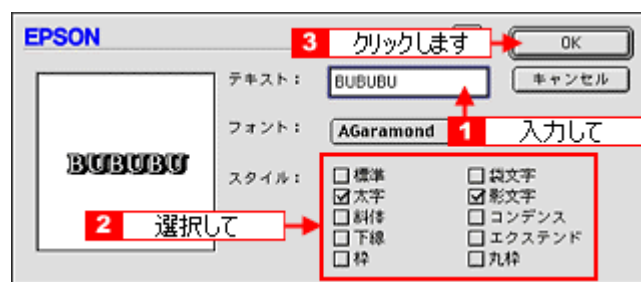
これでマーク名のリストにオリジナルマークが加わりました。印刷する際は、［マーク名］のポップアップメニューから選択してください。

この後の印刷手順は、以下のページをご参照ください。
「マル秘などのスタンプマークを重ねて印刷」

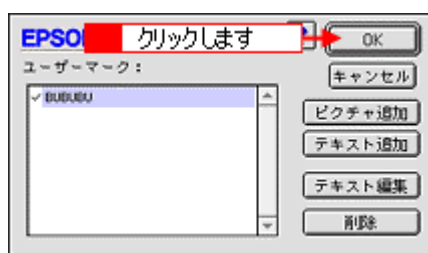
ユーザーマークのリストに表示されているマークの名称をクリックすると、マーク名を変更することができます。

単語の登録方法

1. ［レイアウト］画面を開き、［スタンプマーク］にチェックを付けてから［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

2. ［テキスト追加］ボタンをクリックします。

3. 登録したいテキストを入力し、使用するフォントや効果を選択して［OK］ボタンをクリックします。

この画面は、［レイアウト］画面の［テキスト編集］ボタンをクリックすることでも開くことができます。

4. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］画面に戻ります。

これでマーク名のリストにオリジナルマークが加わりました。印刷する際は、［マーク名］のポップアップメニューから選択してください。

この後の印刷手順は、以下のページをご覧ください。
「マル秘などのスタンプマークを重ねて印刷」

ポイント
ユーザーマークのリストに表示されているマークの名称をクリックすると、マーク名を変更することができます。

拡大 / 縮小して印刷

拡大 / 縮小して印刷したいときは、以下の手順に従ってください。

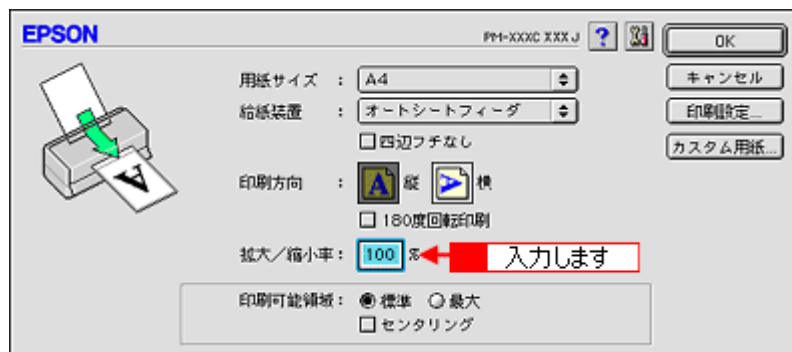
ポイント

この機能は、［用紙設定］画面の［給紙装置］で［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」）］を選択した場合のみ有効です。

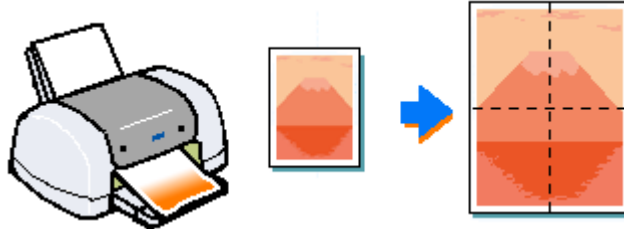
1. ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタ設定］など）を選択します。

   ［用紙設定］画面が表示されます。

2. ［拡大 / 縮小率］の入力欄に、直接数値を入力して拡大 / 縮小率を設定します。

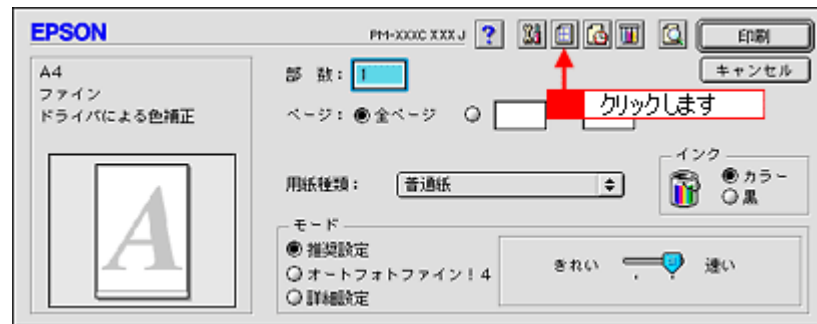
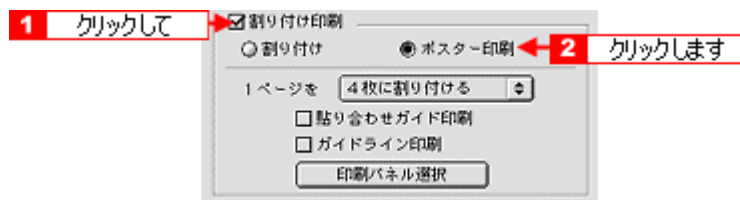
   25 〜 400% の間で倍率を指定できます。

3. この後は通常印刷する手順と同様です。

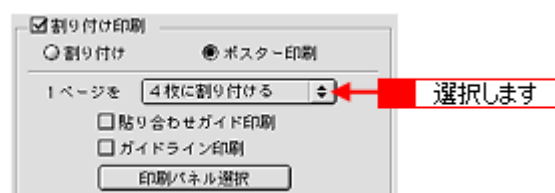
大きなポスターになるように印刷

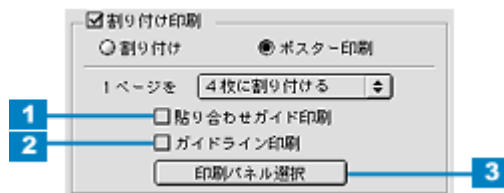
ポスター印刷機能は、印刷データを自動的に拡大して、プリンタにセットした用紙に分割して印刷することのできる機能です。印刷結果をつなぎ合わせれば、大きなポスターやカレンダーを作ることができます。

ポイント

この機能は［用紙設定］画面の［給紙装置］で［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」)］を選択した場合のみ有効です。

1. 印刷の実行前に［印刷］画面の ボタンをクリックします。

［レイアウト］画面が表示されます。

2. ［割り付け印刷］にチェックしてから、［ポスター印刷］のラジオボタンをクリックします。

3. 印刷したデータを何分割で出力するか設定します。

A4 サイズで制作したデータを 4 分割にして、A4 用紙 4 枚に出力すれば、つなぎ合わせたときにほぼ A2 サイズになります。

ポスターで 4 ページ設定にすると A4 サイズの用紙が 4 枚必要です。9 ページでは 9 枚、16 ページでは 16 枚の A4 サイズの用紙が必要となります。

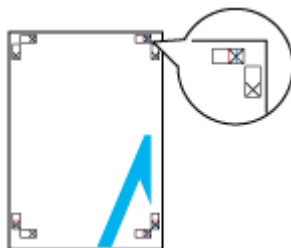
4. **その他の項目を設定します。**

1	貼り合わせガイド印刷	チェックすると、貼り合わせる際に用紙を重ねられるように、部分的に重複して印刷されます。また、貼り合わせるためのガイドも印刷されます。
2	ガイドライン印刷	チェックすると、余白部分を切り取る際のガイド線が印刷されます。
3	印刷パネル選択	クリックすると、分割したページの印刷する / しないを選択できます。全体の中の一部を印刷したいときに便利です。印刷しない部分は、薄いグレーで表示されます。

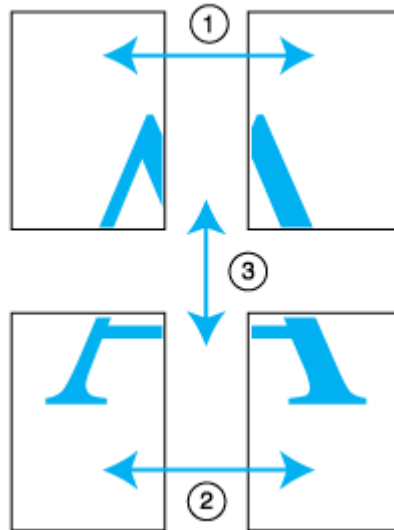
ポイント

貼り合わせた後の仕上がりサイズについて
［ガイド印刷なし］の状態と［ガイドライン印刷］を選択した場合の仕上がりサイズは、同じになります。
［貼り合わせガイド印刷］を選択した場合の仕上がりサイズは、上記よりも小さくなります。

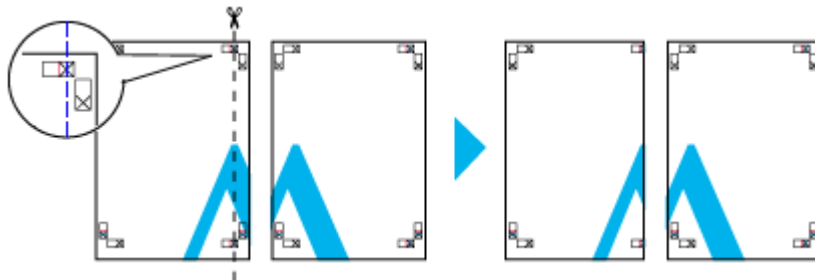
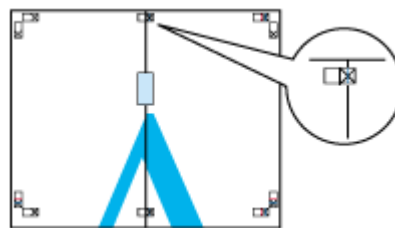
5. **［OK］ボタンをクリックして［印刷］画面に戻り、印刷を実行します。**

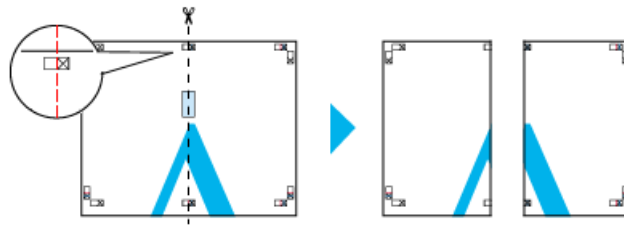
貼り合わせガイド印刷時の用紙の貼り合わせ方法

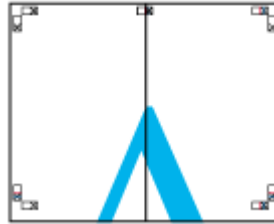
ポスター印刷時に［貼り合わせガイドを印刷］を選択して印刷した場合、下図のような貼り合わせガイドが印刷されます。ここでは、その貼り合わせガイドを使用して用紙を貼り合わせる方法をご説明します。

ポイント

ここでは 4 枚の用紙を貼り合わせる方法について説明します。下図の順番で貼り合わせます。

1. **上段の 2 枚の用紙を用意します。**

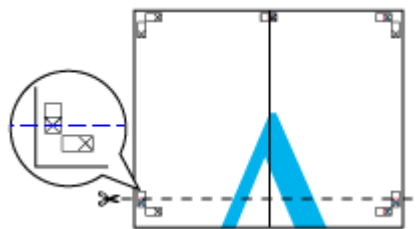
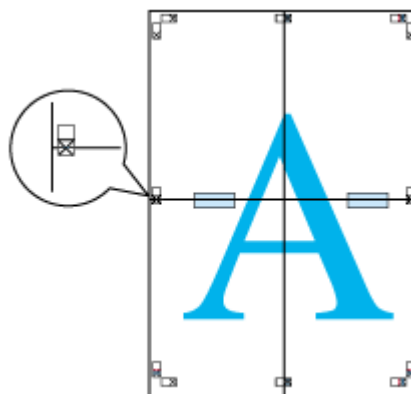
2. **左側の用紙の貼り合わせガイド（縦方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。**

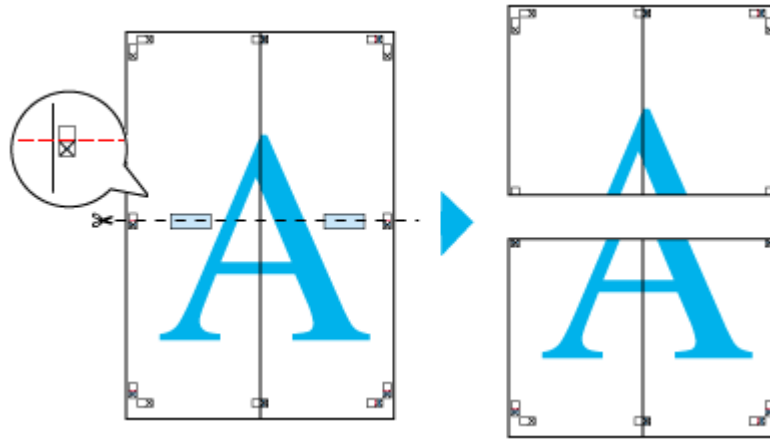
   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

3. **切り落とした左側の用紙を、右側の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。**

4. **2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（縦方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。**

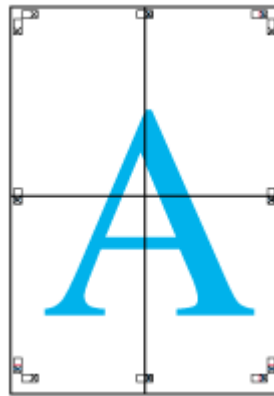
   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

5. 2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。

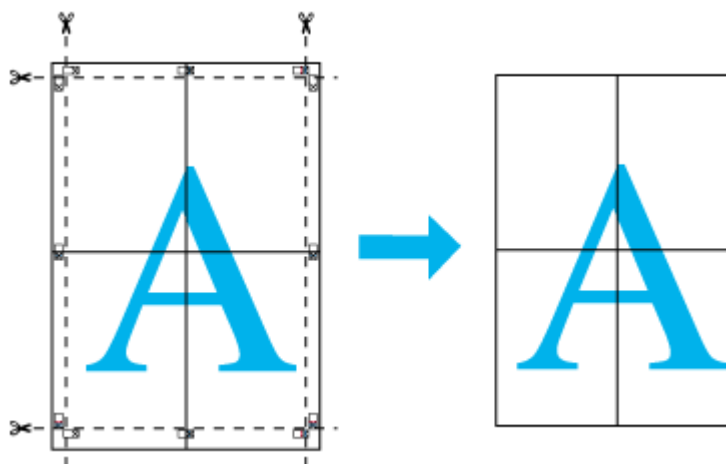
   裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

6. 下段の 2 枚の用紙も、ステップ 2 〜 5 に従って貼り合わせます。

7. 上段の用紙の貼り合わせガイド（横方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。

   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

8. 切り落とした上段の用紙を、下段の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。

9. 2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（横方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。

   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

10. 2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。

裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

11. すべての用紙を貼り合わせたら、外側の切り取りガイドに合わせて余白を切り取ります。

大きなポスターが完成します。

画面表示と色合いを合わせて印刷

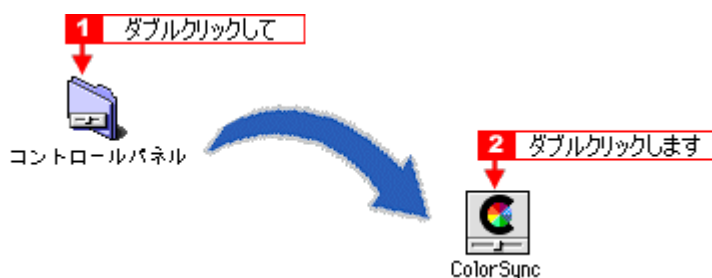
スキャナ、ディスプレイ、プリンタの色の表現は、それぞれのメーカー・モデルごとに異なるため、原画とディスプレイ表示、および印刷結果の色を一致させることは非常に困難でした。
例えば、ディスプレイには赤っぽく表示するディスプレイもあれば、逆に青っぽく表示するディスプレイもあります。これに対してプリンタは、ディスプレイの表示色に合わせて印刷しているわけではないのでディスプレイ上に表示される色と、プリンタから印刷される色との間で食い違いが生じてしまうわけです。
これに対応して、機器間のカラーマッチング（色合わせ）を行い、原画とディスプレイ表示、および印刷結果を一致させるための方法の一つが ColorSync と呼ばれるものです。

ポイント

原画と印刷結果の色合わせを行うためには、画像入力機器・画像取り込みアプリケーションソフトが ColorSync に対応している必要があります。

コンピュータでの設定

ColorSync を使用する場合は、以下の手順により、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

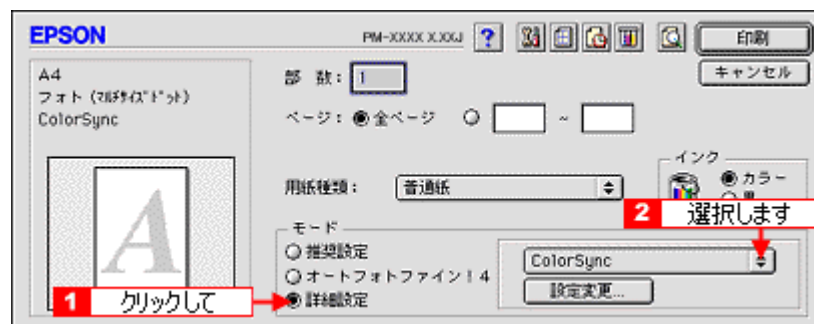
1. **［システム］フォルダ内の［コントロールパネル］をダブルクリックして開き、［ColorSync］アイコンをダブルクリックします**

2. **［システム特性］にご使用のディスプレイタイプが選択されているかを確認します。選択されていない場合は、ポップアップメニューから選択します。**

   画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。

スキャナでの設定

スキャナで取り込んだ画像をほかの機器と色合わせする場合は、画像を取り込む際にスキャナの取り込みソフトで［ColorSync］を選択します。

プリンタドライバでの設定

印刷結果を色合わせするときは、印刷実行の際に［印刷］画面で［詳細設定］を選択し、ポップアップメニューから［ColorSync］を選択して印刷を実行します。

ポイント

- ColorSync を使用して色合わせを行う場合は、RGB の画像データを使用してください。CMYK、Lab などのデータでは、正しく色合わせを行うことができません。

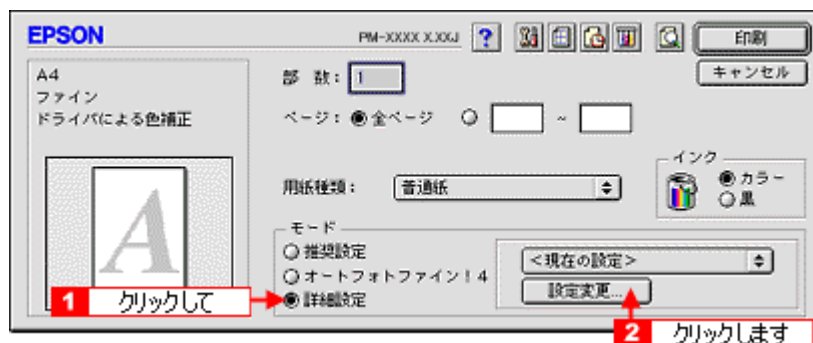
- ColorSync を使用して印刷したにもかかわらず、ディスプレイ上の色合いと印刷結果が異なる場合は、ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）が正しく行われていないか、または、ディスプレイの経年変化（劣化）により色表示にズレが生じていることが考えられます。このような場合は、以下のページを参照して、印刷した結果に合わせるようにディスプレイの調整（モニタキャリブレーション）を行ってください。
「ディスプレイについて」
- 一部のアプリケーションソフトでは、ソフト上で ColorSync の設定が行えます（AdobePageMaker6.5J 以降、Photoshop4.0J 以降、Illustrator7.0J 以降など）。ソフト上で ColorSync の設定を行う場合は、プリンタドライバでは［ColorSync］を選択せず、カラー調整の［色補正なし］を指定してください。

印刷設定を細かく指定

印刷の品質にかかわる設定は、通常［印刷］画面で設定すれば十分ですが、細かく設定したい場合は、［詳細設定］画面で行います。

1. ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

   ［印刷］画面が表示されます。

2. ［詳細設定］をクリックして、［設定変更］ボタンをクリックします。

3. ［詳細設定］画面の各項目を設定します。

ポイント

［用紙種類］、［印刷品質］の組み合わせによって、選択できる項目が変わります。

1	印刷品質	印刷品質をリストボックスから選択します。	
		ドラフト	試し印刷に向いているモードです。インク消費量をセーブしながら高速で印刷します。
		ファイン	日常使用に最適なモードです。
		スーパーファイン	高品質な印刷結果が得られるモードです。ただし、印刷時間が多少かかります。
		フォト	スーパーファインより美しい写真印刷が得られるモードです。ただし、印刷時間が多少かかります。

2	マイクロウィーブ	チェックすると、行ごとの印刷ムラを少なくして印刷することができます。	
		スーパー	行ごとの印刷ムラをさらに少なくしたい場合に選択します。[印刷品質］で［フォト］を選択した場合のみ設定できます。
3	双方向印刷	チェックすると、プリントヘッドが左から右に戻るときにも印刷します。 印刷速度を重視したい場合には、チェックしてください。 印刷品質を重視したい場合には、チェックしないでください。	
4	スムージング	チェックすると、テキストや線画の輪郭を滑らかにして印刷することができます。ただし、印刷時間が多少長くなります。	
5	Web スムージング	チェックすると、Web 上の低解像度のロゴ、イラスト、画像の輪郭を滑らかにして印刷することができます。	

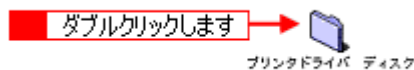
ポイント

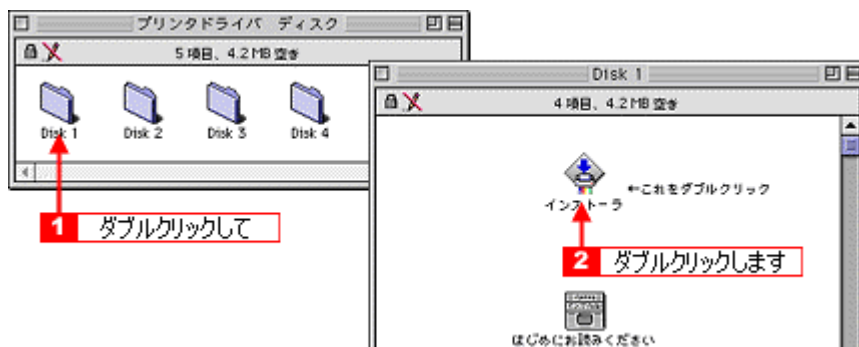
- ［保存 / 削除］ボタンをクリックすることにより、ここでの設定を保存しておくことができます。保存した設定値は、［印刷］画面のポップアップメニューから呼び出すことができます。
- ［詳細設定］画面のその他の項目については、以下のページをご覧ください。
  「詳細設定画面」

プリンタドライバの削除方法

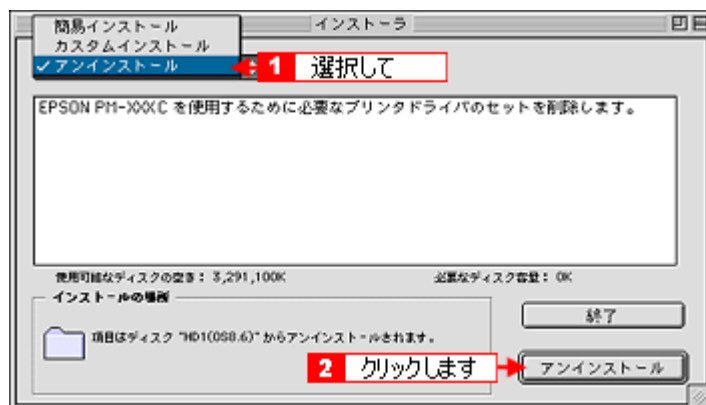
プリンタドライバを削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

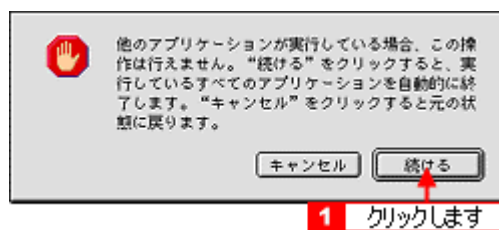
1. Macintosh を起動した後、プリンタソフトウェア CD-ROM をセットします。

2. 画面を下の方にスクロールさせ、［プリンタドライバ］フォルダをダブルクリックして開きます。

3. ［Disk 1］フォルダをダブルクリックして開いてから［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。

   インストーラが起動します。

4. 開始画面で［続ける］ボタンをクリックします。

5. ポップアップメニューから［アンインストール］を選択して［アンインストール］ボタンをクリックします。

プリンタドライバの削除が実行されます。

ポイント

以下のような画面が表示された場合は、［続ける］ボタンをクリックします。

最新プリンタドライバ類の入手方法

プリンタドライバをバージョンアップすることにより、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新のプリンタドライバをお使いいただくことをお勧めします。

注意

最新バージョンのプリンタドライバをインストールする前に、必ず旧バージョンを削除してください。

「プリンタドライバの削除方法」

ポイント

プリンタドライバ類のバージョンは、数字が大きいほど新しいバージョンになります。数字が同じ場合は、数字の後ろに付いているアルファベットが後のもの（A より B、B より C…）が新しいバージョンになります。

最新プリンタドライバを入手するには、以下の 2 つの方法があります。ご都合の良い方法で入手してください。

インターネットから入手する方法

エプソン販売のホームページからダウンロードしてください。
【アドレス】http://www.i-love-epson.co.jp/guide/ink/
ダウンロード方法 / インストール方法は、ダウンロードするページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

2001年10月1日現在

郵送で入手する方法

インターネットを利用できない方のために、「エプソンディスクサービス」にて CD-ROM での郵送（実費）を承っております。お申し込み方法・料金など、詳しくは「EPSON FAX インフォメーション」の資料でご確認ください。「EPSON FAX インフォメーション」については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

プリンタドライバのシステム条件

付属のプリンタドライバを使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

Windows 95

オペレーティングシステム	Windows 95 日本語版
CPU	i486SX（R）以上
主記憶メモリ	8MB 以上
ハードディスク空き容量	50MB 以上
インターフェイス	パラレル
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows 98

オペレーティングシステム	Windows 98 日本語版
CPU	i486DX（R）66MHz 以上
主記憶メモリ	16MB 以上
ハードディスク空き容量	50MB 以上
インターフェイス	パラレル /USB
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows Me

オペレーティングシステム	Windows Me 日本語版
CPU	Pentium（R）150MHz 以上
主記憶メモリ	32MB 以上
ハードディスク空き容量	50MB 以上
インターフェイス	パラレル /USB
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows NT4.0

オペレーティングシステム	Windows NT4.0 日本語版
CPU	i486（25MHz）以上× 86 系または Pentium （R）

主記憶メモリ	16MB 以上
ハードディスク空き容量	50MB 以上
インターフェイス	パラレル
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows 2000

オペレーティングシステム	Windows 2000 日本語版
CPU	Pentium（R）133MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	40MB 以上 （推奨 100MB 以上）
インターフェイス	パラレル /USB
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Macintosh

システムソフトウェア	Mac OS 8.x（8.0 は除く）/Mac OS 9.x （USB インターフェイスを標準装備している機種）
メモリ空き容量	A4 サイズの用紙へ印刷する場合 フォアグラウンドプリント時 ：11MB 以上の空きメモリ容量 （20MB 以上を推奨） バックグラウンドプリント時 ：11MB 以上の空きメモリ容量 （34MB 以上を推奨）
ハードディスク空き容量	16MB 以上の空き容量＋印刷する文書サイズの約 2 倍の空き容量

サービス・サポートのご案内

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス / サポートをご案内いたします。

エプソン FAX インフォメーション

エプソン製品に関する最新情報を FAX でお知らせします。最新ドライバ情報、Q&A 集など、製品のご使用に関しても有効な情報が 24 時間いつでも取り出せます。FAX 付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけになり、音声案内に従って操作してください。ご希望の資料はメニュー（資料番号００）で資料番号をご確認ください。

FAX 番号	「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

カラリオインフォメーションセンター

エプソンプリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。
電話番号	

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

エプソン販売 WWW SERVER	http://www.i-love-epson.co.jp

ショールーム

エプソン製品を見て触れて操作できるショールームです。所在地については「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

エプソンディスクサービス

最新のプリンタドライバなどを有償でご用意いたします。エプソンディスクサービスでは、発送に関するお問い合わせについてのみお答えいたします。技術的な質問に関しましては、インフォメーションセンターへお問い合わせください。

入手方法

1. 「エプソン ＦＡＸ インフォメーション」から「各種最新ドライバのご案内と入手方法について」を入手してください。

2. **郵便局に備え付けの振込用紙を使用し、指定口座に代金をお振り込みください。**
3. **エプソン ＦＡＸ インフォメーションにて入手した申込書に必要事項を記入し、お振り込みの際に受け取られた払込受領証のコピーを所定場所に貼付して、エプソンディスクサービスに ＦＡＸ（もしくは郵送）にて送付してください。**

パソコンスクール

専任のインストラクターが、エプソン製品のさまざまな使用方法を楽しくわかりやすく効果的にお教えいたします。

お問い合わせ先	「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

保守サービス

保守サービスのご相談、お申し込みは次のいずれかで承ります。

お買い求めいただいた販売店	
エプソン修理センター	お問い合わせ先については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

修理に出すときは

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。
エプソン修理センターのお問い合わせ先については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

保守サービスの種類

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込／送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料+技術料+部品代 修理完了品をお届けした時にお支払いください。
ドア to ドア	• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドアtoドアサービス料金 + 修理代）

通信販売のご案内

エプソン製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ : http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号 :0120-251-528（フリーダイヤル） 受け付け時間 :AM9:30 ～ PM6:15（土・日・祝祭日を除く）
FAX で	「FAX 情報サービス」をご利用ください。ファクシミリ付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）から電話をおかけになり、音声案内にしたがって操作してください。必要な情報が 24 時間いつでも取り出せます。 FAX 番号 : 03-4306-1182 「FAX 情報サービスメニュー」の BOX 番号は 001 です。

※ 電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日配送	当日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日配送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国…翌日　北海道・九州…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	お取り扱いカード : UC、JCB、VISA、Master、NICOS 支払い回数 : 1 回払い
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前にご審査、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。 電話番号 : 0120-251-528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。　5,000 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタの消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの配送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のインターネット、電話、FAX にてご確認ください。

その他の情報

印刷後の用紙の保存方法

印刷後は、変色を防ぐために以下の内容を参考にして正しい展示・保存を行ってください。正しい展示・保存を行うことによって、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

ポイント

- 一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。
- 各専用紙の詳しい印刷後の取り扱い方法は、専用紙のパッケージに添付されている取扱説明書をご参照ください。

乾燥方法

乾燥していない状態でアルバムなどに保存するとにじみが発生することがありますので、印刷後は印刷面が重ならないように注意して、十分に乾燥させてください。すべての印刷物を広げて乾燥させるスペースがない場合は、重ねて乾燥させることも可能ですが、その場合はまずそれぞれを 15 分程度乾燥させた後、必ず吸湿性のあるコピー用紙などを一枚ずつ印刷面に挟んで乾燥させてください。

注 意

- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。

保存・展示方法

乾燥後は、以下の説明を参照して速やかに保存・展示を行ってください。

クリアファイルやアルバムに入れ、暗所で保存

光や空気を遮断することで変色の度合いを極めて低く抑える、一番良い保存方法です。

ガラス付き額縁に入れて展示

空気を遮断する展示方法で、変色の度合いを抑えることができます。

ポイント

- クリアファイルは、用紙よりも大きいサイズのものをご使用ください。
- 光沢フィルム・OHP シート・ミニフォトシールは、印刷面にシートが密着するタイプのアルバムなどには入れないでください。印刷結果がにじむ場合があります。間紙を挟んでクリアファイルに入れてください。

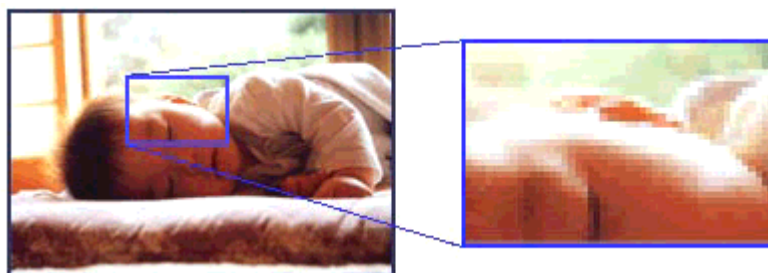
注 意

- ガラス付き額縁などに入れた場合も、屋外での展示は避けてください。
- 写真現像室など化学物質がある場所での保存・展示は避けてください。

解像度とは？

より美しい画像を印刷するためには、本プリンタの性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。ここでは、画像データと本プリンタの解像度について説明します。

解像度とは

デジタルカメラなどの画像は、基本的にすべて点（ドット）の集まりで構成されています。
ですから、この点が多ければ多いほどきめこまかい表現が可能になり、解像度が高いことになります。この解像度を示す単位として通常用いられるのが「dpi」［25.4mm あたりのドット数（Dot per Inch）］という単位で、これは、25.4mm（1 インチ）当りにどれだけの点が含まれているかを示しています。

例えば、本プリンタの特長の一つである 1440dpi 印刷とは、25.4mm（1 インチ）の長さ当りに 1440 個のインクの点を並べて打つことにより画像を構成していることを意味します。

画像データの解像度と本機の解像度の関係

本プリンタの持つ 1440dpi 高記録解像度で印刷しても、画像データの解像度が低ければ思うような印刷結果は得られません。本プリンタの解像度（印刷モード）に応じた画像データが必要です。
基本的には、画像データの解像度を上げれば画質も必然的に向上するわけですが、解像度を上げすぎても、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。本プリンタの出力解像度に合わせた、適度な解像度のデータをご用意ください。

100dpiの画像データ

240dpiの画像データ

ポイント

本プリンタの各印刷モード（解像度）で理想的な印刷結果を出力するためには、下表の解像度の画像データをご用意ください。（カラー印刷の場合）
黒インクのみを使用してモノクロ印刷を行う場合は、印刷解像度と同じ解像度の画像データをご用意ください。

印刷モード(品質)	画像データの解像度の目安
	100dpi　200dpi　300dpi　400dpi
ファイン印刷	●●●●●●●●
スーパーファイン印刷	●●●●●●●●
フォト印刷	●●●●●●●●

印刷サイズと解像度の関係

一つの画像データに含まれる点（ドット）の総数を画素数（ピクセル数）と呼びます。画素数は、アプリケーションソフトなどで調整しない限り、拡大 / 縮小してもその数は変わりません。
つまり、先ほど説明したように、300dpi の画像データは、そのままのサイズで印刷すれば、十分な品質の印刷結果を期待することができますが、拡大印刷すると、画像を構成する点（ドット）も大きくなることで、解像度が低下し、好ましい画像品質は得られません。
逆に、画素数の多いデータを小さなサイズに印刷すれば、解像度は上がりますが、印刷時間がかかるだけで見た目には画像品質の向上は認識できません。

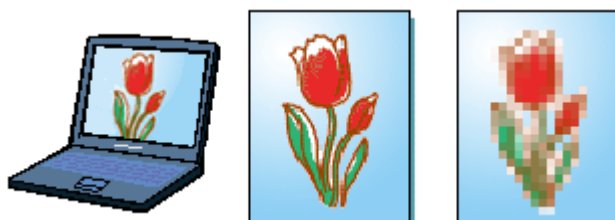
下表は、各入力装置で生成される画像データの基本的な画素数および画像データ容量（ファイルサイズ）と、印刷サイズごとの画像品質の関係を示しています。※ランクの場合は、画像データの解像度をアプリケーションソフトなどで調整する必要があります。

入力装置 / 品質		原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量	印刷サイズ			
					A6	A5	B5	A4
デジタルカメラ	35 万画素	-	640 × 480	900KB	○	△	△	△
	87 万画素	-	1024 × 768	2.3MB	◎	○	○	△
	130 万画素	-	1290 × 960	3.52MB	◎	◎	○	○
	214 万画素	-	1600 × 1200	5.5MB	◎	◎	○	○
	314 万画素	-	2048 × 1536	9.0MB	※	◎	◎	◎
フィルムスキャナ	1200dpi		1700 × 1100	5.4MB	◎	◎	○	○

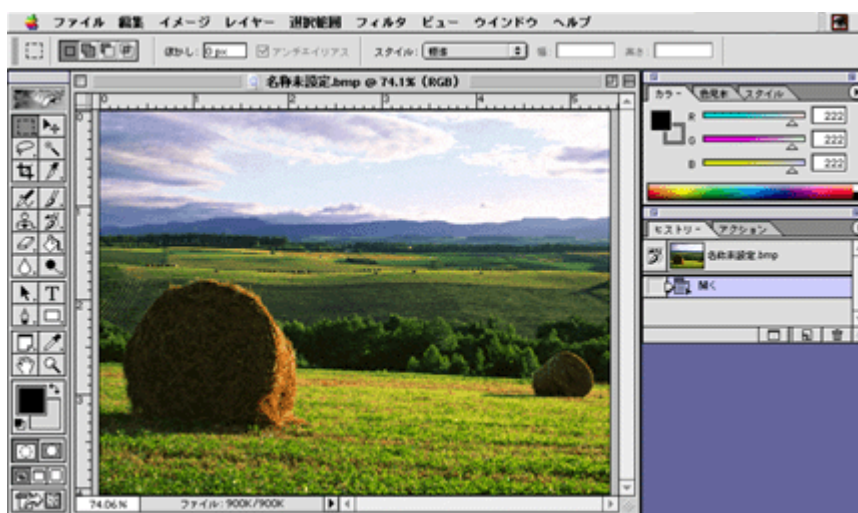
フラットヘッドスキャナ	300dpi	4 × 6	1200 × 1800	6.2MB	◎	◎	○	○
		A4	2550 × 3600	26.3MB	※	※	※	◎
	600dpi	4 × 6	2400 × 3600	24.7MB	※	※	◎	◎
		A4	5100 × 7200	105.1MB	※	※	※	※
	1200dpi	4 × 6	4800 × 7200	100MB	※	※	※	※
		A4	10200 × 14000	420MB	※	※	※	※
Photo CD	BASE	-	768 × 512	1.1MB	○	△	△	△
	4BASE	-	1536 × 1024	4.5MB	◎	◎	○	○
	16BASE	-	3072 × 2048	18.0MB	※	※	◎	◎

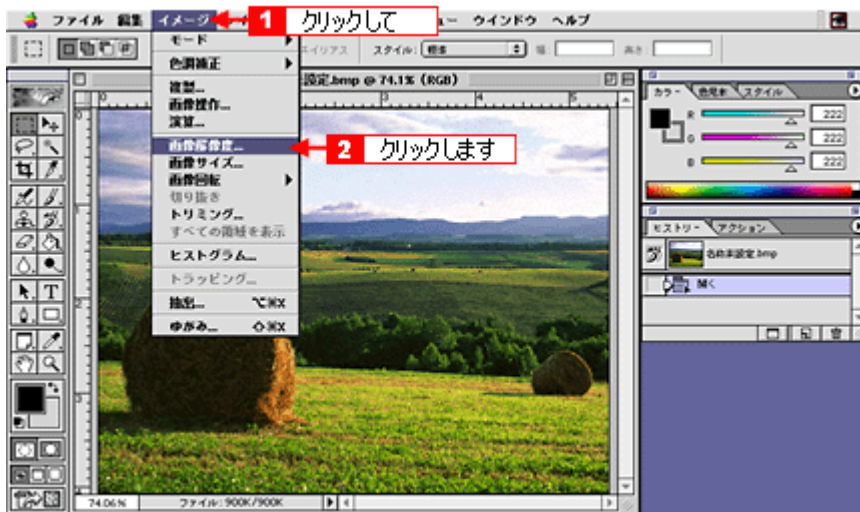
※ オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。
◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高画質な印刷結果を出力できます。
○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。
△推奨外：用紙サイズに対し画素数が少なすぎます。印刷結果の品質は期待できません。

画像の解像度の調整方法

写真などの画像データは、解像度が高すぎるとデータ容量が大きくなり、印刷速度が遅くなるだけで、大きな画質向上効果は望めません。
ここでは、プリンタの出力解像度に合わせた適度な解像度のデータを用意するために、解像度の調整方法をご説明します。

ポイント

- 画像ファイルの解像度を変更するためには、画像修正用のアプリケーションソフトが必要です。
- ここで使用している画面は Adobe Photoshop のものです。
- 低解像度の画像の印刷品質は、解像度を上げても、ほとんどの場合向上しません。

1. 画像修正用のアプリケーションソフトを起動して、解像度を調節したい画像データを開きます。

2. 画像データの解像度の調整をするための画面を表示します。

   設定画面は、［画像解像度］や［画像サイズ］などの項目を選択すると表示されます。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

3. **画像データの解像度を調整します。**

［解像度］は、以下の表を参照して印刷したい画質に合わせて設定します。高画質に印刷するためには 240 ～ 300dpi（または Pixel/inch）程度に設定するのが良いでしょう。

ポイント

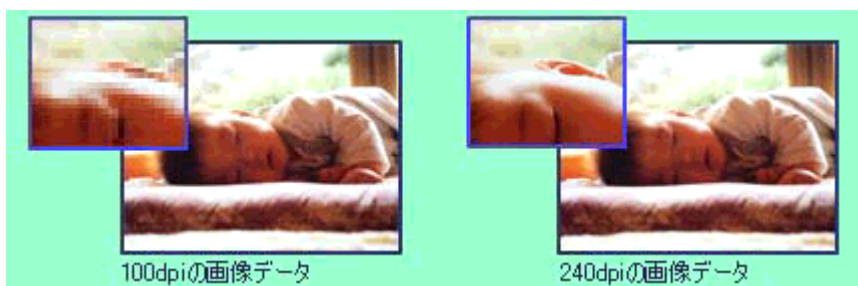
設定によっては、解像度を変更すると、ファイルサイズ（データ容量）も同時に変更されます。画像をきれいにまたは大きく印刷しようとすればするほど、ファイルサイズは大きくなります。ファイルサイズが大きすぎると、ご利用のコンピュータの性能によっては印刷に非常に時間がかかることがあります。

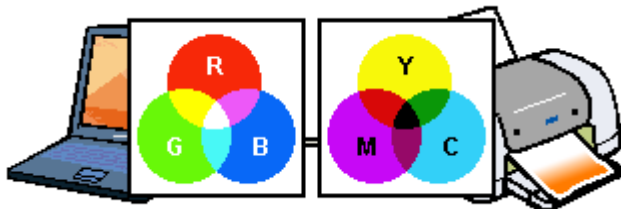
4. **変更した画像を保存します。**

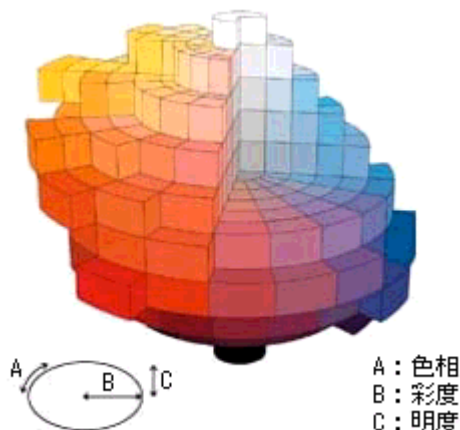
これで、解像度が変更されました。この後は、用途に応じて作業を進めてください。

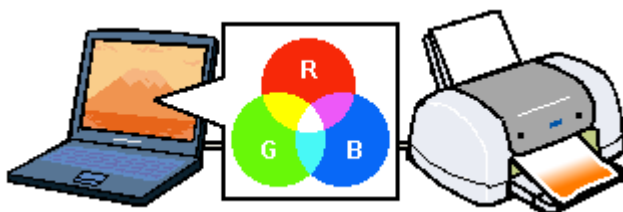
ポイント

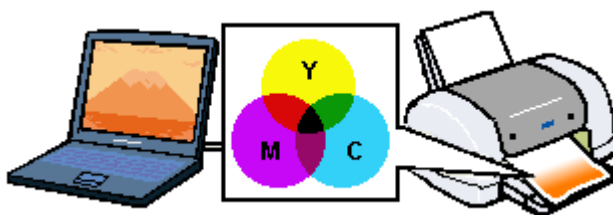
ファイルを別名で保存して、解像度の変更前と変更後を印刷して比べると、解像度についてさらに理解できます。

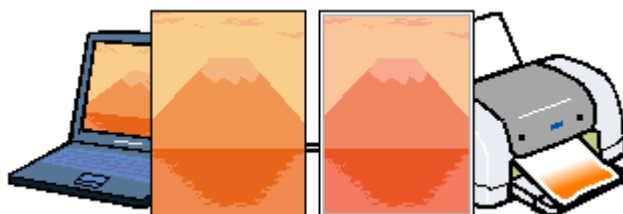
100dpiの画像データ
240dpiの画像データ

色について

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相のほかに彩度、明度という要素があります。
彩度はあざやかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。
例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。
明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。
下の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

ディスプレイの発色プロセス<加法混色>

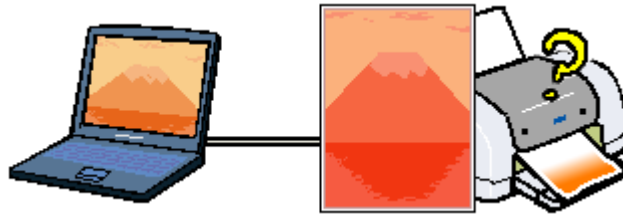
色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤（R）、緑（G）、青（B）の 3 色の光が見えます。
これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら 3 色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態（全てが 0: 黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが 100: 白）までを色を加えることで表現するため、CRT ディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。（正確には、当たった光のうち一部の色を吸収（減色）し、残りの色を反射することで色を表現します。）
例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。
この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。
このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の 3 色です。この 3 色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。
理論的には C・M・Y の 3 色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒 （BK）インクを使用し、C・M・Y・BK の 4 色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRT ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。
この R・G・B → C・M・Y 変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。
このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。しかし、これらの差異をできる限り合わせこむことが可能です。

ポイント

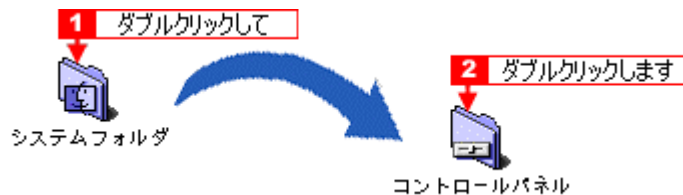
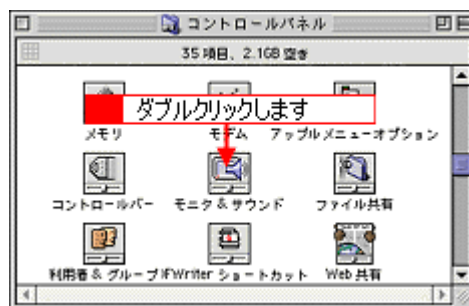
スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画 （C・M・Y）→ ディスプレイ （R・G・B）→ 印刷（C・M・Y）の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものがあります。

ディスプレイについて

ディスプレイ上で表示される画像などをいくつの色数を使って表現するかについて、設定を変更することができます。色数は［256 色］、［約 32,000 色］、［約 1,670 万色］など何段階かに設定することができますが、ディスプレイ上でよりきれいに表現するためには［約 32,000 色］、［約 1,670 万色］などの値に設定する必要があります。
また、ディスプレイの調整をすることで、ディスプレイ上の表示と印刷結果の色合いを近づけることができます。

ディスプレイの表示色の設定

ポイント

設定できる値は、ディスプレイを使用するためのドライバなどの性能や、Macintosh が搭載している VRAM の容量などによって異なります。詳しくは、ご使用になっているコンピュータメーカーやグラフィックスカードのメーカーへお問い合わせください。

1. ［システム］フォルダ内の［コントロールパネル］をダブルクリックして開きます。

2. ［モニタ & サウンド］アイコンをダブルクリックします。

3. ［カラー階調］のリストから［約 32,000］または［約 1,670 万］をクリックして選択し、画面を閉じます。

   表示される内容は、モニタの性能などによって異なります。

ディスプレイの調整方法

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。
このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像や Photo CD などの画像を適切な明るさや色合いで表示することはできません。印刷結果も予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。

ポイント

- ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）を本格的に行うためには、測定機器などが必要になり、また非常に手間がかかります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。
- これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いを原稿または印刷結果に近付けることができますが、すべてを近付けることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. **ディスプレイの電源をオンにして 30 分以上放置し、ディスプレイの表示を安定させます。**

   室内の照明環境を一定にします。自然光は避けて、一定の照明条件になるようにフードを装着すると良いでしょう。

2. **ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500K に調整します。**

3. **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**

4. **コントロールパネルに「Adobe ガンマ」が登録されている（Adobe Photoshop がインストールされている）場合は、ディスプレイのガンマ（グレー）調整を行います。**

   ガンマ補正の値は、一般的な 1.8 に設定するのが良いでしょう。

5. **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿または本機の印刷結果に近くなるように調整を行います。**

6. **調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。**

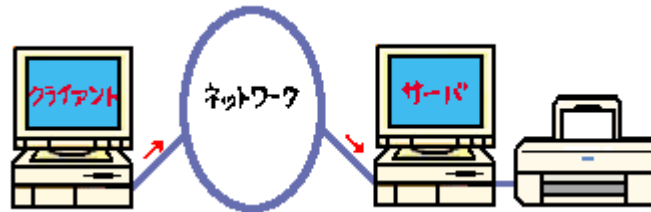
7. **ディスプレイの明暗が変わるので、［スクリーンキャリブレーション］をやり直します。**

   ［スクリーンキャリブレーション］はディスプレイの明るさ（ガンマ値）を読み取るためのもので、ディスプレイ装置の表示機能への影響はありません。
   これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いを原稿または印刷結果に近付けることができますが、合わない部分もあります。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

ポイント

書籍のご案内
「カラーマネージメント !」
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1　発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ（1998 年初版発行）

ネットワークでプリンタを共有する方法

ネットワーク環境が整っている場合は､本プリンタをネットワーク上で共有プリンタとしてお使いいただくことができます。以下のイラストで示すように、インターフェイスカードやネットワークサーバを使用することなくプリンタをネットワーク上で共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。ここでは、プリンタを直接接続し、ほかのユーザーに共有させるコンピュータをプリントサーバと呼び、そのプリンタを利用するユーザーをクライアントと呼びます。

以下の手順は、各コンピュータにプリンタドライバがインストールされていることを前提に記述しています。

プリントサーバ側の設定

共有するプリンタにインターフェイスケーブルで直接接続している Macintosh は、以下の設定を実行してください。

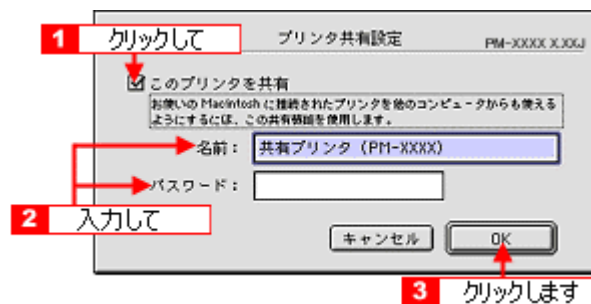
1. **画面左上のアップルメニューから［セレクタ］をクリックして選択します。**

2. **本プリンタのアイコンをクリックしてから［設定］ボタンをクリックします。**

ポイント

- ［Apple Talk］の設定が［使用］になっていることを確認してください。
- Apple Talk ゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定している場合に表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。

3. ［このプリンタを共有］チェックして、［OK］ボタンをクリックします。

共有名は、ネットワーク上で表示される名称です。パスワードを入力するとほかのコンピュータから共有プリンタに接続する際にパスワードの入力が必要になります。

4. 画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。

クライアント側の設定

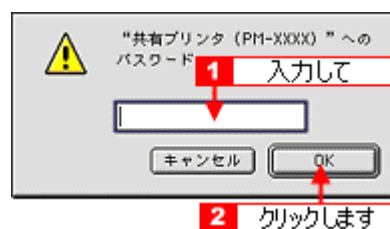
共有されたプリンタを利用する場合は、以下の手順に従ってください。

1. **画面左上のアップルメニューから［セレクタ］をクリックして選択します。**

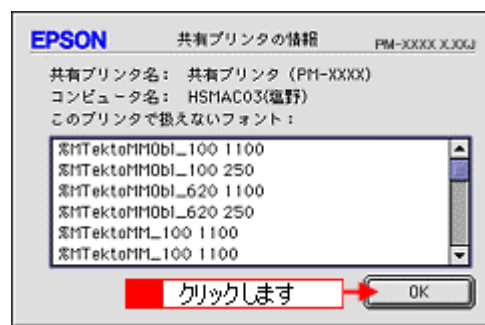
2. **本プリンタのアイコンをクリックして、［ポートを選択］の一覧に表示されている共有設定をしたプリンタ（PM-XXXX）をクリックして選択します。**

   ［Apple Talk］ゾーンが複数存在する場合は、目的のプリンタが接続された Macintosh を含む［Apple Talk］ゾーンを選択してください。

ポイント

- ［Apple Talk］の設定が［使用］になっていることを確認してください。
- プリンタの名称が変更されている可能性があります。プリンタを直接接続しているコンピュータで名称を確認してください。
- 以下の画面が表示された場合は、パスワードを入力して［OK］ボタンをクリックします。パスワードが不明な場合は、ご利用のネットワーク管理者にご確認ください。

3. 画面左上の［クローズボックス］をクリックして画面を閉じると、設定は終了です。

ポイント

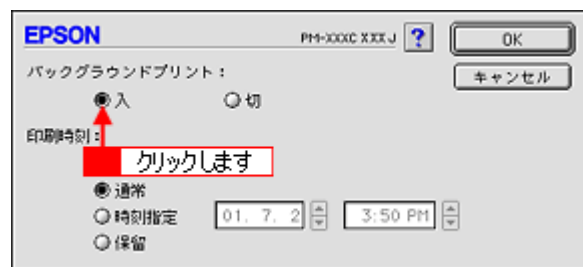
上の画面で［情報］ボタンをクリックすると、お使いの Macintosh（クライアント側）にはインストールされていて、プリンタを直接接続している Macintosh（プリントサーバ側）にはインストールされていないフォントや本プリンタで印刷することのできないフォントが表示されます。印刷するデータによってはフォントが置き換わり、レイアウトなど見た目が変わることがあります。

印刷中に別の作業をする方法（バックグラウンドプリント）

バックグラウンドプリントを［入］に設定すると印刷中に Macintosh をほかの作業に使用することができます。また、バックグラウンドプリントを［入］に設定すると、画面上に EPSON Monitor3 が表示され、印刷中のデータの情報や、印刷の進行状況、インク残量などの確認のほか、印刷の中止や削除なども実行することができます。

バックグラウンドプリントの設定 1

バックグラウンドプリントの設定は、セレクタで「バックグラウンドプリント」を［入］にします。

バックグラウンドプリントの設定 2

［印刷］画面からも、バックグラウンドプリントの設定をすることができます。ボタンをクリックして、「バックグラウンドプリント」を［入］にします。

ポイント

バックグラウンドプリントを行うと、Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷に時間がかかる場合があります。

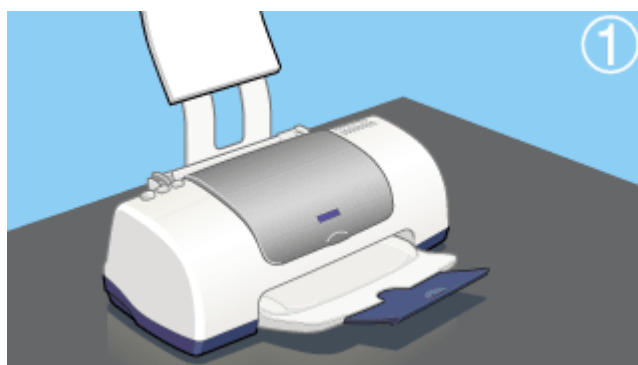
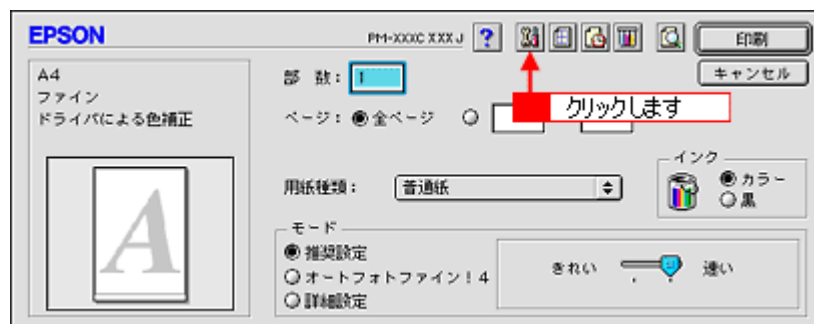
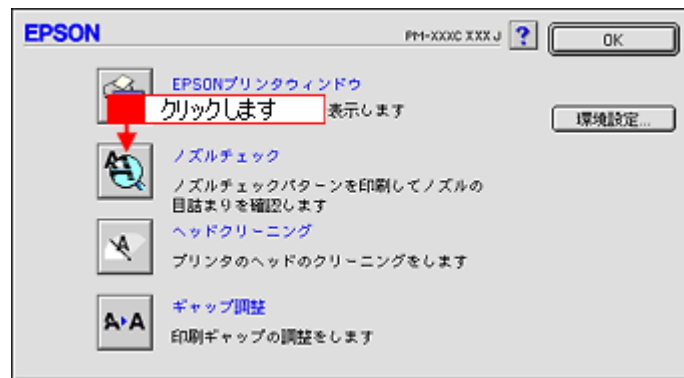
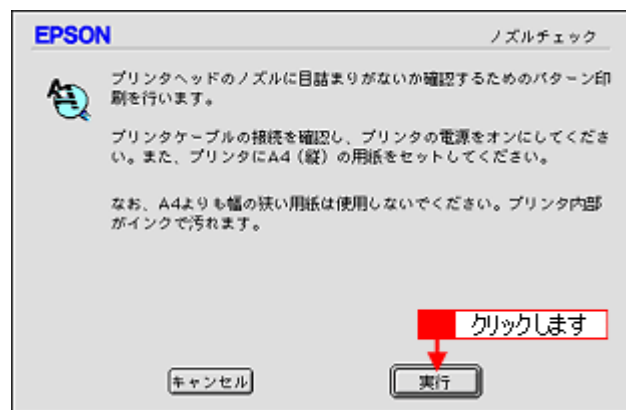
ノズルチェック

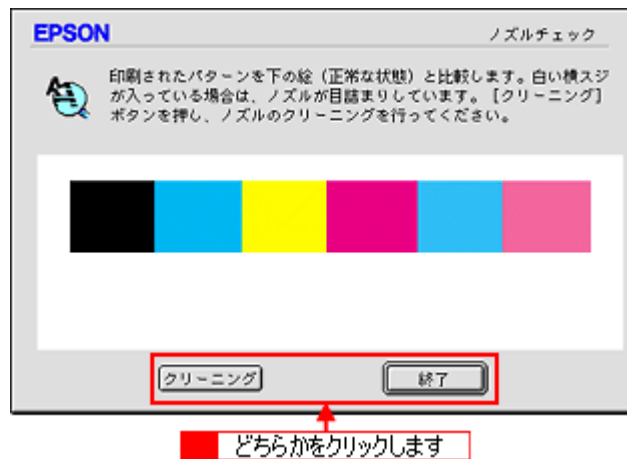
ノズルチェックとは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷結果に白い横スジが入る場合は、ヘッドクリーニングを実行してノズルの目詰まりを除去してください。

ポイント

ノズルチェックは、エラーランプの点灯、点滅中は実行できません。まず、エラーを解除してください。
「ランプのエラー表示一覧」

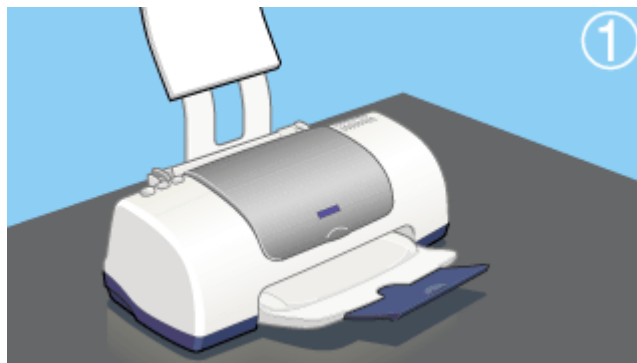
コンピュータからの実行方法

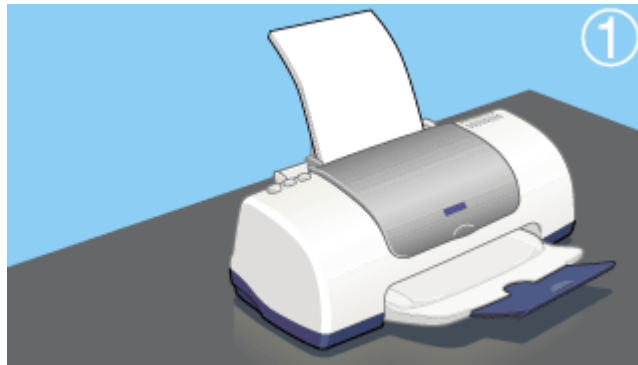
1. プリンタの電源をオンにし、A4（縦）サイズの普通紙を複数枚プリンタにセットします。

2. プリンタドライバの［印刷］画面を開き、ボタンをクリックして［ユーティリティ］画面を開きます。

3. ［ノズルチェック］ボタンをクリックします。

4. ［実行］ボタンをクリックします。

5. 印刷結果に白い横スジが入っていないかを確認します。

6. 目詰まりしていない（各色横スジが入らずに印刷されている）場合は、［終了］ボタンをクリックします。目詰まりしている（白い横スジが入っている）場合は、［クリーニング］ボタンをクリックしてプリントヘッドをクリーニングします。

［クリーニング］ボタンをクリックするとプリントヘッドのクリーニングが始まります。クリーニングが終了したら、もう一度ノズルチェックを実行して目詰まりが解消されたか確認してください。

プリンタからの実行方法

ノズルチェックがコンピュータから実行できない場合は、プリンタのスイッチ操作で実行してください。

1.　プリンタの電源をオフにして、A4（縦）サイズの普通紙を複数枚プリンタにセットします。

2.　［メンテナンス］スイッチを押したまま［電源］スイッチを押します。

［電源］スイッチからはすぐに手を離しても結構ですが、［メンテナンス］スイッチは、プリントヘッドが動き出すまで押したままにしてください。

3.　**印刷結果を確認します。**

印刷結果に白い横スジが入っている場合は、ヘッドのクリーニングをしてください。

「ヘッドクリーニング」

ヘッドクリーニング

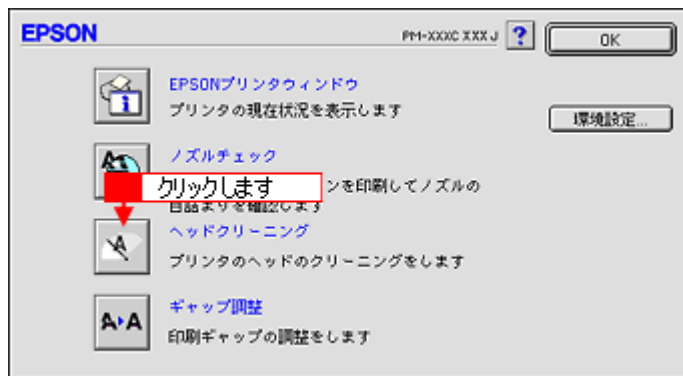
ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドのノズルを清掃する機能です。文字や画像がかすれたり、明らかに印刷データと異なる色で印刷されるなどの症状が出る場合に、次の手順に従ってヘッドクリーニングをしてください。

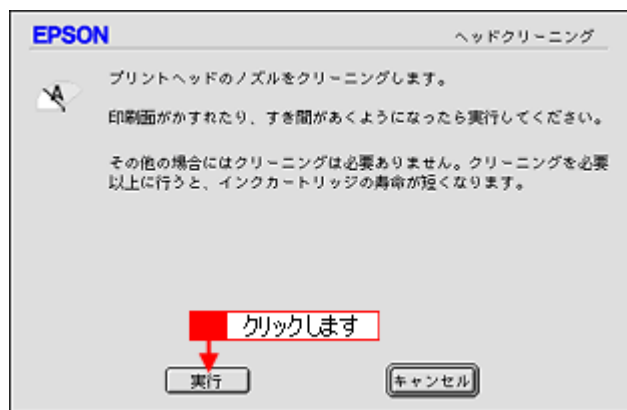
ポイント

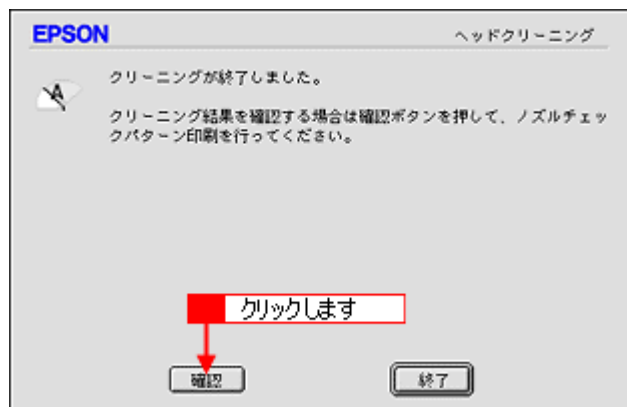
- ヘッドクリーニングは、黒とカラーのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が意図しない色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は必要ありません。
- ヘッドクリーニングは、エラーランプが点滅、または点灯しているときは行えません。この場合、まずエラーを解除してください。
  「ランプのエラー表示一覧」

コンピュータからの実行方法

1. プリンタの電源をオンにします。
2. プリンタドライバの［印刷］画面を開き、ボタンをクリックして［ユーティリティ］画面を開きます。

3. ［ヘッドクリーニング］ボタンをクリックします。

4. ［実行］ボタンをクリックします。

プリンタの電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 1 分間続きます。電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

5. ［確認］ボタンをクリックしてノズルチェックパターンを印刷します。各色横スジが入らずに印刷されていることを確認してください。

ノズルチェックパターンを印刷する場合は、A4 サイズの普通紙をプリンタにセットしてください。
ノズルチェックパターンを印刷しない場合は、［終了］ボタンをクリックしてください。

ポイント

印刷結果に白い横スジが入っている場合は、もう一度ヘッドクリーニングを実行してください。

プリンタからの実行方法

ヘッドクリーニングがコンピュータから実行できない場合は、プリンタのスイッチ操作で実行してください。

ヘッドクリーニングした後は、必ずノズルチェックを行い、クリーニング結果を確認してください。

1. **プリンタの電源をオンにします。**

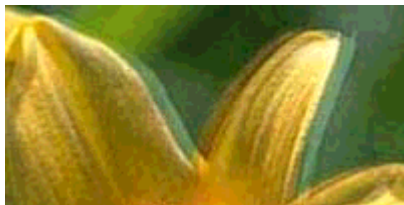
2. **［メンテナンス］スイッチを 3 秒間押したままにします。**

   プリンタがヘッドクリーニングを実行します。ヘッドクリーニングは約 1 分間続きその間、電源ランプが点滅します。電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

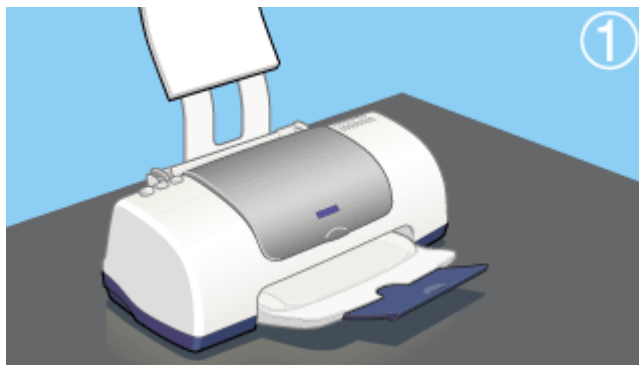
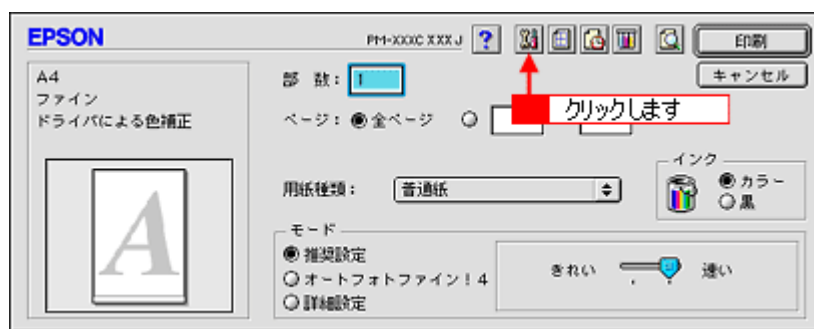
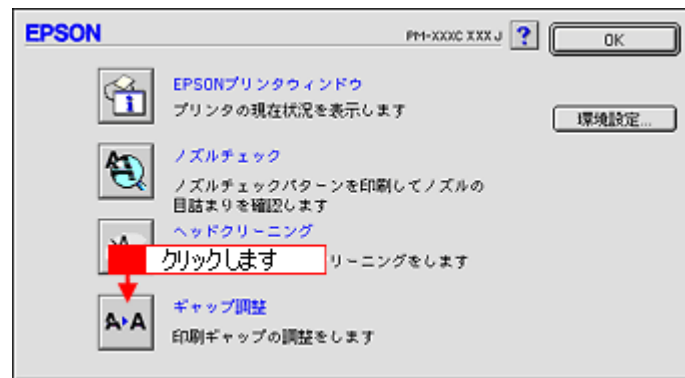
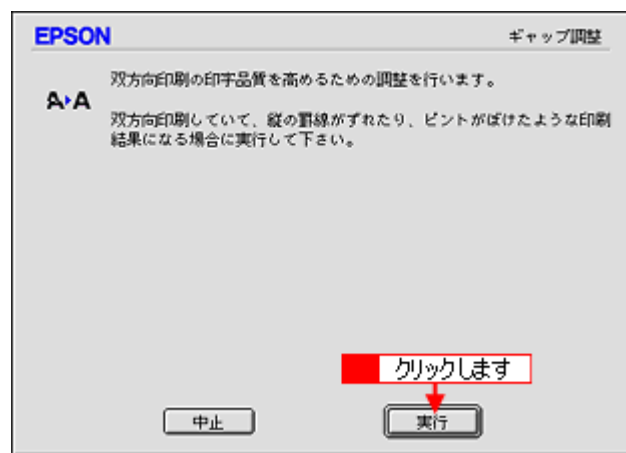
3. **ヘッドクリーニング後は、ノズルチェックパターンを印刷して白い横スジが入っていないか確認してください。**

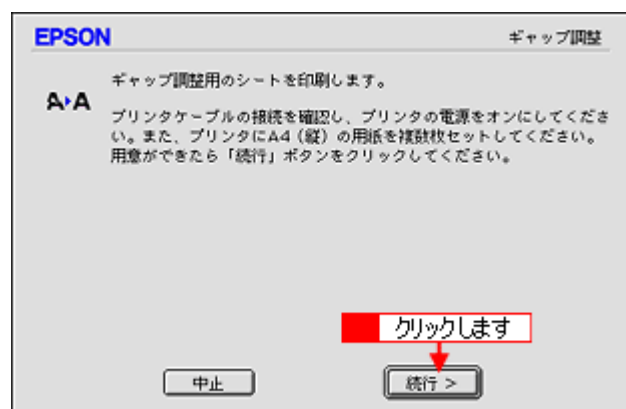
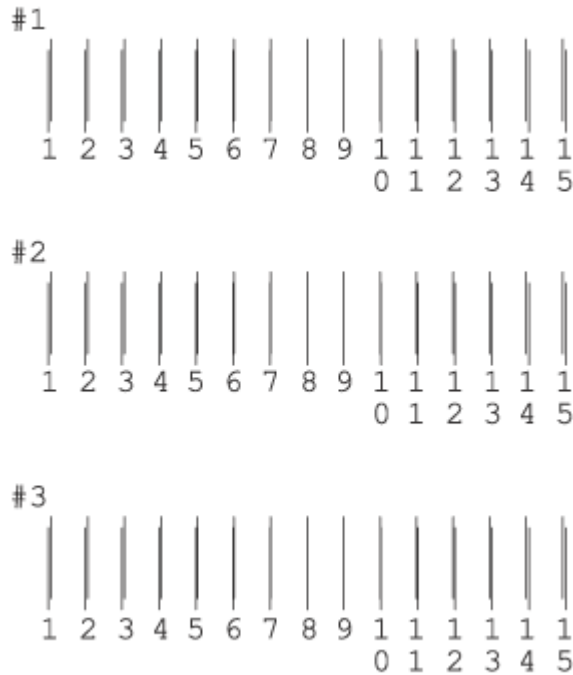
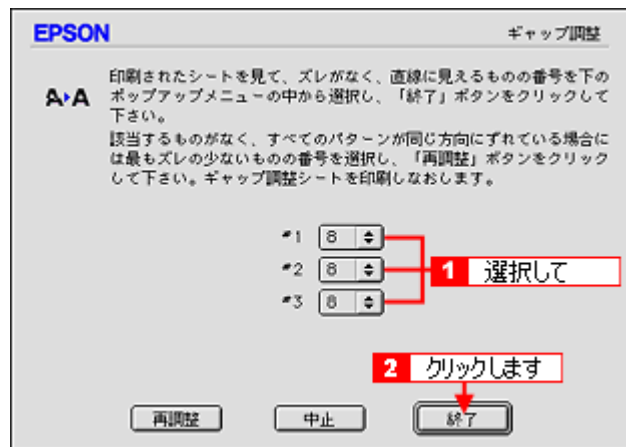
   印刷結果に白い横スジが入っている場合は、再度クリーニングを実行してください。
   「ノズルチェック」

ギャップ調整

双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。

ポイント

双方向印刷をする設定になっている場合は、プリンタドライバの［詳細設定］画面の［双方向印刷］にチェックが付いています。

1. プリンタの電源をオンにしてから A4 サイズの普通紙を複数枚プリンタにセットします。

2. プリンタドライバの［印刷］画面を開き、ボタンをクリックして［ユーティリティ］画面を開きます。

3. ［ギャップ調整］ボタンをクリックします。

4. ［実行］ボタンをクリックします。

5. ［続行］ボタンをクリックします。

ギャップ調整用シートが印刷されます。

6. 印刷されたシートを見て、＃1・＃2・＃3 それぞれズレのない直線に見える番号（1 ～ 15）を探します。

7. **最も直線に見えた番号をリストの中から選択し、［終了］ボタンをクリックします。**

これでギャップ調整は完了です。

ポイント

すべての直線がズレている場合は、最も直線に近い番号を選択して［再調整］ボタンをクリックし、手順 5 へ戻ります。

長期間使用しないときは

プリンタを長期間使用しないときは、インクカートリッジを取り付けたまま、水平な状態で保管してください。
なお、プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥し、目詰まりを起こすことがあります。ノズルの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷していただくことをお勧めします。

注意

- インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プリンタは傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

ポイント

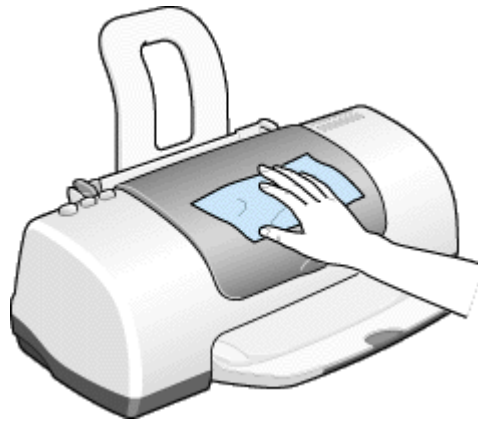
- 長期間使用していないプリンタをお使いになる場合は、必ずノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドのノズルの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できない場合は、ヘッドクリーニングをしてから印刷してください。
- ヘッドクリーニングは続けて実行せずに、必ずノズルチェックパターンの印刷結果を確認してから実行してください。
- 長期間使用していないプリンタの場合、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 5 回以上繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
「ノズルチェック」
「ヘッドクリーニング」
- 上記の手順を実行しても正常に印刷できない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口の連絡先については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

プリンタが汚れているときは

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法でプリンタのお手入れをしてください。

外装面のお手入れ

1. **プリンタから用紙を取り除きます。**
2. **電源をオフにして、電源ランプが消えてから電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **柔らかい布を使って、ほこりや汚れを注意深く払います。**

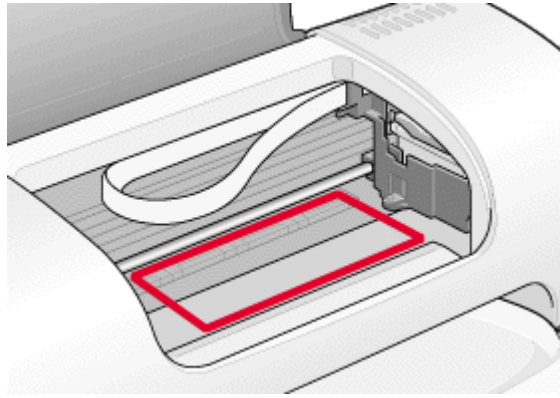
   プリンタ外装面の汚れがひどいときは、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふきとります。最後に、乾いた柔らかい布で水気をふきとります。

注意

- プリンタ内部に水気が入らないように、プリンタカバーは閉めた状態でふいてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。
- ベンジン・シンナー・アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面や内部が変質・変形するおそれがあります。
- 硬いブラシを使用しないでください。プリンタ表面を傷付けることがあります。

プリンタ内部のお手入れ

1. **プリンタから用紙を取り除きます。**
2. **電源をオフにして、電源ランプが消えてから電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **プリンタカバーを開けて、よく絞った布でプリンタ内部をふきます。このとき、インクの吸収部分（スポンジ）、キャリッジ周辺部分およびプリントヘッド周りは絶対にふかないでください。**

注意

- プリンタ内部の用紙送り部分をふく場合には、突起物がありますので、けがをしないよう注意してふいてください。

- **プリントヘッド手前の金属部分には、帯状の油（グリス）が塗布されています。使用しているうちに黒くなってきますが、ふき取らずにそのままの状態でお使いください。**
- **白いケーブルには、手を触れないでください。**

自動メンテナンス機能について

本プリンタには、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るための「セルフクリーニング機能」と「キャッピング機能」があります。

セルフクリーニング

セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、印刷を開始するときなどに行われます。すべてのインクを微量吐出して、ノズルの乾燥を防ぎます。

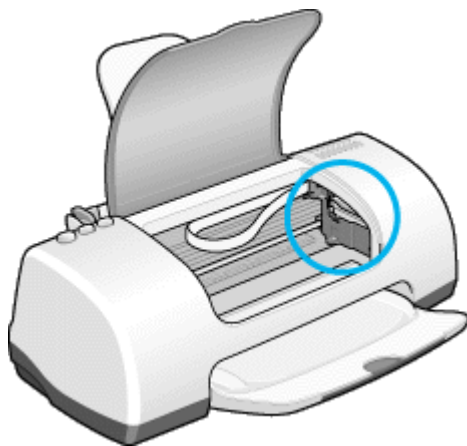
! 注意

セルフクリーニングが実行されているときに電源をオフにすると、クリーニングが終了してから電源が切れます。電源をオフにした後でもプリンタが動作しているときはコンセントを抜かないでください。

キャッピング

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、次のタイミングで行われます。

- 印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき
- 印刷停止状態になったとき

キャッピング位置はプリンタの右端です。キャッピングされているときはプリントヘッドが見えません。

キャッピングされていないときは、一度電源をオン・オフするとキャッピングされます。

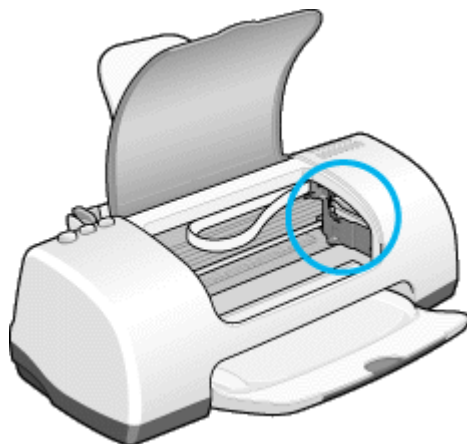
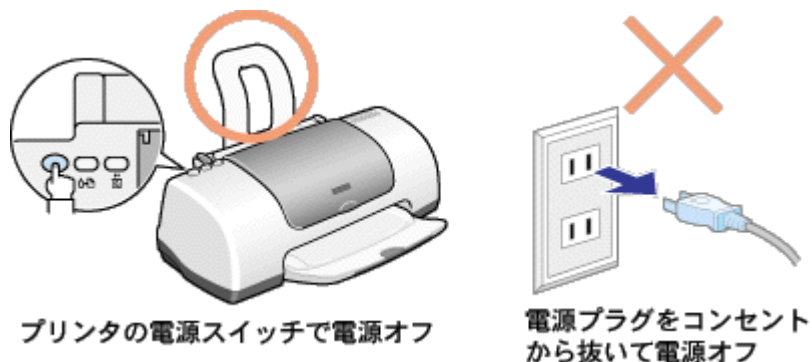
! 注意

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源をオフにした場合は、再度電源オンにしてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で 電源 をオフにしてください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- プリンタの電源がオンの状態で、コンセントを抜かないでください。キャッピングされない場合があります。

プリントヘッドのノズルのお話

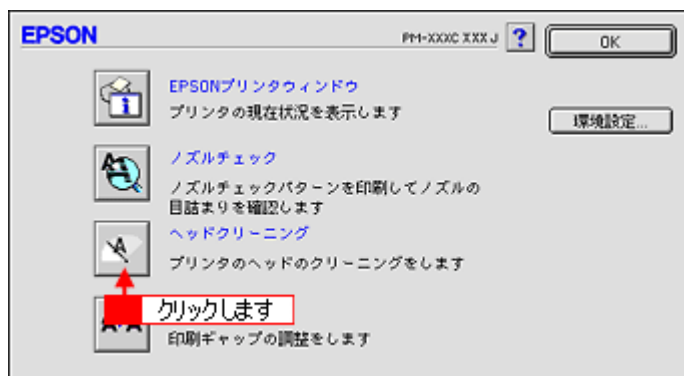
油性のペンや万年筆は、ペン先を空気中に放置しておくと、インクが乾いて書き味が非常に悪くなってしまいます。（場合によっては、書けなくなってしまうこともあります。）
実は、インクジェットプリンタもこれと同じです。
インクジェットプリンタのプリントヘッド先端には、ノズルという、インクを吐出するための小さな穴が多数空いています。プリンタは、その穴から小さなインク滴をものすごい速さでたくさん吐出して印刷をしていますが、この部分が長時間空気中に放置されていると、インクが乾き、ノズルが目詰まりして印刷品質が低下してしまいます。

ところで、油性のペンや万年筆には乾燥を防ぐための「キャップ」がありますよね。実は、プリンタにもプリントヘッドを保護するためのキャップがあります。そして、印刷をしていないときは常にこのキャップでプリントヘッドを乾燥から守っています。

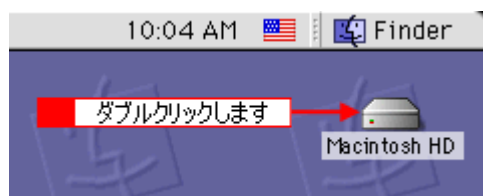
通常、電源がオフになっているとプリントヘッドは右端にあります。この状態のとき、プリントヘッドはキャッピングされています。印刷をしている間はキャップが外れていますが、印刷が終わって数秒経過すると自動的に右端に移動してキャッピングされます。また、印刷中であっても、電源スイッチをオフにするとプリントヘッドは右端に戻ってキャッピングされます。

ここで、プリントヘッドを正しくキャッピングするために注意していただきたいことがあります。正しくキャッピングするためには、電源のオン / オフを電源スイッチで行ってください。プリンタの電源スイッチで電源をオフにすることで、しっかりとキャッピングされてから電源が切れます。もし、電源プラグを抜いて電源を切ったりすると、正しくキャッピングされずに電源が切れて、プリントヘッドが乾燥してしまうおそれがあります。また、電源プラグをコンピュータ背面のサービスコンセントや、スイッチ付きテーブルタップに接続した場合も、キャッピングされていない状態で電源が切れてしまうおそれがあります。こういったことを回避するためにも、電源プラグは壁などに直付けされているコンセントに差し込み、電源のオン / オフは電源スイッチで行うようにしてください。

プリンタの電源スイッチで電源オフ

電源プラグをコンセントから抜いて電源オフ

さて、正しくキャッピングがされていればプリントヘッドの乾燥を防げることがおわかりいただけたと思いますが、これで安心かと言うと、そうではありません。もう一度油性のペンや万年筆などを思い出していただきたいのですが、これらは正しくキャップされていても、長期間放置しておくと書けなくなってしまいます。これは、キャップをしてあっても、少しずつインクが揮発してペン先が乾燥してしまうためです。
インクジェットプリンタも、まったく同じです。正しくキャッピングされていても、長期間放置していると、いつの間にかプリントヘッドが乾燥して、印刷できなくなってしまいます。
これを防ぐためには、ぜひ、プリンタを定期的に使ってください。定期的に印刷することによって、プリントヘッドは常に最適な状態に保たれます。

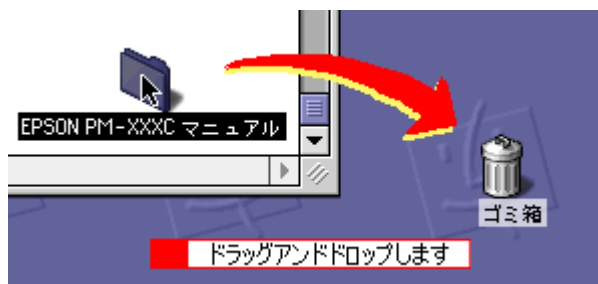
なお、電源のオン / オフを正しく電源スイッチで行い、また、定期的に印刷をしているにもかかわらずノズルが目詰まりしてしまうことがあります。この原因は、印刷中の用紙から生じる粉（紙粉）や、小さなインクかすなどです。ノズルとインク滴は非常に小さいため、小さなゴミが付着しただけでも、インクが出なくなってしまいます。
これを防ぐために、プリンタは定期的にセルフクリーニング（自動的にプリントヘッドをきれいにする動作）を行っています。しかし、それでも目詰まりが発生してしまった場合は、プリンタドライバの「ユーティリティ」画面を開いて、「ヘッドクリーニング」を実行してください。ヘッドクリーニングを実行することで、ノズルの目詰まりや、付着したゴミが除去されます。

ユーザーズガイドの削除方法

ハードディスクの容量不足などでインストールされているユーザーガイドを削除する場合は、以下の手順に従ってください。

1. ［ハードディスク］のアイコンをダブルクリックします。

ポイント

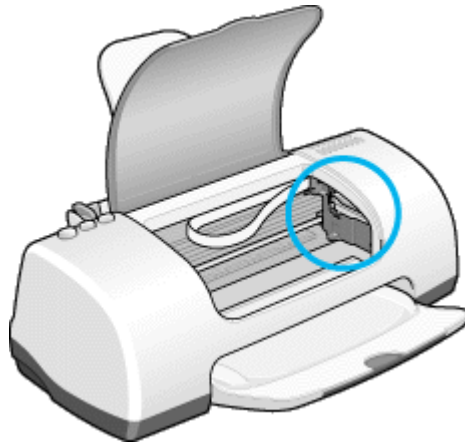
ハードディスクの名前を変更している場合、アイコンの名前が［Macintosh HD］ではない場合があります。また、インストール時に特定のインストール先を指定した場合は、インストール先のフォルダ（ドライブ）をダブルクリックして開いてください。

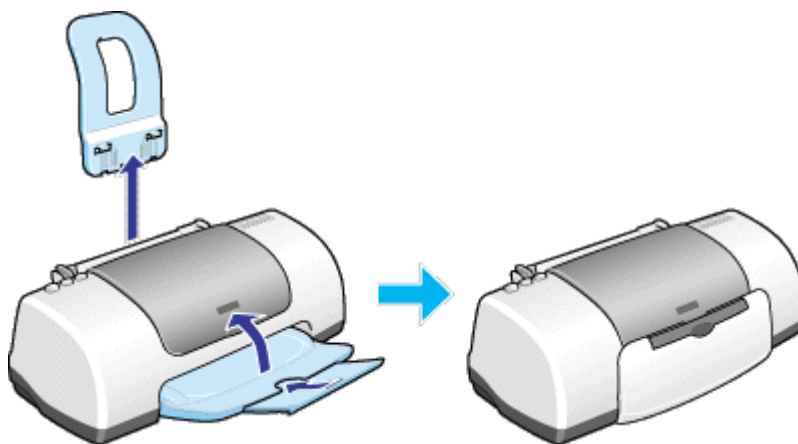
2. ［EPSON PM-XXXX マニュアル］（本プリンタの型番）フォルダをゴミ箱に捨てます（ドラッグアンドドロップします）。

以上で、ユーザーズガイドの削除は終了です。

プリンタを輸送するときは

プリンタを輸送するときは、プリンタを衝撃などから守るために十分に注意して梱包してください。

1. **プリンタから用紙を取り除きます。**
2. **プリンタカバーを開け、プリントヘッドが右端のキャッピング位置にあることを確認します。**

注意

インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。

3. **プリンタの電源がオフになっていることを確認します。**
4. **排紙サポートを収納し、排紙トレイを閉じ用紙サポートなどの付属品を取り外します。**

5. **電源プラグをコンセントから抜き、インターフェイスケーブルをプリンタから取り外します。**
6. **梱包材を取り付け、プリンタを水平にして梱包箱に入れます。**

   上記の手順でしっかりと梱包したら、輸送の準備は整いました。

注意

プリンタは傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態のまま輸送してください。

輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
「ヘッドクリーニング」

プリンタのランプ表示

プリンタのランプ表示については、以下のページをご覧ください。
「ランプのエラー表示一覧」

推奨インターフェイスケーブルについて

インターフェイスケーブルは、エプソン純正品のご使用をお勧めします。

USB ケーブル

エプソン純正品型番	USBCB1

パラレルケーブル（Windows のみ）

パラレルケーブルには種類があります。コンピュータに応じて適切なケーブルをご使用ください。

	メーカー	機種	接続ケーブル	備考
DOS/V 系	EPSON	DOS/V 仕様機	PRCB4N	-
	IBM、富士通、東芝、他各社			
	NEC	PC-98NX シリーズ		
98 系	EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ	＃ 8238	※ 1
		EPSON PC シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	※ 1
	NEC	PC-9821 シリーズ （ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	-
		PC-9821 シリーズデスクトップ（14 ピン）	＃ 8238	※ 1 ※ 2
		PC-9821 シリーズ NOTE （ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	※ 1 ※ 2

※ 1：　Windows 95/98/Me の双方向通信機能および EPSON プリンタウィンドウ !3 は、コンピュータの機能制限により対応できません。

※ 2：　ハーフピッチ 36 ピンの PC には、PRCB5N をご使用ください。

ポイント

- 推奨ケーブル以外のケーブルを使用したり、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などをコンピュータとの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。
- ECP モード対応の DOS/V 系コンピュータを ECP モードで接続する（DMA 転送をする）場合は、必ず PRCB4N をご使用ください。

プリンタの仕様

プリンタの技術的な仕様について記載します。

基本仕様

印字方式	インクジェット
ノズル配列	ブラック：48 ノズル カラー：48 ノズル× 5 色
印字方向	双方向最短距離印字（ロジカルシーキング付き）
解像度	1440 × 720dpi（最大）※ 1
紙送り方式	ASF 式フリクションフィード
入力データバッファ	32KByte

※ 1 dpi:25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
型番	IC1BK13（黒インクカートリッジ）
	IC5CL13（カラーインクカートリッジ）
推奨使用期間	個装箱に記載されている期限 開封から 6ヵ月以内
保存温度	保存時：－ 30 度～ 40 度 （40 度の場合 1ヵ月以内）
	輸送時：－ 30 度～ 60 度 （60 度の場合 120 時間以内、40 度の場合 1ヵ月以内）
	本体装着時：－ 20 度～ 40 度 （40 度の場合 1ヵ月以内）
外形寸法	黒インクカートリッジ： 幅 20.1mm ×奥行き 66.85mm ×高さ 38.5mm
	カラーインクカートリッジ： 幅 49.1mm ×奥行き 66.85mm ×高さ 38.5mm
寿命	黒インクカートリッジ： 540 ページ（A4、ISO/IEC 10561 Letter Pattern at 360dpi）
	カラーインクカートリッジ： 220 ページ（A4、各色紙面占有率 5%, 360dpi で印刷時） ※この数値はカラーインクカートリッジを交換後、連続印刷した場合の値です。
	各インクカートリッジの寿命は、プリントヘッドのクリーニング回数によって変わります。

注 意

- インクは－ 15 度以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 度）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。

- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。

用紙仕様

以下のページをご参照ください。

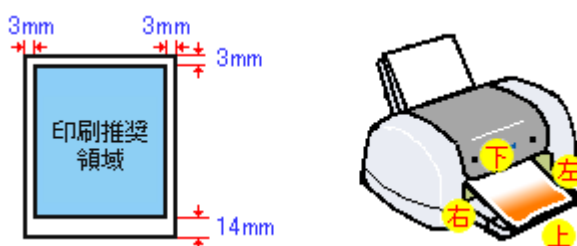
「最適な普通紙 / 専用紙の選択」
「最適なハガキの選択」
「使用できる封筒について」

印刷領域と余白について

定形紙

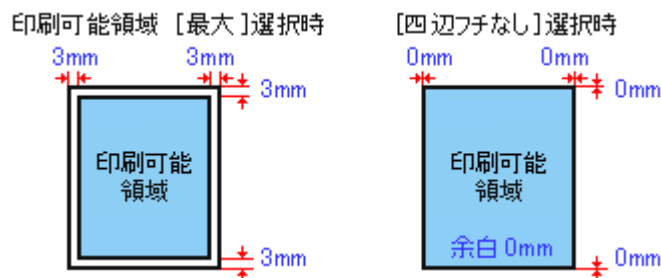
本プリンタは、標準設定で印刷する場合、紙送りの機構上どうしても用紙の上下左右に余白が必要です。通常は上、左、右に各 3mm、下に 14mm の余白が必要ですが、プリンタドライバで設定することにより、四辺フチなし（余白 0mm）または用紙下部の余白を 3mm にすることができます。

印刷推奨領域

本プリンタの印刷推奨領域は下図の通りです。（上 3mm、下 14mm、左 3mm、右 3mm を除く範囲。）通常はこの領域にのみ印刷されます。

ポイント

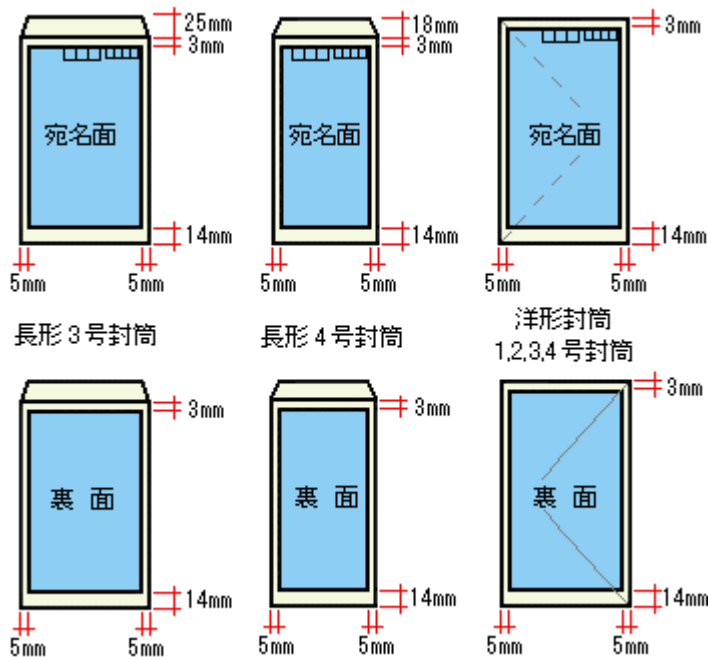
- フォトカード 2 は、「印刷推奨領域」に印刷することを前提にミシン目が入っていますので、印刷推奨領域に印刷することをお勧めします。（印刷可能領域いっぱいに印刷しても、印刷推奨領域外の部分が無駄になります。）
- 用紙幅が 216mm を超える場合は、右側の余白が 3mm 以上になります。

印刷可能領域

本プリンタの印刷可能領域は、以下の通りです。

ポイント

- 印刷データの内容によっては、印刷推奨領域外において印刷品質が低下する場合があります。
- フチなし全面印刷は、印刷データを用紙サイズよりわずかに拡大して印刷します。そのため用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。本番の印刷前に試し印刷することをお勧めします。

封筒

封筒へ印刷する場合は、以下の領域に印刷してください。

電気関係仕様

定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90 〜 110V
定格周波数	50 〜 60Hz
入力周波数範囲	49.5 〜 60.5Hz
定格電流	0.4A
消費電力	連続印刷時平均約 17W（ISO/IEC 10561 レターパターン印字） 待機時約 4W
漏洩電流	0.25mA 以下［社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合］
適合規格、規制	国際エネルギースタープログラム、高調波抑制対策ガイドライン、VCCI クラス B

総合仕様

プリントヘッド寿命	30 億ショット（1 ノズルあたり）	
温度	動作時	10 度～ 35 度
	保存時	－ 20 度～ 40 度（40 度の場合 1ヵ月以内）
	輸送時	－ 20 度～ 60 度（60 度の場合 120 時間以内、40 度の場合 1ヵ月以内）
湿度	動作時	20 ～ 80%（非結露）
	保存時	20 ～ 85%（非結露）
	輸送時	5 ～ 85%（非結露）
プリンタ重量	約 3.42kg（インクカートリッジを除く）	
プリンタ外形寸法	幅 479.6mm ×奥行き 509mm ×高さ 271.8mm （使用時）	

パラレルインターフェイス仕様

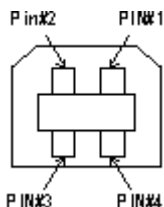
データ転送方式	8 ビットパラレル
同期方式	外部供給ストローブパルス信号
ハンドシェイク	ACKNLG および BUSY 信号
ロジックレベル	TTL レベル（IEEE-1284 Level 1 devics）
適合コネクタ	57-30360（アンフェノール）の 36 ピンプラグまたは同等品（インターフェイスケーブルは必要最短距離とすること）

USB インターフェイス仕様

仕様

規格	Universal Serial Bus Specifications Revision 1.1 Universal Serial Bus Device Class Definition for Printing Devices Version 1.1
転送速度	12Mbps（Full speed Device）
データフォーマット	NRZI
適合コネクタ	USB Series B
許容ケーブル長	2 ［m］

入力コネクタにおける信号の配列及び信号の説明

ピン番号	信号名	入力 / 出力	機能
1	VCC	-	ケーブル電源、最大電流 100mA
2	-Data	双方向	データ
3	+Data	双方向	データ、1.5kΩ の抵抗を経由して +3.3V にプルアップ
4	Ground	-	ケーブルグラウンド

初期化

プリンタは次の 3 つの方法で、初期化（イニシャライズ）されます。

初期化の種類	方法
ハードウェア	電源投入時の初期化です。プリンタのメカニズムやソフトウェア設定をすべて初期化し、入力データバッファをクリアします。
ソフトウェア	ソフトウェアにより、ESC ＠（プリンタ初期化）コマンドが送られたときの初期化です。コントロールコードにより選択された機能や設定された値を、電源投入時と同じ状態にします。プリンタのメカニズムは初期化しないで、入力データバッファもクリアしません。
パネル操作	電源スイッチを切断してから 10 秒以内に再投入したとき、またはプリンタが INIT 信号を受信したときの初期化です。用紙を排出してからプリントヘッドをキャッピングします。さらに、入力データバッファをクリアします。プリンタのメカニズムは初期化しません。

商標等

商標について

- Adobe、Adobe Photoshop、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各国での商標または登録商標です。
- PC-9801/9821 シリーズおよび PC98-NX シリーズは日本電気株式会社の商標です。
- IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、AppleTalk、EtherTalk、漢字 Talk、TrueType、iMac、Mac OS、ColorSync および FireWire は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT および Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE,Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

表記について

- Microsoft(R) Windows(R) 95 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 98 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) WindowsNT(R) operating system Version4.0 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 2000 operating system 日本語版

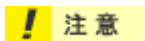
以上の OS の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows Me、WindowsNT4.0、Windows 2000 と表記しています。

また、Windows 95、Windows 98、Windows Me、WindowsNT4.0、Windows 2000 を総称する場合は［Windows］、複数の Windows を併記する場合は［Windows 95/98/Me］のように、Windows の表記を省略することがあります。

ヘルプ

ここでは、本ユーザーズガイドの使い方を記載しています。

本文中で使用している記号について

注意：
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

製品注意：
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本体が損傷する可能性が想定される内容を示します。

ポイント：
お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

各ボタン、ハイパーリンクについて

｜メイン｜
｜ MAIN ｜

メイン：
本ユーザーズガイドの最初のページ（メイン画面）を表示します。

｜内容一覧｜

内容一覧：
本ユーザーズガイドのもくじ（内容一覧）のページを表示します。

｜ << ｜

前のページへ：
現在表示している画面の前のページにジャンプします。

｜ >> ｜

次のページへ：
現在表示している画面の次のページにジャンプします。

｜ SUB MENU ｜

１つ上の一覧表示へ：
現在表示している画面のひとつ上のメニューにジャンプします。

参照：
関連したページへジャンプします。

印刷時のご注意

本ユーザーズガイドを印刷する場合に、いくつかの注意点があります。

- 本ユーザーズガイドは、ブラウザでの表示を前提として制作してあります。
- 本ユーザーズガイドは、フレーム機能を使用して表示しております。印刷の際は、本文の表示されている領域を１度クリックしてから、印刷を実行してください。
- 複数ページに渡って印刷する場合、ページのつなぎ目で画像や文章が印刷されない個所が発生することがあります。
- 本文中の GIF アニメーションや表示用のオブジェクトなど、正しく印刷されない場合があります。(GIF アニメーションは、1 コマのみ印刷)

- ページの右側が印刷されずに切れてしまう場合は、プリンタドライバの「拡大 / 縮小」機能を使用して 80% 程度に縮小して印刷してください。
「拡大 / 縮小」機能は、本プリンタの場合、[用紙設定] 画面－「拡大 / 縮小率」で設定できます。

- Internet Explorer4.5 をご使用の場合、以下のように設定を変更して印刷してください。

1）［ファイル］メニューの［用紙設定］をクリックします。

2）表示される［用紙設定］画面の「拡大 / 縮小率」の設定を、80%程度にします。そのほかの項目も確認し、[OK］ボタンをクリックします。

3）印刷する際には、[ファイル］メニューの［プリント］をクリックします。

4）表示される［印刷］画面の下にあるチェックボックスの設定を確認します。
「プリント領域外の部分はプリントしない」「プリント領域外の部分を別ページにプリントする」のどちらをにチェックします。

5）そのほかの項目も確認し、[印刷］ボタンをクリックします。

- ページ上の背景色などが印刷できない場合は、[印刷］画面下の「背景をプリント」にチェックを付けて印刷してください。

テスト印刷用サンプル

『スタートアップガイド』のテスト印刷の手順説明に従って、この画面を印刷してください。

皆様、はじめまして。

私は、『ソフトウェア CD-ROM』に収録されている『EPSON プリンタ攻略ガイド』の案内役の ” 博士 ” です。
『EPSON プリンタ攻略ガイド』では、皆様に本製品の機能をフルに活用していただけるよう、いろいろな情報をご紹介してまいりますので、ぜひご一緒に、エプソンプリンタの世界をのぞいてみてください。

また、すぐに使える便利な添付データもたくさんご用意いたしましたので、「とにかく何か印刷してみたい！」という方も、ぜひご活用ください。

それでは、『EPSON プリンタ攻略ガイド』の中で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

『EPSON プリンタ攻略ガイド』の見方については、『スタートアップガイド』をご覧ください。

インターネット FAQ のご案内

本書の「トラブル対処方法」をご覧いただいても、問題が解決しない。ちょっとわからないことがある。
こんな時に、お客様の環境がインターネット接続環境を備えている場合※は、インターネット FAQ をお勧めします。

※プロバイダの契約がすんでいる。メールアドレスを保有している。

インターネット FAQ

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。

http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

ナビゲーションサイト

また、インクジェットプリンタの「ナビゲーションサイト」では、EPSON プリンタに関する情報をまとめて掲載しております。ぜひご活用ください。

ナビゲーションサイト

http://www.i-love-epson.co.jp/guide/ink

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

「英数字記号」
「ア」「イ」「エ」「オ」「カ」「キ」「ク」「コ」「サ」「シ」「ス」「セ」「ソ」
「タ」「チ」「ツ」「テ」「ト」「ニ」「ネ」「ノ」「ハ」「ヒ」「フ」「ヘ」「ホ」
「マ」「メ」「モ」「ユ」「ヨ」「ラ」「リ」「レ」「ロ」「ワ」

英数字記号

@nifty（アットニフティー）
パソコン通信サービスの 1 つ。

180 度回転印刷
プリンタドライバの機能で、印刷イメージを 180 度回転して印刷する。

AppleTalk（アップルトーク）
Macintosh のネットワーク用通信規約とそのソフトウェア。

BIOS（バイオス）
Basic Input Output System の略。コンピュータを動作させるための基本的なプログラム群のこと。

Bit（ビット）
コンピュータが扱うデータの最小単位で、0 か 1 を表す。binary digit（２進法）の略。

BMP（ビーエムピー）
画像データを保存するファイル形式の 1 つ。Windows 上で一般的に使用されている。

Byte（バイト）
コンピュータやプリンタなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8Bit で構成され、1Byte で英数カナ文字 1 文字、2Byte で漢字 1 文字を表現することができる。

CD-R（シーディーアール）
書き込み可能な CD メディア。

CD-R プリント
CD-R のレーベル面に直接プリンタで印刷する機能。PM-950C、PM-890C などのプリンタで可能。

ColorSync（カラーシンク）
Macintosh 用のカラーマネージメント機能の 1 つ。原画、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。

dpi（ディーピーアイ）
Dot Per Inch の略。解像度の単位で、25.4mm（1 インチ）幅に印字または表示できるドット数を示す。

ECP（イーシーピー）
パラレルポートの拡張仕様の 1 つ。Extended Capability Port の略。

EPSON Monitor（エプソンモニター）3
Macintosh での印刷時、バックグラウンドプリント処理や、印刷の進行状況の確認、また印刷の中止などを行う機能。

EPSON NATURAL PHOTO COLOR（エプソンナチュラルフォトカラー）
ディスプレイ上の色域制限（sRGB）にとらわれずに、自然界の色により近い印刷を行うための EPSON 独自の画像処理技術。

EPSON PhotoQuicker（エプソンフォトクイッカー）
デジタルカメラで撮影した写真データなどを簡単な操作で定形紙やロール紙に印刷するソフトウェア。

EPSON プリンタウィンドウ
本機の状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などをコンピュータ上で知らせるユーティリティ。

ESC/P（イーエスシーピー）
Epson Standard Code for Printer の略。セイコーエプソンが標準化した、ターミナルプリンタ用コントロールコード体系。

I/O（アイオー）ポート
Input/Output Port の略。コンピュータと周辺装置との間で情報をやりとりするための出入り口。コンピュータとプリンタの間でデータをやり取りしたり、本機のステータスをコンピュータが読み取ったりする。

I/O（アイオー）ポートアドレス
I/O ポートを区別するためにつけられた番号のこと。

JIS（ジス）コード
Japan Industrial Standard の略。日本工業規格で規定した、日本国内の文字コードの規格。

JPEG（ジェイペグ）
デジタルカメラの写真データの標準的な圧縮形式。圧縮率が高い割に画像の劣化が少ない。

KByte（キロバイト）
データ量の単位。1KByte=1024Byte。

Local Talk（ローカルトーク）
Macintosh に装備されている、AppleTalk ネットワークシステムの 1 つ。データの転送速度は、EtherTalk などと比べてきわめて遅い。

Macintosh（マッキントッシュ）
ハードウェアから OS までのすべてを Apple 社が開発したコンピュータ。Macintosh は、OS（Mac OS）を含めたシステム全体の総称を意味する。

OS（オーエス）
Operating System の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows、Mac OS もその中の 1 つ。

PDF（ピーディーエフ）
Portable Document Format の略。電子形式書類の一種で、無償配布の Acrobat Reader とソフトウェアによって閲覧できる。

PICT（ピクト）
画像データを保存するファイル形式の 1 つ。Macintosh 上で一般的に使用されている。

Print Image Maching（プリントイメージマッチング）
デジタルカメラで撮影した写真データなどを忠実に印刷するための技術。

RAM（ラム）
Random Access Memory の略。データなどを読み書きできるメモリ。

readme（リードミー）
ソフトウェアが収録されている CD-ROM などに保存されている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれている。

ROM（ロム）
Read Only Memory の略。データなどの読み出し専用のメモリ。

USB（ユーエスビー）

Universal Serial Bus の略で、中速、低速向けのシリアルインターフェイスの規格の 1 つ。コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また、「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続することができる。

Web スムージング

プリンタドライバの機能の 1 つ。インターネットからダウンロードした低解像度の画像やロゴの輪郭をなめらかに印刷することができる。

ア

アイコン

コンピュータの画面上に表示される、ファイルや書類、フォルダなどを象徴する図柄。マウスでこの図柄をクリックなどすることにより、さまざまな命令をコンピュータに指示する。

アジャストレバー

印刷する用紙の厚さに応じてプリントヘッドと用紙の間隔を調整するレバー。

圧縮（データ圧縮）

1 つ、または複数のファイルを 1 つにまとめて、データ容量を小さくすること。圧縮されたデータは展開して、元のデータに戻して使用する。これを「解凍」という。

アプリケーションソフトウェア

コンピュータ上で実務処理などを行うためのソフトウェア。ワープロソフト、表計算ソフト、画像処理ソフトなどがある。

アンインストール（削除）

インストールした（コンピュータのシステムに組みんだ）ソフトウェアを削除すること。

イ

色補正方法

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷するデータの色バランスを整える方法。

インクカートリッジ

印刷用のインクが入った容器。

インク残量

インクカートリッジ内に残っているインクの量。

インク残量モニタ

Macintosh 用の EPSON プリンタウィンドウの機能で、インクカートリッジ内のインク残量の目安を表示する。

インクジェットプリンタ

プリントヘッドのノズル部分（インク吐出孔）からインクを用紙に吹き付けて印刷するプリンタ。

インク充てん

プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

印刷解像度

例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹きつけて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約 25.4mm（1 インチ）幅にいくつあるかを［印刷解像度］といい、単位は dpi（dot per inch）で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

印刷可能領域

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。定形紙に対して印刷する領域を選択する。印刷可能領域と印刷推奨領域がある。印刷可能領域を選択すると、用紙下端の余白部分が少なくなり、印刷可能な領域が広がる。ただし、用紙の種類によっては、印刷の汚れや乱れが発生する可能性がある。写真などを印刷する場合には、「四辺フチなし」を選択すると用紙の上下左右の余白をなしで印刷することもできる。

印刷画面

Macintosh 用プリンタドライバの設定画面の 1 つ。印刷品質に関わる設定をする。

印刷順序

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。同じ印刷データを複数枚印刷する際の印刷順序を選択する。

印刷ジョブ

印刷中のデータや、印刷待ちのデータをジョブ（印刷ジョブ）と呼ぶ。

印刷推奨領域

プリンタには、紙送りの機構上、用紙の上端、下端に印刷品質を保証できない部分がある。この部分を除いた領域を印刷推奨領域という。通常は、この領域に印刷を行う。

印刷品質

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷の品質を［ドラフト］［ファイン］［スーパーファイン］［フォト ］などから選択することができる。

印刷部数

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷部数を指定する。

印刷プレビュー

印刷実行前に印刷結果の予想図を見るためのプリンタドライバの機能。

印刷方向

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷方向を選択する。

インストーラ

CD-ROM やフロッピーディスクで提供されソフトウェアなどをコンピュータのハードディスクにコピーし、さらに使用できる状態まで自動的に設定するソフトウェア。

インストール

OS やアプリケーションなどの新しいソフトウェアをコンピュータのシステムに組み込むこと。

インターネット

TCP/IP をベースとしたネットワークプロトコルによって、世界中のコンピュータを相互接続したネットワークの総称。

インターフェイス

異なる機器が接続される接点（境界面）。また、それらの機器間でデータなどをやり取りするためのハードウェアやソフトウェアの接続仕様。

インターフェイスカード

標準装備されているインターフェイス以外に、さらにインターフェイスを増やしたい場合に取り付けるカード。本機に装着することはできない。

インターフェイスケーブル

プリンタとコンピュータを接続するケーブル。接続するコンピュータの種類によって、使用するケーブルが異なる。

インターフェイスコネクタ

インターフェイスケーブルを接続するコネクタ。

インチ

長さの単位で、1 インチは約 25.4mm。

エ

エッジガイド
セットした用紙が斜めに挿入されないように、用紙の側面にあてて、給紙をガイドするもの。

エラー通知
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。本機で発生したエラーの通知方法を選択する。

エラー表示
本機にエラー（正常でない状態）が発生したときに、画面や音声でお知らせする機能。

オ

オートシートフィーダ
セットされた用紙を自動的に、連続して給紙する装置。

オートフォトファイン !4
エプソン独自の画像解析 / 処理技術を用いて、自動的に画像を高画質化して印刷する機能。

オブジェクト
色補正を行う際に対象となるもの。

オリジナルマークの登録
スタンプマークを印刷する際、プリンタドライバのマーク名のリストボックスに、あらかじめ登録されていないオリジナルのマークを追加登録すること。

カ

改行
印刷位置を次行の左マージン位置に移動すること。

解像度（resolution）
画面の細やかさを表す指標で、一般に dpi ［25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）］の単位で表す。解像度が大きければそれだけ画質も良くなるが、コンピュータで処理しなければならないデータの容量も多くなり、印刷に時間がかかる。

解凍
圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

改ページ
印刷位置を次ページ先頭の左マージン位置（印字開始位置）に移動すること。

拡大 / 縮小
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷データを拡大 / 縮小して印刷するときに設定する。

カスタム用紙
プリンタドライバの設定項目で、定形外の用紙サイズ（用紙サイズのリストにない用紙）を登録して印刷することができます。

画素（pixel）
画像が細かい点で構成されているとみなしたとき、それぞれの点のことを画素という。コンピュータでは、画素をデータに置き換えて処理する。1 画素を何ビットで表現するかにより、画像の色数や階調数が決まる。

カラー調整
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。カラー調整の方法を選択する。

カラーマッチング
原画、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

環境設定
プリンタドライバの設定画面の 1 つ。Windows では印刷速度やプログレスメータ表示、EPSON プリンタポートに関する設定を行う。Macintosh では、エラー表示やプリンタの状態を確認するタイミングなどの設定を行う。

キ

キャッピング
プリントヘッドの乾燥を防ぐために、本機が自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。

ギャップ調整
プリントヘッドのズレを調整する機能。双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になる場合は、プリントヘッドのギャップがずれている可能性がある。その場合に調整が必要になる。

キャリッジ
インクカートリッジをセットしている部分。

給紙
オートシートフィーダにセットされている用紙を、ページ先頭位置まで紙送りすること。

給紙補助シート
オートシートフィーダにセットした専用紙の最後の 1 枚を正常に給紙するためのシート。このシートが同梱された専用紙を使用する場合、このシートを先にセットしてから専用紙をセットする。専用紙によっては普通紙で代用する場合もある。

共有プリンタ
ネットワーク環境下において、複数のコンピュータから使用可能なように設定されたプリンタ。

ク

クライアント
ネットワーク環境下において、サーバから各種サービスを受ける側となるコンピュータ。

クリーニングシート
一部の専用紙に同梱されているヘッドクリーニング用のシート。本機では紙送りの機構上使用できない。

クリック
マウスのボタンを " カチッ " と 1 回押すこと。

クリップボード
ソフトウェア間でデータを交換するときに、データを保存する場所のこと。メモリを使用する。

コ

コントラスト
画像のもっとも明るい部分と暗い部分の差。差があるほどコントラストの値は大きくなる。

コントロールコード
本機の機能を制御するための、コンピュータから本機側へ送られるコード（命令符号）。

サ

サーバ
ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

左右反転
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷データの左右を反転させて印刷する。

左右フチなし
ロール紙に印刷する際に、左右の余白をなしで印刷する機能。

シ

システム条件
プリンタドライバを使用するために最小限必要なコンピュータの環境条件。

四辺フチなし
定形紙に印刷する際に、上下左右の余白をなしで印刷する機能。

詳細設定
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。選択すると印刷品質に関連する項目を詳細に設定する画面を表示するためのボタンと用途に応じた設定を選択できるメニューが有効になる。

詳細設定画面
Macintosh プリンタドライバの設定画面の 1 つ。印刷品質に関連した項目を詳細に設定することができる。

上質普通紙
黒色の発色に特に優れた普通紙。

使用済みカートリッジ回収ポスト
使用済みカートリッジを定期的に回収し再資源化するために回収協力販売店に設置しているカートリッジ回収用のボックス。

ショールーム
EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールーム。

初期化
プリンタを印刷可能状態に戻すこと。

初期充てん
プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

初期設定値
電源スイッチをオンにしたときに選択される設定。

初期動作
電源をオンにしたときに行われる、本機のウォーミングアップ。プリントヘッドが左右に動くなどして、本機のエラー状態を検査する。

ス

推奨ケーブル
本機を各種コンピュータに接続するための弊社の推奨するケーブル。

推奨設定
プリンタドライバの設定項目で、各種用紙に合わせて最適な設定にしてくれる印刷モード。

スーパーファイン
印刷品質の項目の一つで、720dpi ※の解像度で印刷する。
※ dpi：25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

スタンプマーク
印刷するデータにマークを重ねて印刷する機能。オリジナルのマークやテキストも登録することができる。

スプール
プリンタ出力などで、印刷データを一時的にディスクに保存してからプリンタに送信する出力の手法。

スプールマネージャ
印刷データを一時的に蓄えるアプリケーションソフト。

スムージング
プリンタドライバの設定項目で、印刷データ内のテキストデータや線画の輪郭を、滑らかに印刷する機能。

セ

設置
本機を置くこと、または置く場所のこと。

セレクタ
Mac OS に接続されたプリンタなどを選択するためのソフトウェア。

専用紙
弊社のプリンタを使用して最適な印刷結果が得られるように作られた用紙。

ソ

双方向印刷
プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷することにより、印刷の高速化を実現するための機能。

双方向通信
コンピュータと本機とで、データを双方でやり取りする機能。EPSON プリンタウィンドウでは、この双方向通信機能を使用して、本機の状態などをコンピュータの画面上に表示する。

タ

退色
一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）する。エプソン製専用紙も同様だが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができる。

ダウンロード
インターネットやパソコン通信でサーバ上に保存されている、ファイル（プリンタドライバなど）を自分のコンピュータにコピーすること。

ダブルクリック
マウスのボタンを " カチッカチッ " と 2 回続けて押すこと。

チ

チェックボックス
プリンタドライバなどに表示される小さな正方形。これをマウスでクリックすることにより、機能を選択できる。

ツ

通信エラー
コンピュータとプリンタが通信できない場合に出るエラー。正しく印刷データが送れない場合などに発生する。エラーが発生すると画面上にエラーに関するダイアログが表示される。

通信販売
EPSON 製品の消耗品・オプションがお近くの販売店で入手困難な場合に、インターネットや FAX などで注文することができるシステム。

坪量
用紙の厚さを表す単位（１平方メートル / グラム）。

テ

ディスクサービス
お客様により良い環境でご使用いただく為に、各種システムドライバの最新版を郵送にてご提供（実費）させていただいているサービス。

デジタルカメラ用補正
プリンタドライバの設定項目で、デジタルカメラで撮影した画像を印刷するのに最も適した設定になるように、ドライバの設定を変更する機能。

デバイス
コンピュータ（CPU）に接続する機器のこと。デバイスを使用するためには、デバイスドライバというソフトウェアが必要となる。

ト

動作確認
本機が正しく動作するか確認するために、本機の内部で持っているノズルチェックパターンを印刷すること。

動作環境
本機やプリンタドライバなどが正しく動作するために必要な環境のこと。

ドライブ
フロッピーディスクや CD-ROM、ハードディスクなどを駆動する装置。フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブなどと呼ぶ。

ドラッグ（drag）
マウスボタンを押したまま、マウスを動かしてアイコンなどを移動すること。コピーなどの操作で使用する。

ドラフト
プリンタドライバの印刷品質の項目で、インク消費量をセーブしながら高速に印刷する。試し印刷に向いている。

ニ

任意倍率
プリンタドライバの項目で、印刷データをどのくらいの割合で拡大 / 縮小するか入力する。

ネ

ネットワーク
複数のコンピュータ間で直接データをやり取りできるように接続すること。

ノ

ノズルチェック
プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか確認するために、本機の内部に保存されているパターンを印刷する機能。

ハ

バージョンアップ
プリンタドライバやアプリケーションソフトなどに新機能などを盛り込んで、更新すること。最新のプリンタドライバなどは、インターネットやパソコン通信などで情報を公開している。

排紙トレイ
プリンタから排出された用紙を受けるところ。

ハイライト
画像の最も明るい部分。

パソコンスクール
専任のインストラクターが EPSON 製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えするサービス。

パソコン通信サービス
インターネットや @nifty などを通じて行う最新情報の公開、またはソフトウェアのダウンロードなどのサービス。

バックグラウンドプリント
Macintosh で印刷を実行した際、印刷データを EPSON Monitor!3 に経由することで、印刷中もほかの作業をすることが可能になる。この印刷方法をバックグラウンドプリントと呼ぶ。EPSON Monitor!3 を経由しない印刷方法をフォアグラウンドプリントと呼ぶ。

発色プロセス
ディスプレイやプリンタなどの色を表現の方法。ディスプレイの発色方法は「加法混色」、プリンタの発色方法は、「減法混色」と呼ばれる。

バッファ
処理するためのデータを一時的に蓄えるためのメモリ。

バリ
用紙の切断面におこる毛羽立ち。

ヒ

ピクセル（pixcel）
印刷する際に、ユーザーが制御できる画像の最小単位。

表示解像度
画像をコンピュータのディスプレイに表示したときに、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル（またはドット）。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

フ

ファイン
プリンタドライバの印刷品質の設定項目で、360dpi ※の解像度で印刷する。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良く、日常使用に最適な設定。
※ dpi：25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

フィットページ
プリンタドライバの項目で、出力用紙のサイズにあわせて、自動的に印刷データを拡大・縮小する機能。

フォト
プリンタドライバの印刷品質の項目で、スーパーファイン専用紙などで 720dpi ※（マイクロウィーブ・スーパーをチェックの際、1440dpi）の解像度で印刷する。
※ dpi：25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

フォトレタッチ
画像処理ソフトウェアで画像データを読み込み、明るさやコントラストの調整など画像の加工を行うこと。

フォルダ
ファイルを分類・整理するための保管場所。

フォント
コンピュータで使われている文字（書体）。

部数
プリンタドライバの設定項目で、印刷物を何枚印刷するか設定する。

ブックレット
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。両面印刷（手動）の印刷方法の 1 つで、印刷済みのページを 2 つに折り、重ね合わせると冊子ができ上がる。

プラグアンドプレイ
コンピュータにハードウェア（本機など）を装着するだけで、自動的に動作環境が設定され、すぐに使用できる状態になる機能。

フラップ
封筒などで封を閉じる折り返しの部分。

プリセットメニュー
あらかじめ用意されている印刷目的別の設定メニュー。

プリンタ
コンピュータで処理した文字や画像を紙などに印刷する装置。

プリンタ ID
各プリンタが個々で持っている、プリンタ情報、識別番号。

プリンタケーブル
コンピュータとプリンタをつなぐケーブル。

プリンタドライバ
アプリケーションソフトの命令語を、プリンタで印刷するためにプリンタが理解できるコードに変換する、システムに組み込むソフトウェア。

プリンタドライバのインストール
本機のプリンタ機能が動作するように、システムに組み込むこと。

プリンタドライバの削除
コンピュータに組み込まれているプリンタドライバを消去すること。本機を使用しなくなった場合や、プリンタドライバを最新のものにバージョンアップする際に実行する。

プリンタドライバのバージョンアップ
プリンタドライバに新機能などを盛り込んで、更新すること。

プリンタの共有
ネットワーク上で、1 台のプリンタを複数のコンピュータが使用できるようにすること。

プリンタの接続先の設定
USB インターフェイスなどコンピュータ上のどのインターフェイスから、データを受け取るかコンピュータ上で設定すること。

プリントキュー
印刷データを一時的に記憶しておくソフトウェア。

プリントサーバ
ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

プリントヘッド
用紙にインクを吹き付ける部分。

プレビュー
印刷する前に印刷全体のイメージを表示すること。

フロッピーディスク
コンピュータの記憶媒体（メディア）の 1 つ。

プロファイル
色補正データが記録されているファイル。

へ

ヘッドクリーニング
プリントヘッドのノズルの目詰まりを取り除く機能。目詰まりしたまま印刷を実行すると印刷結果に白いスジが入ったり、データと明らかに異なる色で印刷されるなどの現象が発生する。

変色
一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）する。エプソン製専用紙も同様だが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができる。

ホ

ポート
プリンタなどの周辺機器とコンピュータを接続するためのコネクタやソケット。

ポイント
マウスカーソルをアイコンなどに移動して、クリックする前の状態のこと。

保護具
本機を輸送時の衝撃から守るための、緩衝材やテープ。

保守サービス
EPSON 製品を万全の状態でお使いいただくためのサービス。

ポスター印刷
プリンタドライバの機能の 1 つ。1 ページのデータを 4/9/16 ページ分に拡大し、分割して印刷する機能。印刷結果をつなぎ合わせると大きなサイズの印刷結果を作ることができる。

ポップアップメニュー
▼マークのある枠内をクリックすることにより、複数の選択肢が表示されるメニュー。

マ

マージン
印刷された用紙の上下左右の余白のこと。

マイクロウィーブ
行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する機能。

マルチサイズドット
ヘッドから吐出するインクの量を大中小と 3 タイプに吹き分けることによって、印刷ムラのない美しい出力を可能にしたエプソン独自の機能。

メ

明度
画像の明るさの度合い。プリンタドライバで調整することができる。

メモリ（memory）
データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域と言える。画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

モ

モード設定
プリンタドライバの項目で、印刷モードを選択することができる。用紙に合わせて最適な設定になるように自動的に印刷する［推奨設定］、自分で選択した設定で印刷する［詳細設定］、自動的に高画質化して印刷する［オートフォトファイン!4］がある。

モノクロ印刷（黒インク）
印刷データを白と黒の階調のみで表現する。[インク] 設定で [黒] を選択すると、モノクロ印刷を実行することができる。

ユ

ユーティリティ画面
印刷品質に係わるメンテナンス機能などを実行するためのプリンタドライバの画面。

ヨ

用紙サイズ
プリンタドライバの項目で、印刷データ上で設定されている用紙のサイズをリストの中から選択する。一覧に印刷する用紙サイズがない場合は、使用する用紙サイズを設定する必要がある。

用紙サポート
本機にセットしてある用紙を支えるためのもの。用紙サポートにセットできる用紙の枚数は、用紙の種類によって異なる。

用紙種類
プリンタドライバの設定項目で、本機にセットした用紙の種類を選択する。プリンタドライバでの設定と本機にセットしてある用紙の種類が異なると印刷結果がにじむなど思うような印刷品質で印刷されなくなる。

用紙設定画面
プリンタドライバの設定画面で、印刷する用紙サイズや、印刷方向などを選択する。

用紙のセット方向
本機に用紙をセットするときの、用紙の向き。印刷する用紙（往復ハガキ除く）は、すべて縦方向にセットする必要がある。

ラ

ラジオボタン
2 つまたはそれ以上の選択肢の中から 1 つだけを選択するための画面上のボタン。

リ

リストボックス
プリンタドライバなどの設定項目などで［▼］をクリックすると、選択候補が一覧となって表示される窓のこと。

両面印刷（手動）
プリンタドライバの機能の 1 つ。奇数ページを印刷したあと、用紙をセットし直して偶数ページの印刷を行い用紙の両面に印刷する。

レ

レイアウト画面

プリンタドライバの設定画面で、スタンプマークや割り付け印刷など用途に合わせて印刷データを加工することができる。

連続印刷

電源スイッチのオン / オフ操作およびヘッドクリーニング操作などで動作を中断することなく印刷し続けること。

ロ

ローカルプリンタ

コンピュータにインターフェイスケーブルで直接接続されたプリンタのこと。

ロール紙

連続して写真印刷を行うことを目的とした長尺の用紙。ロール状に巻かれた状態でプリンタにセットして印刷することができる。

ロジカルシーキング

双方向最短距離印字機能。次の行の印字位置への移動が最短距離になるように判断して改行する機能。

ワ

割り付け印刷

プリンタドライバの機能の 1 つ。1 枚の用紙に 2 ページまたは 4 ページのデータを割り付けて印刷する。

割付 / ポスター

プリンドライバの設定項目の 1 つ。1 枚の用紙に 2/4 ページのデータを割り付けて印刷したり、逆に 1 ページのデータを 4/9/16 ページに拡大し、分割印刷する機能。